

# 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査結果報告書

令和2年8月

飯塚市



## < 目 次 >

<b>第1章 調査の概要</b> .....	<b>5</b>
1. 調査の目的 .....	5
2. 調査設計及び回収結果 .....	5
3. 調査結果の見方 .....	5
4. 回答者の基本属性 .....	6
(1) 回答者の性別 .....	6
(2) 年齢構成 .....	6
(3) 居住地区 .....	6
(4) 一般高齢者・総合事業対象者 .....	7
(5) 要支援度 .....	7
(6) 家族構成 .....	7
(7) 介護の必要度 .....	8
(8) 介護・介助が必要な主な原因 .....	8
(9) 主な介護・介助（希望）者 .....	9
(10) 経済状況 .....	9
(11) 居住形態 .....	10
<b>第2章 調査結果</b> .....	<b>11</b>
1. からだを動かすことについて .....	12
(1) 運動器 .....	12
(2) 転倒 .....	14
(3) 閉じこもり .....	16
2. 食べることについて .....	23
(1) 低栄養 .....	23
(2) 口腔機能 .....	25
(3) 口腔ケア・口腔の健康状態 .....	29
(4) 孤食 .....	33

3. 毎日の生活について.....	34
(1) 認知機能 .....	34
(2) 手段的自立度 (IADL) .....	38
(3) 知的能動性 .....	41
(4) 他者との関わり .....	45
(5) 趣味・生きがい .....	49
(6) 現在暮らしている地域に足りないもの .....	51
4. 地域での活動について.....	52
(1) 地域活動や趣味活動について .....	52
(2) 地域づくりについて .....	54
5. たすけあいについて.....	56
(1) たすけあいの状況 .....	56
(2) 相談経路 .....	57
(3) 友人関係 .....	58
(4) 地域で支援してほしいこと・できること .....	62
6. 健康について.....	64
(1) 健康について .....	64
(2) うつ .....	67
(3) 飲酒 .....	68
(4) 喫煙 .....	69
(5) 疾病の状況 .....	70
(6) かかりつけの医師・歯科医師がいるか .....	72
7. 認知症にかかる相談窓口について.....	73
(1) 認知症について .....	73
8. 終末期について.....	76
(1) 終末期について .....	76
9. 今後の介護希望について.....	81
(1) 今後の介護希望について .....	81
<b>第3章 調査票 .....</b>	<b>83</b>

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

本調査は、高齢者の生活状況や健康状態、地域とのつながりなどについて把握し、地域の高齢者を取り巻く課題に即した今後の介護・高齢者保健福祉施策に反映させるとともに、第8期飯塚市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定するための基礎資料とする。

### 2. 調査設計及び回収結果

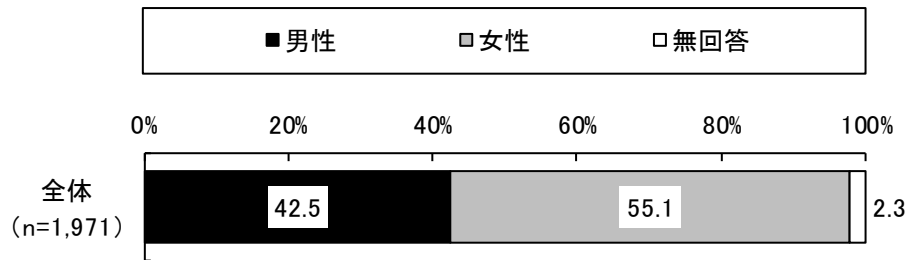
調査対象と 標本数	要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者：2,800人（無作為抽出）
調査方法	郵送配布－郵送回収
有効回収数 (率)	1,971人（70.4%）
調査期間	令和2年5月15日～6月12日

### 3. 調査結果の見方

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（n）とした百分率（%）で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- クロス集計の表側に使用している「性・年齢別」「居住地区別」等の基本属性では、副問（サブクエスチョン）等の回答者が限定される質問もあるため、図表中の表側項目の調査数を合計しても、必ずしも調査の有効回収数にならない場合がある。
- クロス集計等において、基数（n）となる調査数が少数となる場合は参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要する。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。

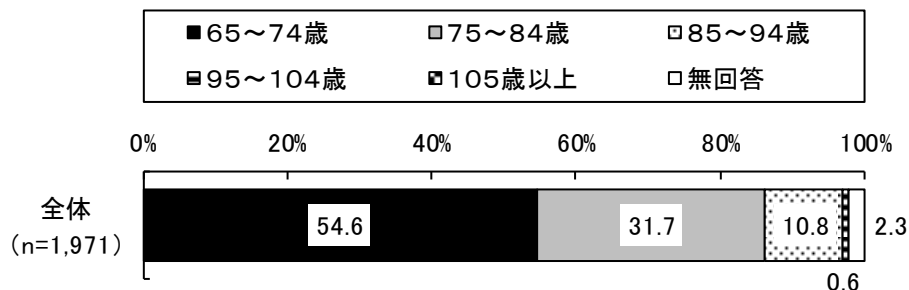
## 4. 回答者の基本属性

### (1) 回答者の性別



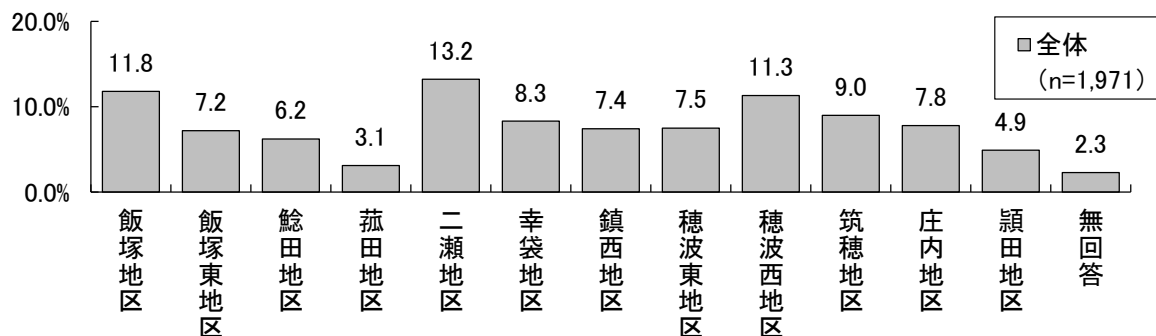
■回答者の性別は、男性が42.5%、女性が55.1%と女性の割合が高い。

### (2) 年齢構成



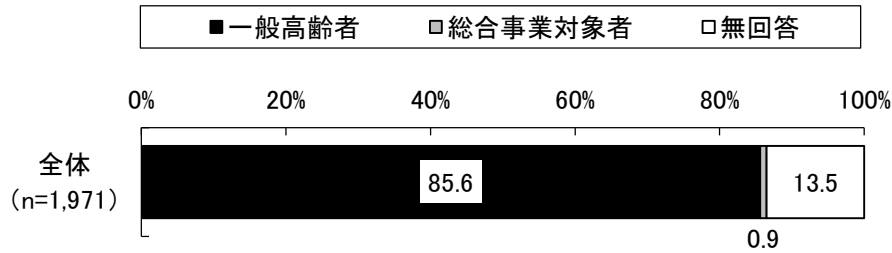
■回答者の年齢構成は、「65～74歳」(54.6%)が最も高く、「75～84歳」、「85～94歳」がそれぞれ31.7%、10.8%で続いている。

### (3) 居住地区



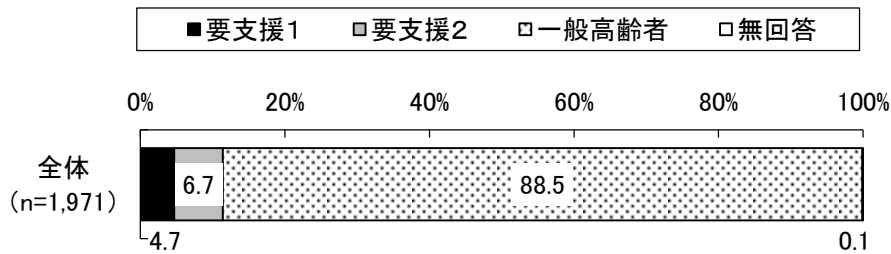
■回答者の居住地区は、「二瀬地区」(13.2%)が最も高く、次いで「飯塚地区」(11.8%)、「穂波西地区」(11.3%)、「筑穂地区」(9.0%)と続く。

(4) 一般高齢者・総合事業対象者



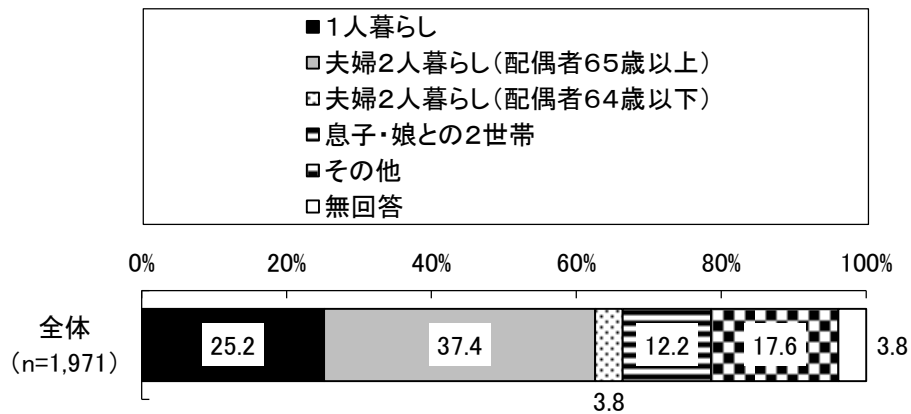
■回答者の内訳は、一般高齢者が85.6%、総合事業対象者が0.9%となっている。

(5) 要支援度



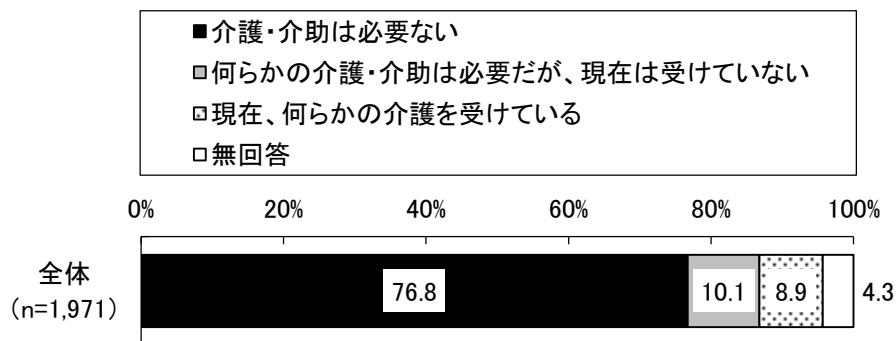
■回答者の要支援度は、要支援1が4.7%、要支援2が6.7%となっている。

(6) 家族構成



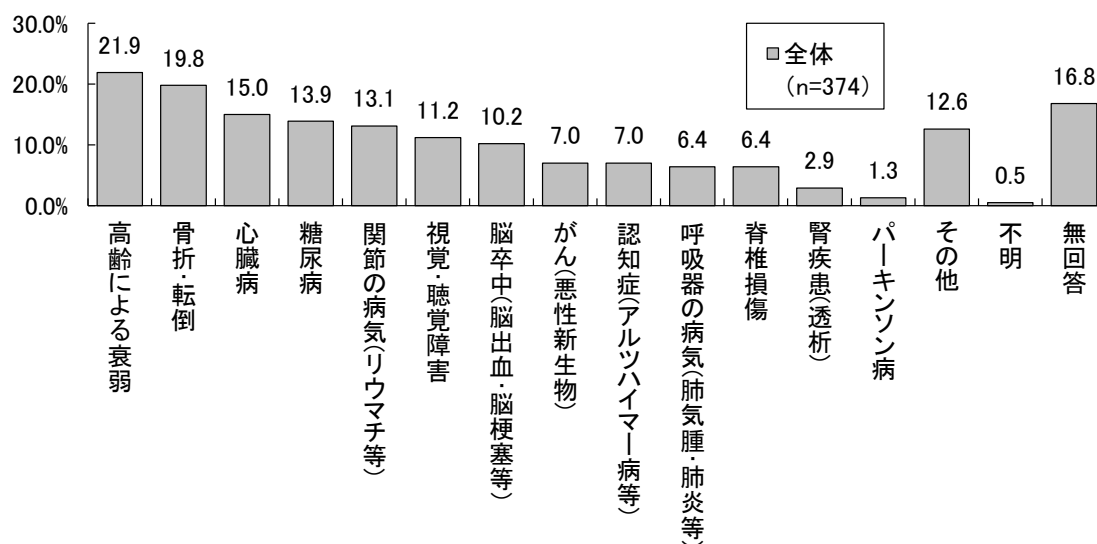
■回答者の家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(37.4%)が最も高く、全体の4割弱を占める。

(7) 介護の必要度



■ 回答者の介護の必要度は、「介護・介助は必要ない」(76.8%)が最も高く、全体の8割弱を占める。

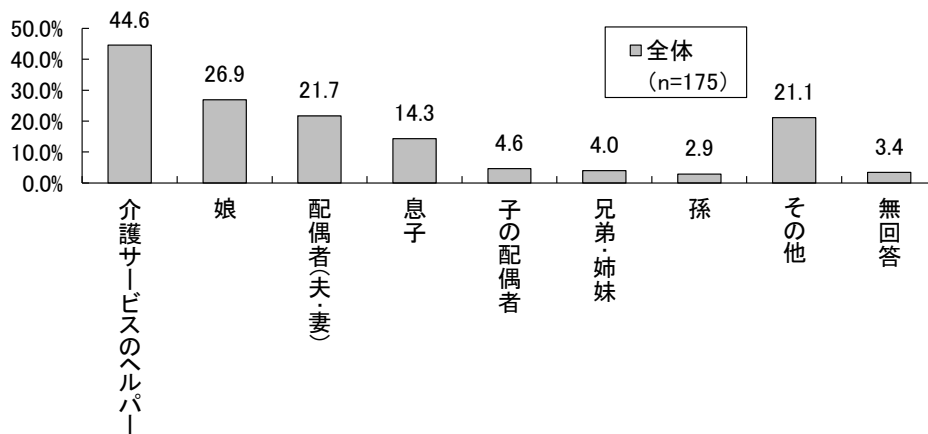
(8) 介護・介助が必要な主な原因



■ 介護・介助を必要とする回答者のその主な原因は、「高齢による衰弱」(21.9%)が最も高く、次いで「骨折・転倒」(19.8%)、「心臓病」(15.0%)と続く。

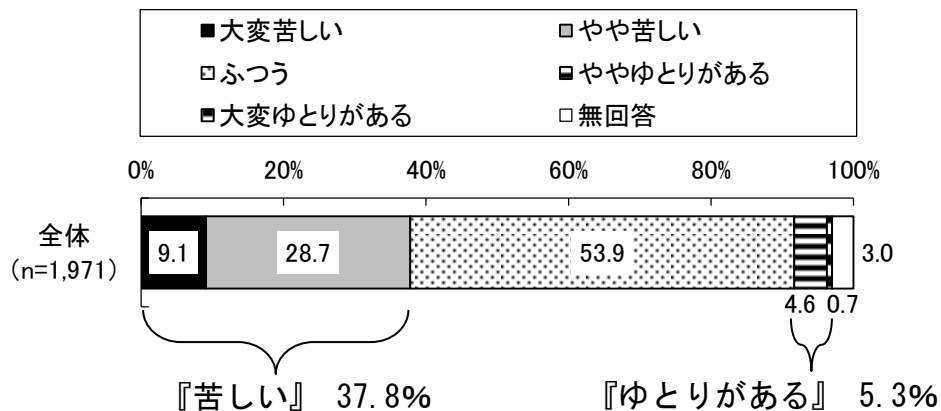


(9) 主な介護・介助（希望）者



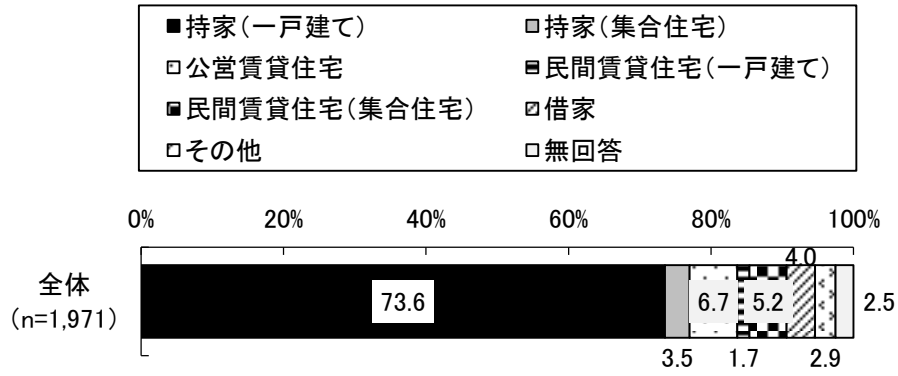
■介護・介助を必要とする回答者の主な介護・介助（希望）者は、「介護サービスのヘルパー」(44.6%) が最も高く、次いで「娘」(26.9%)、「配偶者(夫・妻)」(21.7%) となっている。

(10) 経済状況



■回答者の経済状況は、「ふつう」(53.9%) が最も高くなっているが、次いで「やや苦しい」(28.7%) となっており、「大変苦しい」(9.1%) と合わせると4割弱が経済状況が『苦しい』と感じている。

(1.1) 居住形態



■回答者の居住形態は、「持家（一戸建て）」（73.6%）が最も高い。

## 第2章 調査結果

本章は、以下の9項目で構成する。

問番号	設問	内容
問2	からだを動かすことについて	運動器機能の低下・転倒リスク・閉じこもり傾向を把握
問3	食べることについて	口腔機能の低下・低栄養の傾向を把握
問4	毎日の生活について	認知機能の低下・IADLの低下・知的能動性・社会的役割を把握
問5	地域での活動について	ボランティア等への参加状況・今後の参加意向
問6	たすけあいについて	社会参加の状況等を把握
問7	健康について	うつ傾向・健康状態等を把握
問8	認知症にかかる相談窓口について	認知症にかかる相談窓口の認知状況を把握
問9	終末期について	終末期の過ごし方の意向を把握
問10	今後の介護希望について	今後の介護希望を把握

本調査では、各設問の選択肢（チェックリスト）を点数化するなどして、高齢者が要介護状態になる各種リスクの判定を行っている。※リスク判定基準は、国の資料「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」（2019.10.23版）に準じる。

# 1 からだを動かすことについて

ここでは、運動機能の低下・転倒リスク・閉じこもり傾向を把握する。

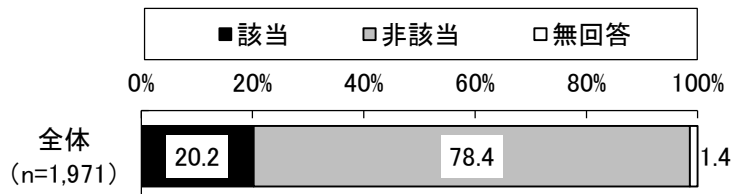
## (1) 運動器

高齢者の運動器の機能に関して、リスク判定を行う。下表の5つの設問のうち、網掛け部分に3問（点）以上該当した場合、運動器の機能低下と判定される。

問番号	内容	回答
問2	(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない (1点)
	(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない (1点)
	(3) 15分位続けて歩いていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない (1点)
	(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1 何度もある (1点) 2 1度ある (1点) 3 ない
	(5) 転倒に対する不安は大きいですか	1 とても不安である (1点) 2 やや不安である (1点) 3 あまり不安でない 4 不安でない

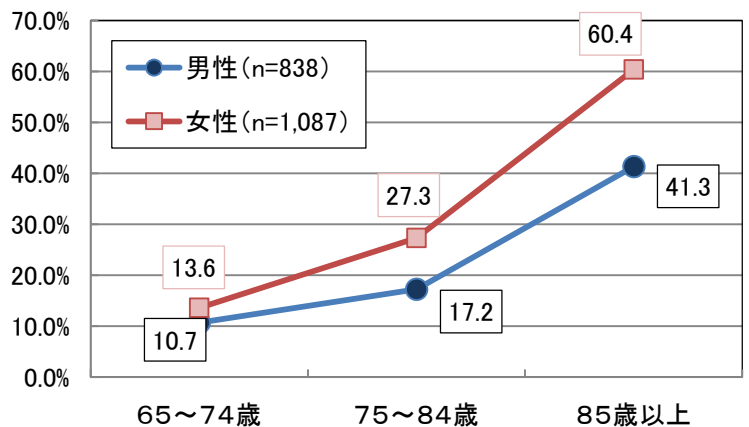
### 〔運動器判定〕

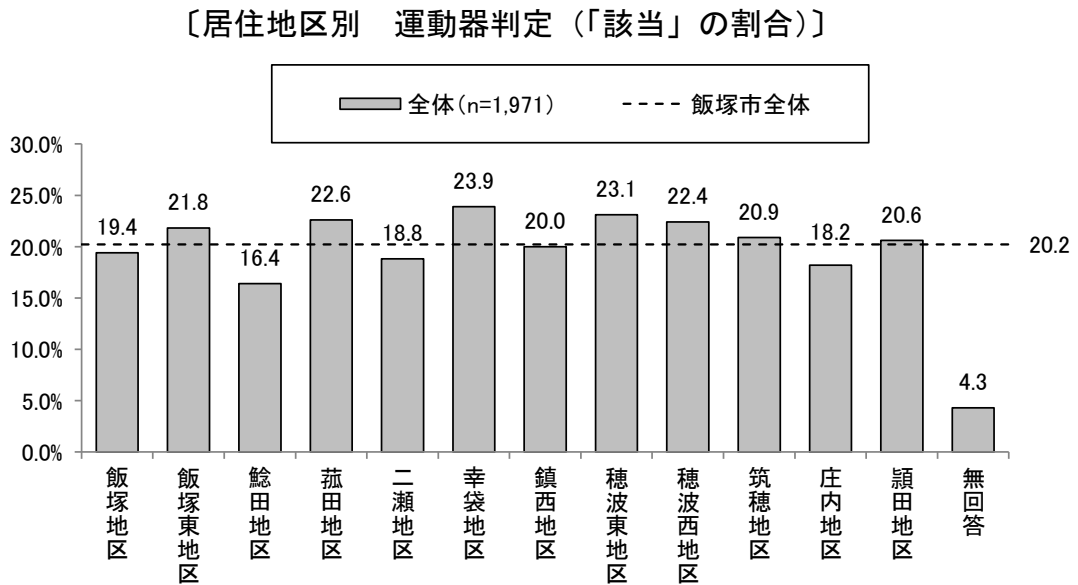
■基本チェックリストに基づく運動器判定の該当者（3点以上の者）は、全体で20.2%となっている。



### 〔性・年齢別 運動器判定（「該当」の割合）〕

■性・年齢別にみると、該当者の割合は男女とも年齢とともに高くなっていくが、各年齢層とも男性に比べ女性の該当者の割合が高くなっている。特に75歳以上の後期高齢者でリスクが増しており、女性の85歳以上ではリスク該当者は約6割を占める。





■居住地区別にみると、該当者の割合は、幸袋地区(23.9%)で最も高く、鯉田地区(16.4%)で最も低くなっている。

(2) 転倒

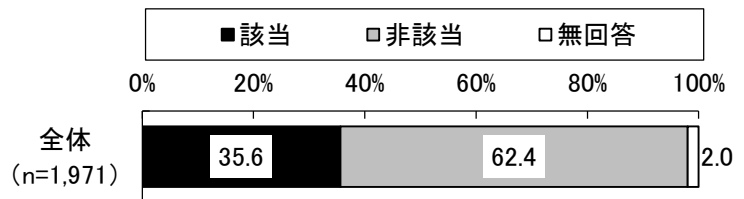
① 転倒経験

高齢者の転倒経験から転倒リスクの判定を行う。以下の設問のうち、網掛け部分に該当した場合、転倒リスクのある高齢者と判定される。

問番号	内容	回答
問2	(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1 何度もある 2 1度ある 3 ない

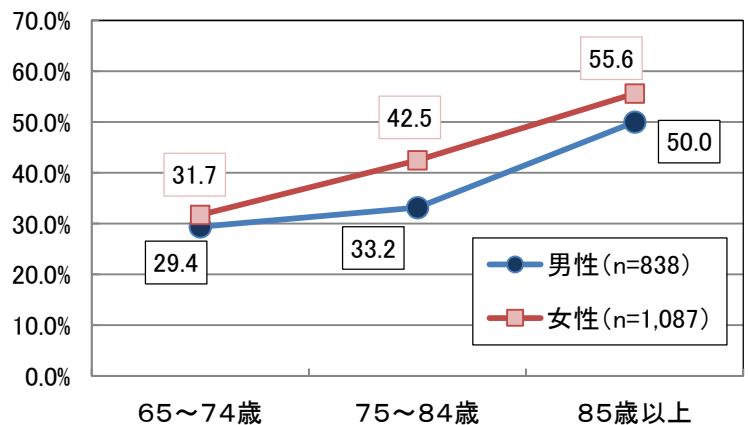
〔転倒リスク判定〕

■基本チェックリストに基づく転倒リスク判定の該当者は、全体で35.6%となっている。

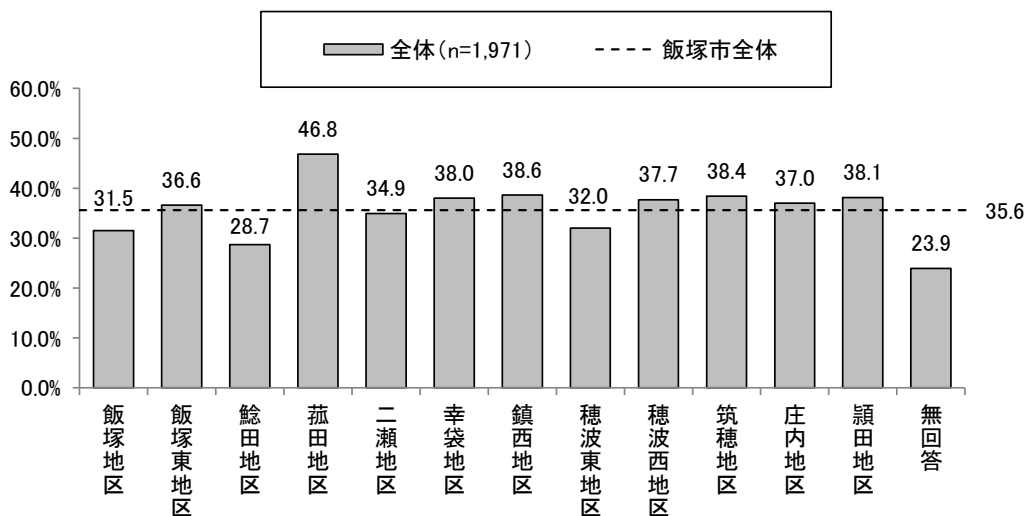


〔性・年齢別 転倒リスク判定 (「該当」の割合)〕

■性・年齢別にみると、該当者の割合は男女とも年齢とともに高くなっており、各年齢層とも男性に比べ女性の該当者の割合が高くなっている。



〔居住地区別 転倒リスク判定 (「該当」の割合)〕



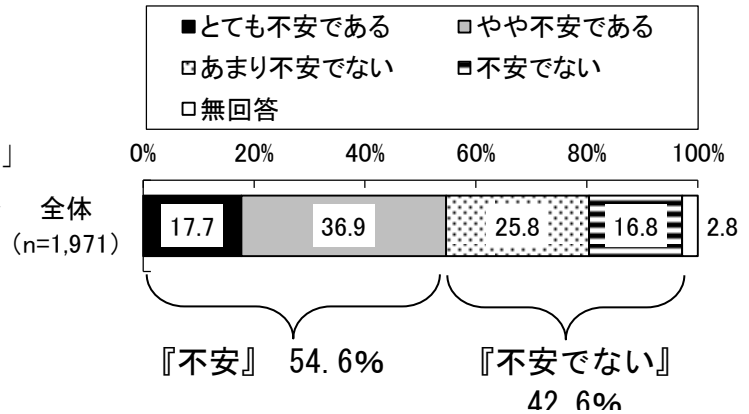
■居住地区別にみると、該当者の割合は、菰田地区(46.8%)で最も高く、鯉田地区(28.7%)で最も低くなっている。

② 転倒に対する不安

問番号	内容
問2 (5)	転倒に対する不安は大きいですか

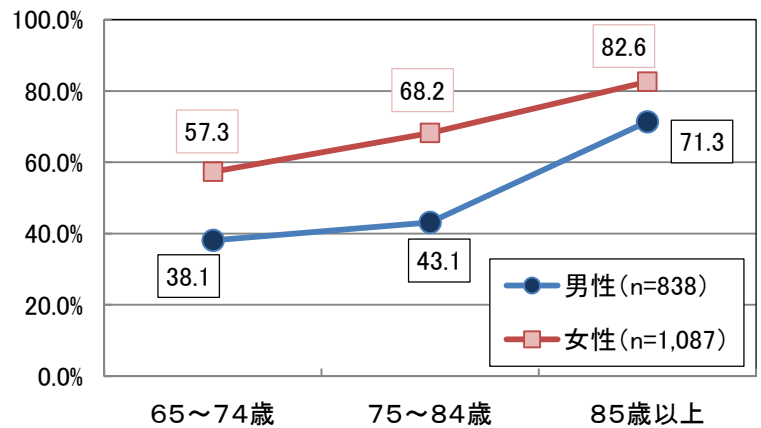
〔転倒に対する不安〕

■転倒に対する不安が「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安』の割合は、全体で54.6%、「あまり不安でない」と「不安でない」を合わせた『不安でない』の割合は全体で42.6%となっている。

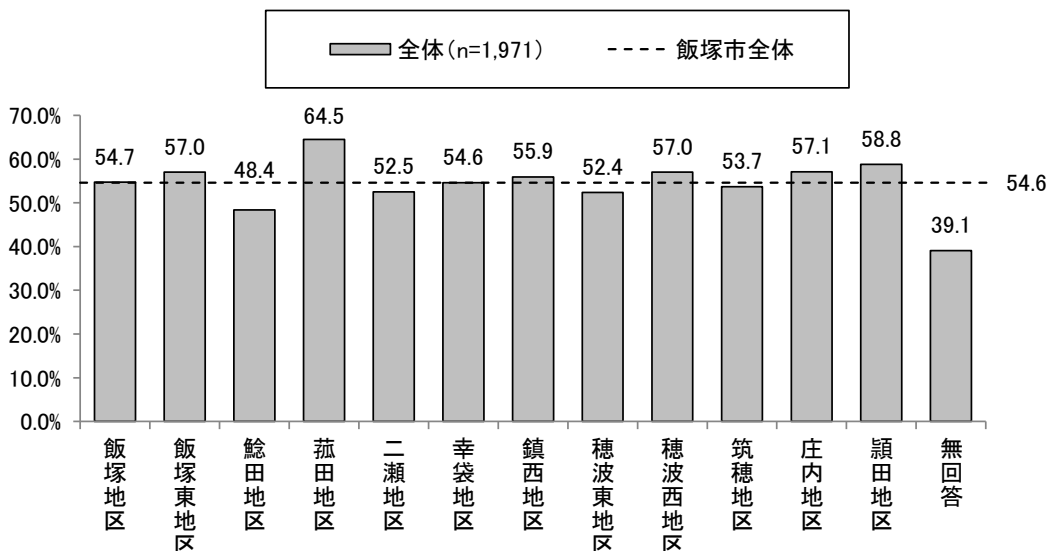


〔性・年齢別 転倒に対する不安 (『不安』の割合)〕

■性・年齢別にみると、『不安』の割合は男女とも年齢とともに高くなっていくが、各年齢層とも男性に比べ女性の『不安』の割合が高くなっている。特に女性85歳以上の高齢者で不安に思う人が8割以上となっている。



〔居住地区別 転倒に対する不安 (『不安』の割合)〕



■居住地区別にみると、転倒に対する『不安』の割合は、菰田地区 (64.5%) で最も高く、鯉田地区 (48.4%) で最も低くなっている。

(3) 閉じこもり

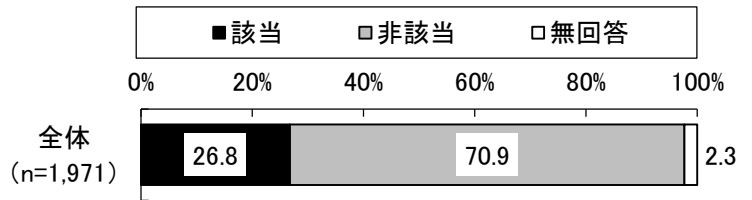
① 閉じこもり

高齢者の外出状況から閉じこもりリスクの判定を行う。以下の設問のうち、網掛け部分に該当した場合、閉じこもり傾向のある高齢者と判定される。

問番号	内容	
問2	(6)	週に1回以上は外出していますか
		1 ほとんど外出しない
		2 週1回
		3 週2～4回
		4 週5回以上

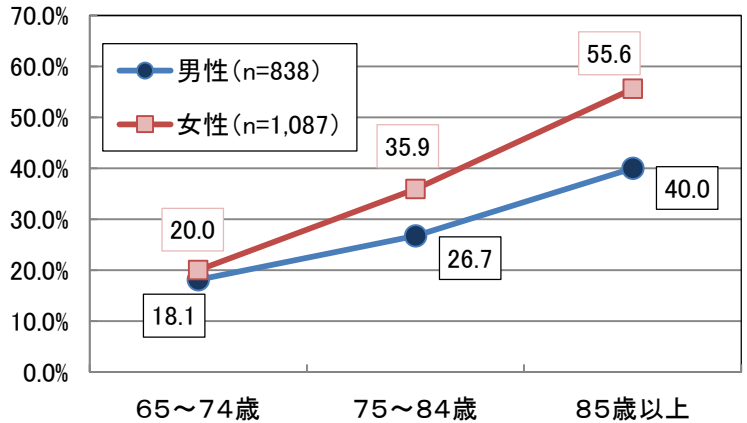
〔閉じこもり傾向判定〕

■基本チェックリストに基づく閉じこもり傾向の該当者は、全体で26.8%となっている。

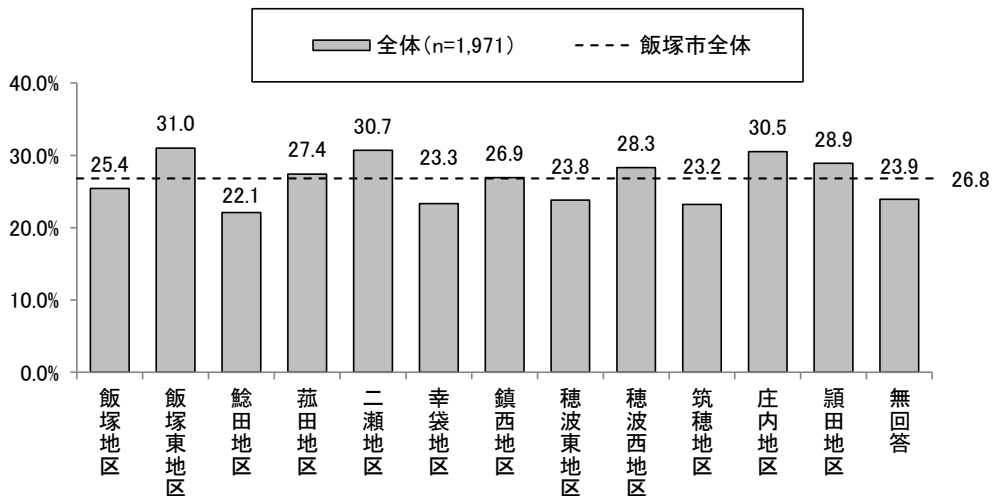


〔性・年齢別 閉じこもり傾向判定 (「該当」の割合)〕

■性・年齢別にみると、該当者の割合は男女とも年齢とともに高くなっている。また、各年齢層とも男性に比べ女性の該当者の割合が高くなっている。特に女性85歳以上の高齢者で該当者が5割を超えている。



〔居住地区別 閉じこもり傾向判定 (「該当」の割合)〕



■居住地区別にみると、該当者の割合は、飯塚東地区(31.0%)で最も高く、鯉田地区(22.1%)で最も低くなっている。

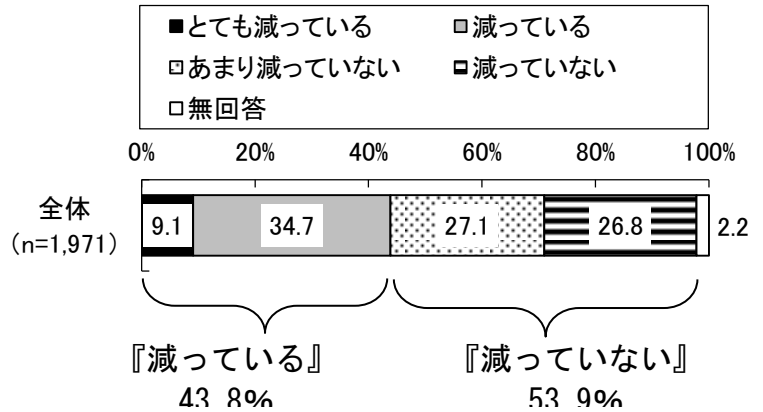


② 外出の回数

問番号	内容
問2	(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

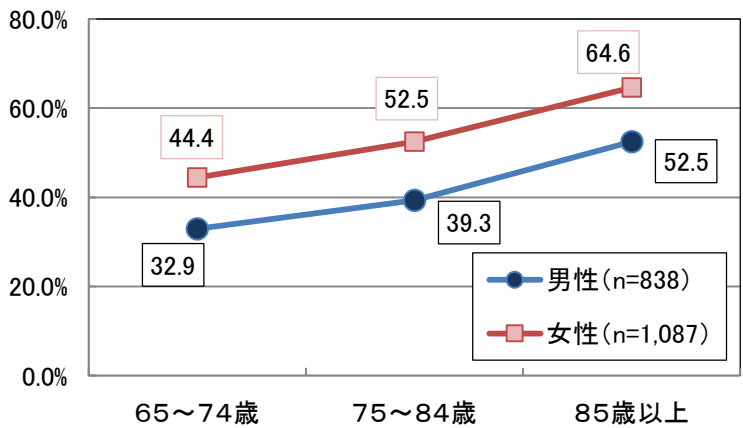
〔外出の回数〕

■外出の回数が「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』の割合は、全体で43.8%、「あまり減っていない」と「減っていない」を合わせた『減っていない』の割合は全体で53.9%となっている。

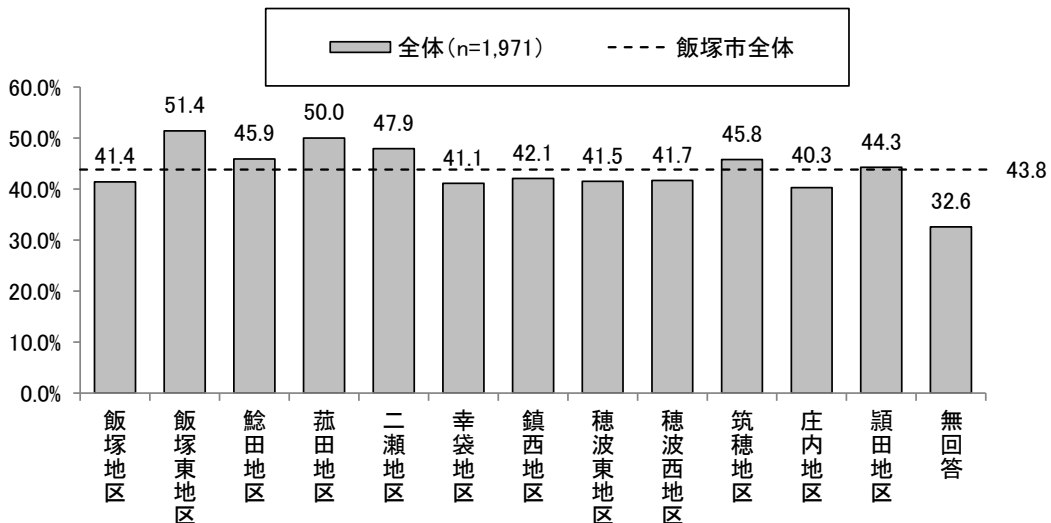


〔性・年齢別 外出の回数 (『減っている』の割合)〕

■性・年齢別にみると、『減っている』の割合は男女とも年齢とともに高くなっているが、各年齢層とも男性に比べ女性の『減っている』の割合が高くなっている。特に女性85歳以上の高齢者で『減っている』の割合が6割以上を占める。



〔居住地区別 外出の回数 (『減っている』の割合)〕



■居住地区別にみると、外出の回数が『減っている』の割合は、飯塚東地区 (51.4%) で最も高く、庄内地区 (40.3%) で最も低くなっている。

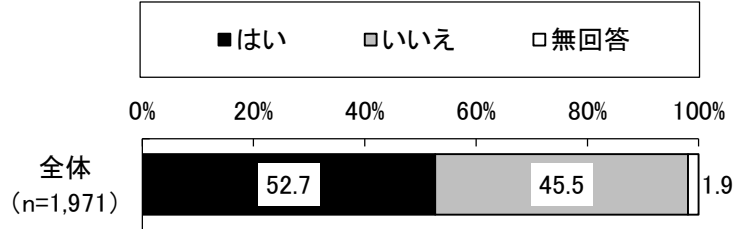
## 第2章 調査結果

### ③ 外出を控えているか

問番号	内容	
問2	(8)	外出を控えていますか

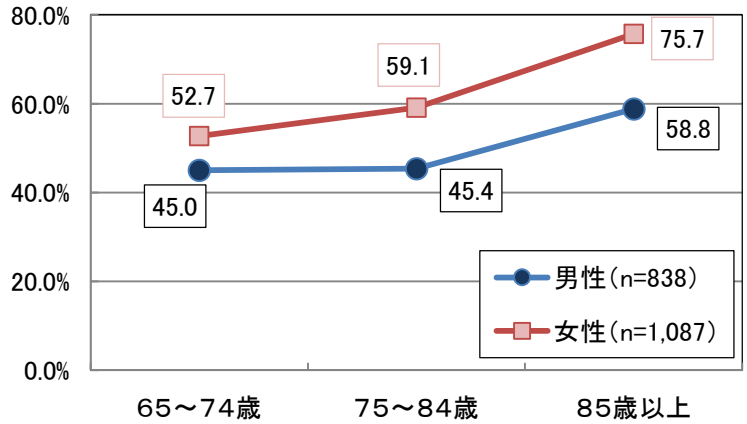
#### 〔外出を控えているか〕

■外出を控えているかについて、「はい（控えている）」の割合は、全体で52.7%となっている。

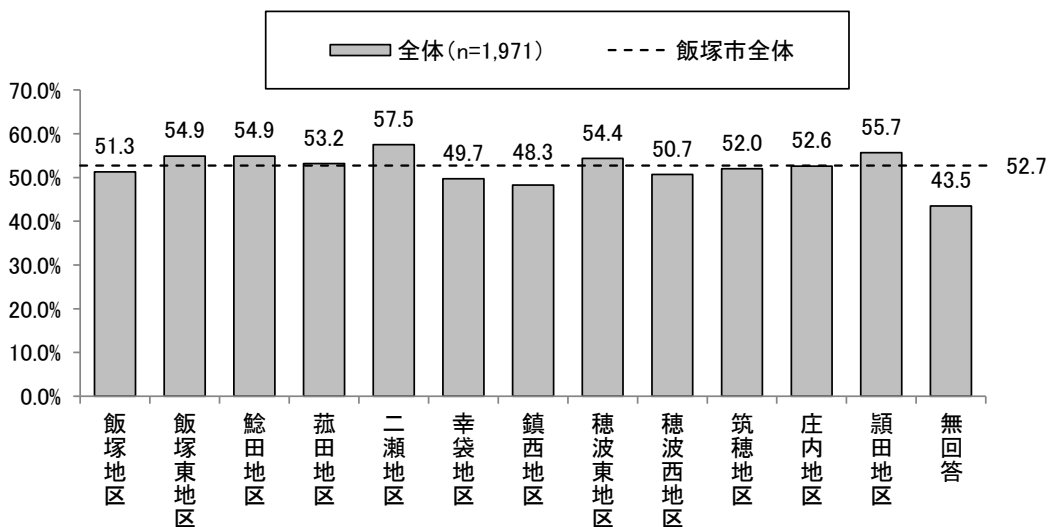


#### 〔性・年齢別 外出を控えているか（「はい（控えている）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（控えている）」の割合は男女とも年齢とともに高くなっているが、各年齢層とも男性に比べ女性の「はい（控えている）」の割合が高くなっている。特に女性85歳以上の高齢者で「はい（控えている）」の割合が7割以上を占める。



#### 〔居住地区別 外出を控えているか（「はい（控えている）」の割合）〕

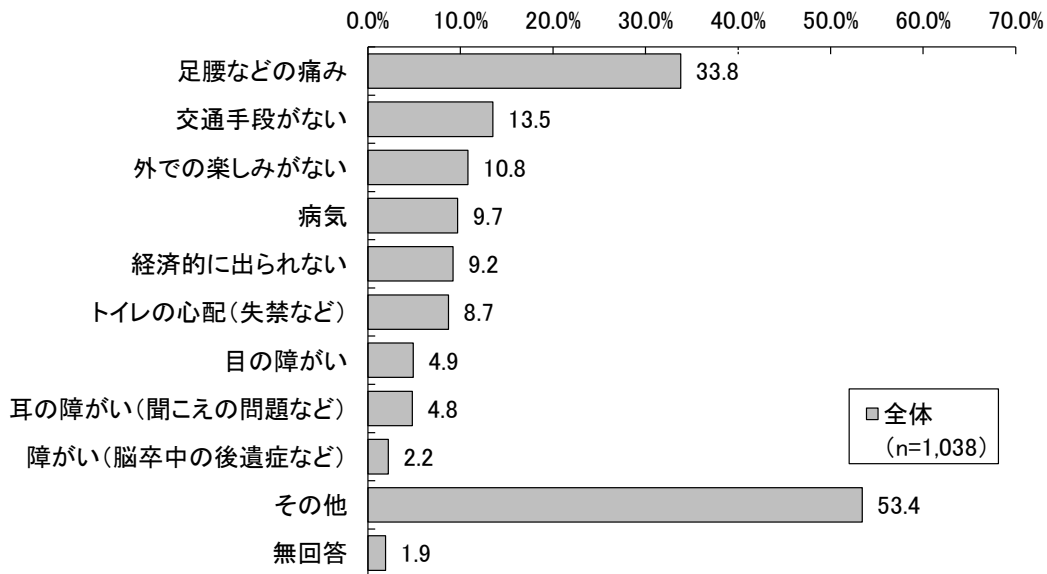


■居住地区別にみると、「外出を控えている」人の割合は、二瀬地区（57.5%）で最も高く、鎮西地区（48.3%）で最も低くなっている。

## ④ 外出を控えている理由

問番号	内容
問2	(8) 【(8)で「1. はい(外出を控えている)」の方のみ】 ① 外出を控えている理由は、次のどれですか

## 〔外出を控えている理由（複数回答）〕



- 外出を控えている回答者のその理由は、「その他」(53.4%)が最も高く、次いで「足腰などの痛み」(33.8%)、「交通手段がない」(13.5%)と続く。「その他」の内容としては、新型コロナウイルス感染症に関するものが主な内容となっている。

## 第2章 調査結果

〔性・年齢別、居住地区別 外出を控えている理由（％）〕

	調査数「人」	病気	障がい（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障がい（聞こえの問題など）	目の障がい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答	
全体	1,038	9.7	2.2	33.8	8.7	4.8	4.9	10.8	9.2	13.5	53.4	1.9	
性・年齢別	【男性計】	389	10.5	2.1	27.8	8.2	7.2	5.7	11.1	8.0	10.0	55.8	2.3
	65～74歳	223	10.3	1.8	16.1	4.0	2.7	4.5	10.8	9.9	3.1	66.4	3.6
	75～84歳	119	10.1	3.4	36.1	12.6	8.4	4.2	10.1	5.0	12.6	50.4	0.8
	85歳以上	47	12.8	-	61.7	17.0	25.5	14.9	14.9	6.4	36.2	19.1	-
	【女性計】	629	9.5	2.2	38.3	9.2	3.3	4.6	10.5	10.2	15.9	51.2	1.7
	65～74歳	306	7.5	1.3	21.6	5.9	0.7	2.6	9.8	11.1	10.5	68.0	1.6
	75～84歳	214	11.2	2.3	44.9	12.1	4.7	6.1	9.8	10.3	16.8	40.7	2.8
	85歳以上	109	11.9	4.6	72.5	12.8	8.3	7.3	13.8	7.3	29.4	24.8	-
無回答	20	-	5.0	10.0	-	5.0	-	15.0	5.0	5.0	75.0	-	
居住地区	全体	1,038	9.7	2.2	33.8	8.7	4.8	4.9	10.8	9.2	13.5	53.4	1.9
	飯塚地区	119	6.7	2.5	34.5	8.4	3.4	5.0	10.9	6.7	10.9	59.7	1.7
	飯塚東地区	78	19.2	2.6	35.9	12.8	7.7	9.0	15.4	12.8	19.2	39.7	5.1
	鯉田地区	67	7.5	1.5	25.4	3.0	-	-	11.9	14.9	10.4	62.7	3.0
	菰田地区	33	-	6.1	24.2	12.1	9.1	6.1	12.1	9.1	6.1	60.6	3.0
	二瀬地区	150	10.0	0.7	30.7	7.3	2.7	3.3	9.3	6.0	14.7	57.3	2.0
	幸袋地区	81	6.2	3.7	35.8	8.6	7.4	6.2	6.2	4.9	14.8	54.3	-
	鎮西地区	70	8.6	2.9	35.7	2.9	7.1	2.9	10.0	14.3	15.7	55.7	-
	穂波東地区	80	13.8	1.3	37.5	11.3	3.8	7.5	10.0	6.3	17.5	46.3	1.3
	穂波西地区	113	12.4	2.7	36.3	7.1	4.4	6.2	12.4	11.5	14.2	52.2	0.9
	筑穂地区	92	9.8	1.1	35.9	9.8	5.4	3.3	12.0	8.7	9.8	47.8	3.3
	庄内地区	81	7.4	2.5	33.3	9.9	6.2	4.9	11.1	7.4	11.1	55.6	2.5
	顔田地区	54	13.0	1.9	44.4	18.5	5.6	7.4	7.4	16.7	16.7	38.9	1.9
	無回答	20	-	5.0	10.0	-	5.0	-	15.0	5.0	5.0	75	-

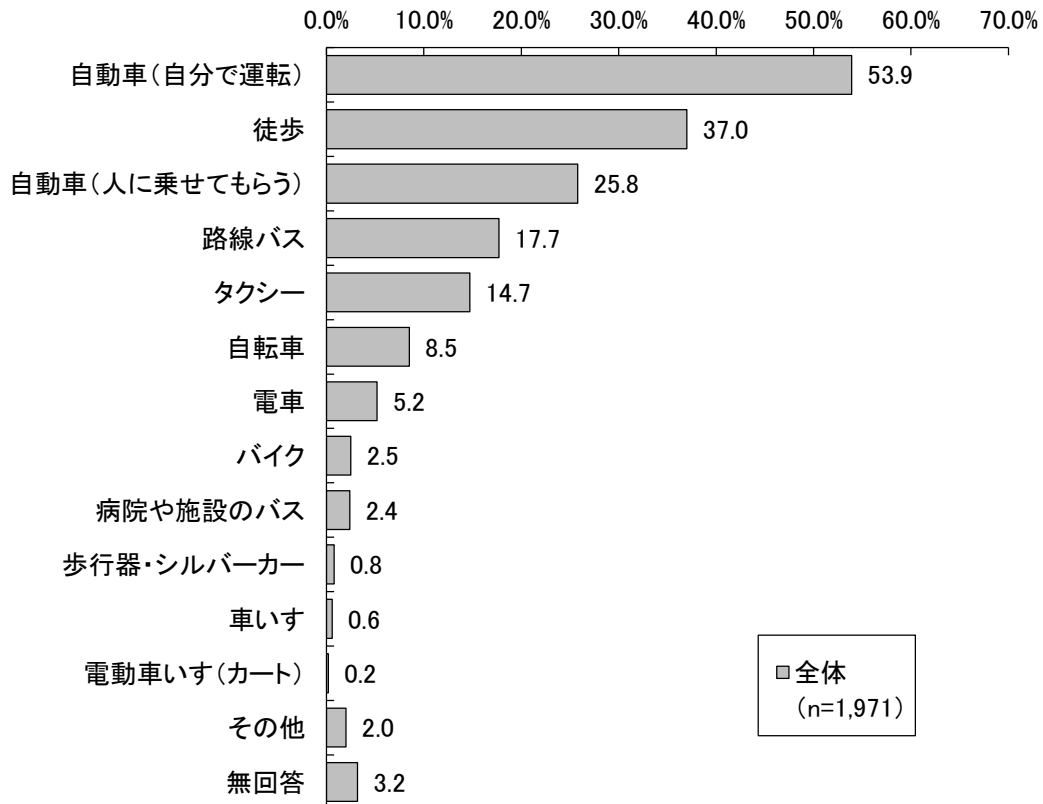
■性・年齢別にみると、「足腰の痛み」の割合は、男女ともに85歳以上で最も高く、6割以上を占める。

■居住地区別にみると、「足腰などの痛み」の割合は、顔田地区で最も高く、4割を超えている。

## ⑤ 外出の際の移動手段

問番号	内容	
問2	(9)	外出する際の移動手段は何ですか

〔外出の際の移動手段（複数回答）〕



■ 外出の際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」（53.9%）の割合が最も高く、次いで「徒歩」（37.0%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（25.8%）、「路線バス」（17.7%）と続く。

## 第2章 調査結果

〔性・年齢別、居住地区別 外出の際の移動手段（％）〕

	調査数「人」	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答	
全体	1,971	37.0	8.5	2.5	53.9	25.8	5.2	17.7	2.4	0.6	0.2	0.8	14.7	2.0	3.2	
性・年齢別	【男性計】	838	37.6	11.5	3.0	69.3	11.7	4.4	11.3	2.1	0.5	0.5	0.2	9.2	1.1	3.2
	65～74歳	496	36.3	11.1	3.2	77.2	8.1	5.4	8.9	1.2	0.6	-	0.2	4.4	0.4	2.8
	75～84歳	262	40.5	11.5	3.1	65.6	12.2	3.4	12.2	1.1	0.4	0.4	0.4	9.9	1.5	4.2
	85歳以上	80	36.3	13.8	1.3	32.5	32.5	1.3	23.8	11.3	-	3.8	-	36.3	3.8	2.5
	【女性計】	1,087	36.0	5.8	2.0	41.7	36.8	5.3	22.3	2.8	0.6	-	1.3	18.9	2.9	3.3
	65～74歳	581	34.9	6.9	1.7	59.9	33.2	6.9	16.5	1.4	0.2	-	-	10.3	1.9	2.9
	75～84歳	362	39.2	5.5	2.8	27.9	35.4	4.4	27.9	2.8	0.3	-	1.4	22.7	3.0	3.9
	85歳以上	144	31.9	2.1	1.4	2.8	54.9	1.4	31.3	8.3	3.5	-	6.3	43.8	6.3	3.5
無回答	46	50.0	17.4	6.5	63.0	23.9	17.4	26.1	-	2.2	-	-	15.2	-	2.2	
全体	1,971	37.0	8.5	2.5	53.9	25.8	5.2	17.7	2.4	0.6	0.2	0.8	14.7	2.0	3.2	
居住地区	飯塚地区	232	55.6	9.5	1.7	46.1	27.6	6.5	20.3	3.9	0.9	-	1.3	17.7	2.2	2.6
	飯塚東地区	142	31.7	2.1	2.8	54.2	28.9	3.5	19.7	2.1	0.7	0.7	-	18.3	1.4	2.8
	鯉田地区	122	37.7	6.6	0.8	59.8	18.9	6.6	23.0	1.6	-	-	0.8	10.7	-	3.3
	菰田地区	62	41.9	8.1	3.2	48.4	32.3	11.3	16.1	1.6	1.6	-	3.2	9.7	-	3.2
	二瀬地区	261	36.4	7.7	3.4	48.7	30.3	2.3	23.8	1.5	-	0.4	-	21.8	3.8	3.4
	幸袋地区	163	28.8	12.9	4.9	56.4	20.2	5.5	20.2	3.1	1.2	-	1.8	12.3	0.6	2.5
	鎮西地区	145	24.1	8.3	1.4	60.0	20.0	1.4	11.7	1.4	1.4	-	-	8.3	2.1	5.5
	穂波東地区	147	38.1	8.2	2.7	44.9	24.5	6.8	15.0	3.4	0.7	-	2.0	20.4	2.0	5.4
	穂波西地区	223	41.7	13.5	2.2	54.7	29.1	4.9	15.2	1.3	0.4	0.9	1.3	15.7	0.9	2.7
	筑穂地区	177	29.4	6.2	2.3	64.4	23.7	7.9	4.5	3.4	0.6	-	0.6	7.3	6.8	4.0
	庄内地区	154	33.8	4.5	1.3	55.8	24.7	3.9	17.5	3.2	-	-	-	11.0	1.3	1.9
	顔田地区	97	30.9	8.2	2.1	54.6	28.9	2.1	21.6	3.1	-	-	-	12.4	-	2.1
	無回答	46	50.0	17.4	6.5	63.0	23.9	17.4	26.1	-	2.2	-	-	15.2	-	2.2

■性・年齢別にみると、「自動車（自分で運転）」の割合は、男女ともに年齢層が上がるほど割合が低くなっている。一方で、「自動車（人に運転してもらう）」の割合は、男女ともに年齢層が上がるほど割合が高くなっている。

■居住地区別にみると、「自動車（自分で運転）」の割合は筑穂地区（64.4％）で最も高く、穂波東地区（44.9％）で最も低い。また、「電車」の割合は菰田地区（11.3％）で最も高く、鎮西地区（1.4％）で最も低い。「路線バス」の割合は二瀬地区（23.8％）で最も高く、筑穂地区（4.5％）で最も低い。

2 食べることについて

ここでは、低栄養の傾向や、口腔機能、口腔ケア・口腔の健康状態、孤食の状況を把握する。

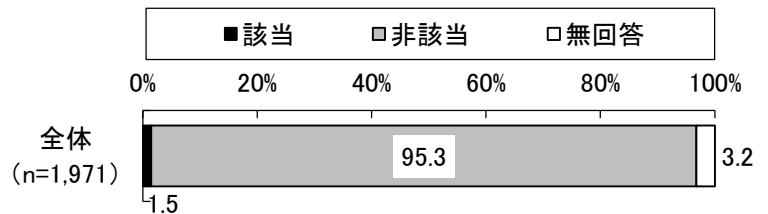
(1) 低栄養

高齢者の身長・体重から、BMIを算出し、低栄養のリスク判定を行う。BMIが18.5以下、かつ、この半年間で体重減少があった場合、低栄養状態と判定される。

問番号	内容	回答
問3	(1) 体重(kg) ÷ {身長(m) × 身長(m)}	≤18.5
問3	(7) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1 はい 2 いいえ

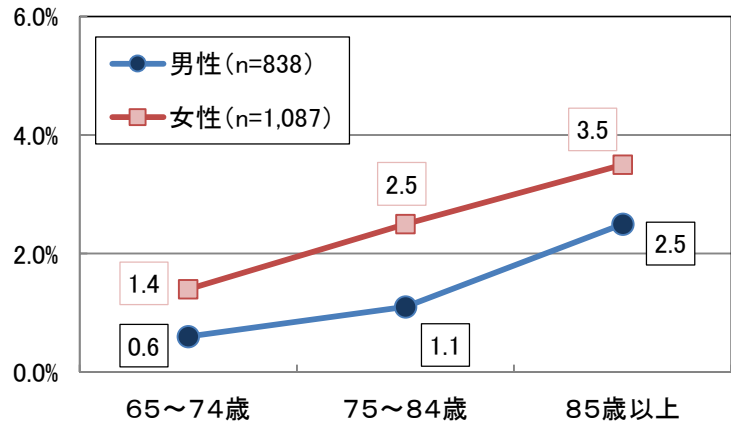
〔低栄養傾向判定〕

■基本チェックリストに基づく低栄養状態の該当者は、全体で1.5%となっており、他のリスク判定項目に比べて非常に低くなっている。

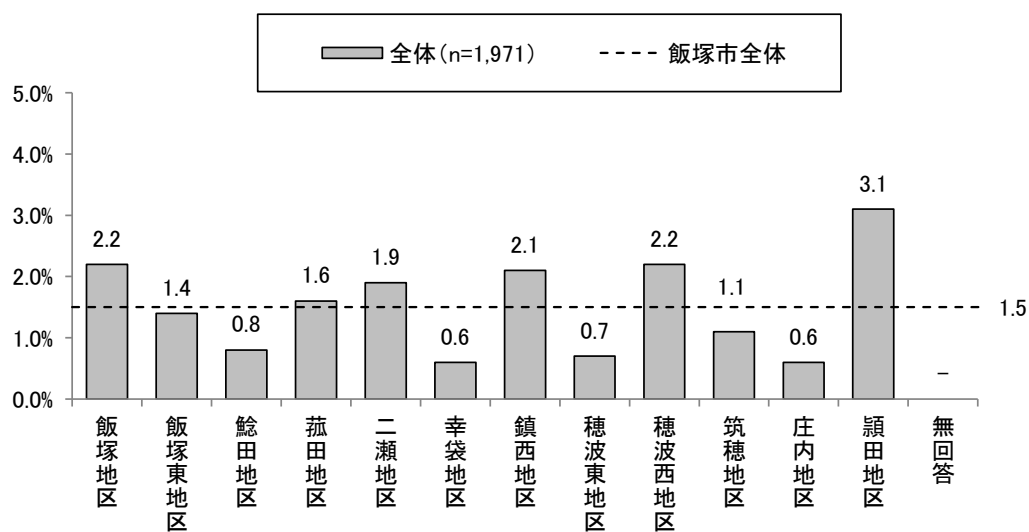


〔性・年齢別 低栄養傾向判定（「該当」の割合）〕

■性・年齢別にみると、該当者の割合は男女ともに85歳以上で高くなっているが、数値は他のリスク判定項目に比べて非常に低い。



〔居住地区別 低栄養傾向判定（「該当」の割合）〕



■割合が少なく、居住地区別による大きな差はみられない。



(2) 口腔機能

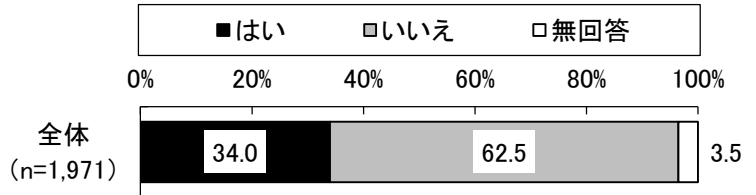
① 咀嚼機能

咀嚼機能の低下を把握する。以下の設問のうち、網掛け部分に該当した場合、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者と判定される。

問番号	内容	回答
問3	(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1 はい 2 いいえ

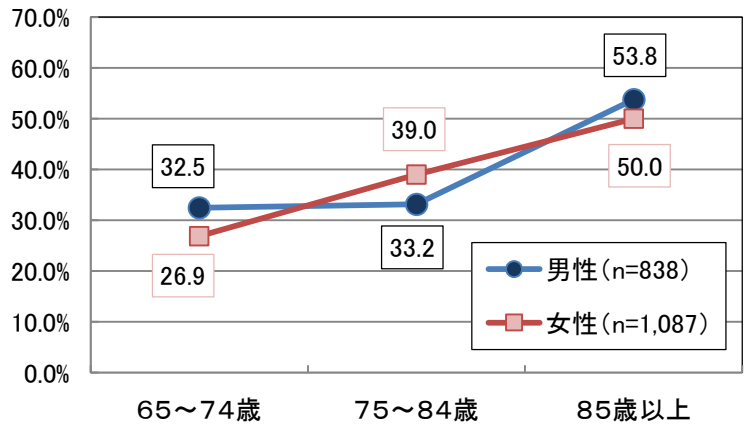
〔咀嚼機能判定〕

■基本チェックリストに基づく咀嚼機能判定の該当者は、全体で34.0%となっている。

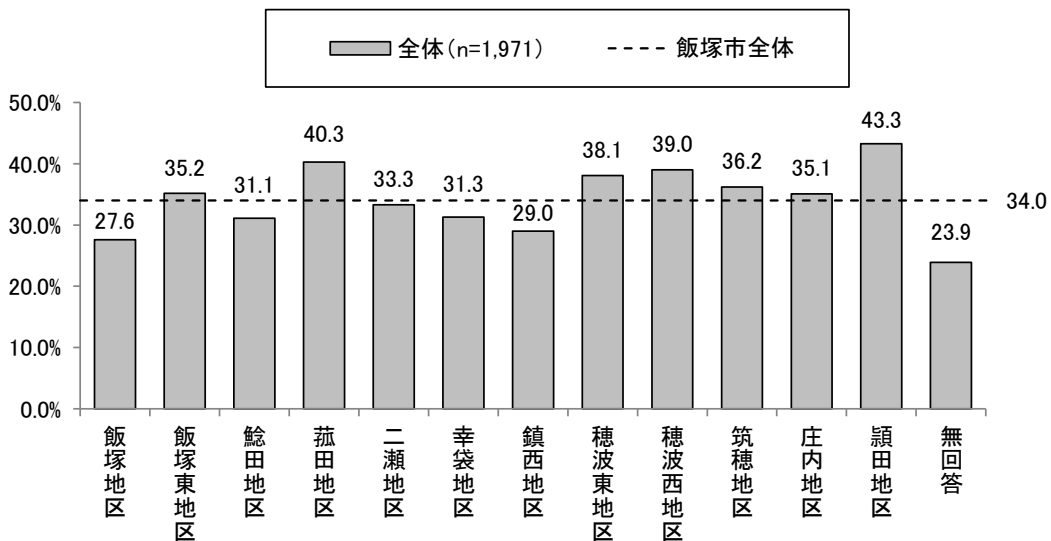


〔性・年齢別 咀嚼機能判定 (「該当」の割合)〕

■性・年齢別にみると、女性は該当者の割合が年齢とともに高くなり、85歳以上では半数を占める。



〔居住地区別 咀嚼機能判定 (「該当」の割合)〕



■居住地区別にみると、該当者の割合は、穎田地区(43.3%)で最も高く、飯塚地区(27.6%)で最も低くなっている。

## 第2章 調査結果

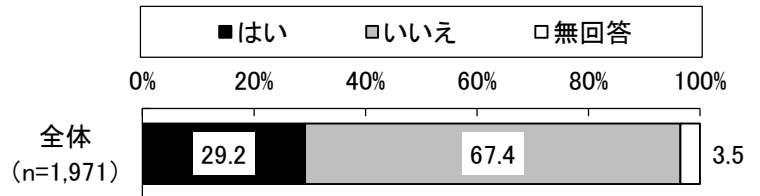
### ② 嚥下機能

嚥下機能の低下を把握する。以下の設問のうち、網掛け部分に該当した場合、嚥下機能の低下が疑われる高齢者と判定される。

問番号	内容	回答
問3	(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	1 はい 2 いいえ

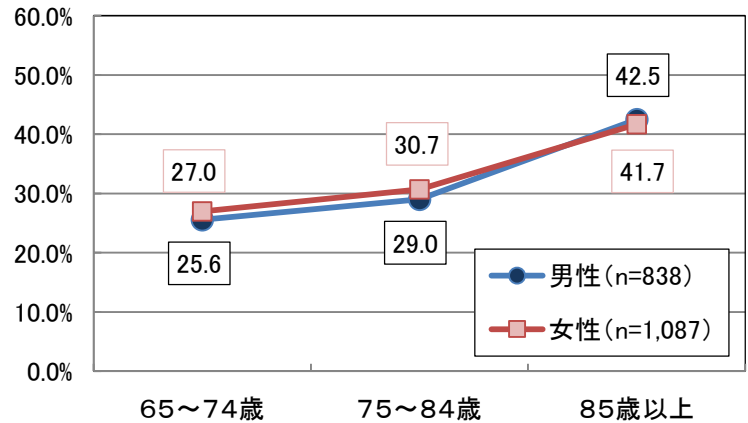
#### 〔嚥下機能判定〕

■基本チェックリストに基づく嚥下機能判定の該当者は、全体で29.2%となっている。

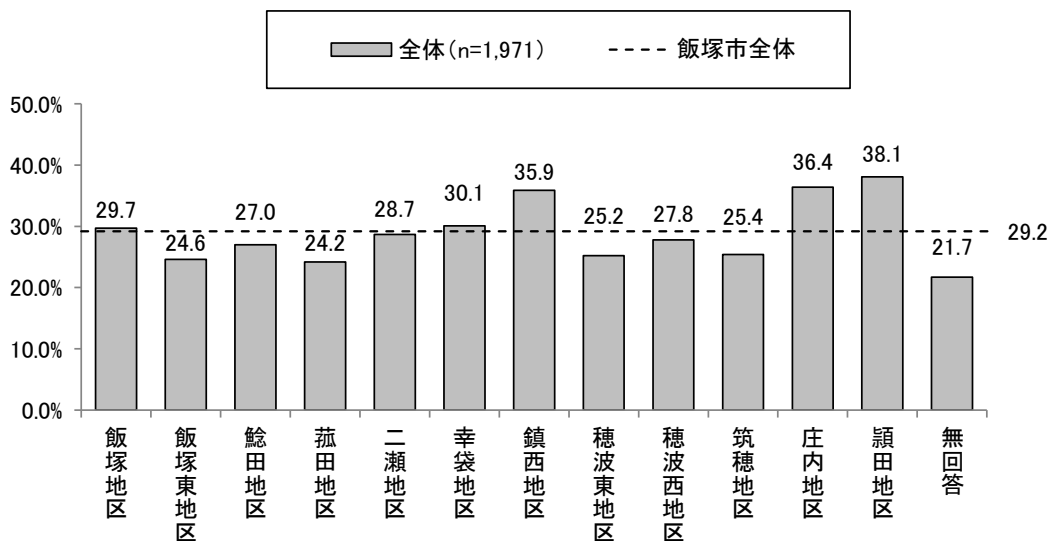


#### 〔性・年齢別 嚥下機能判定（「該当」の割合）〕

■性・年齢別にみると、該当者の割合に男女差はほとんどなく、年齢とともに高くなっている。



#### 〔居住地区別 嚥下機能判定（「該当」の割合）〕



■居住地区別にみると、該当者の割合は、穎田地区(38.1%)で最も高く、菰田地区(24.2%)で最も低くなっている。

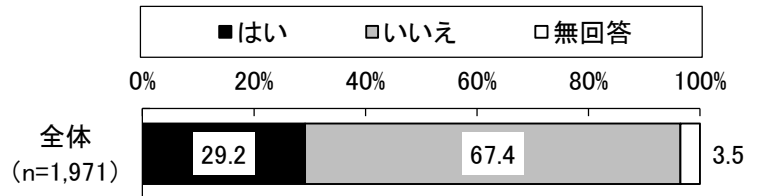
③ 肺炎発症リスク

肺炎発症リスクの判定を行う。以下の設問のうち、網掛け部分に該当した場合、肺炎発症リスクのある高齢者と判定される。

問番号	内容	回答
問3	(4) 口の渇きが気になりますか	1 はい 2 いいえ

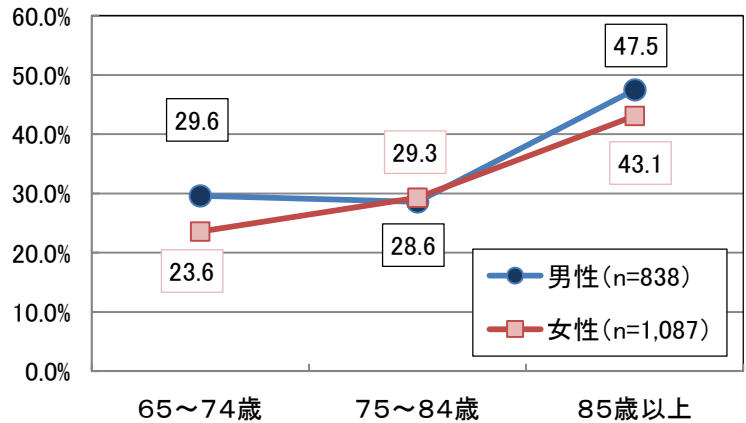
〔肺炎発症リスク〕

■基本チェックリストに基づく肺炎発症リスクの該当者(リスク有り)は、全体で29.2%となっている。

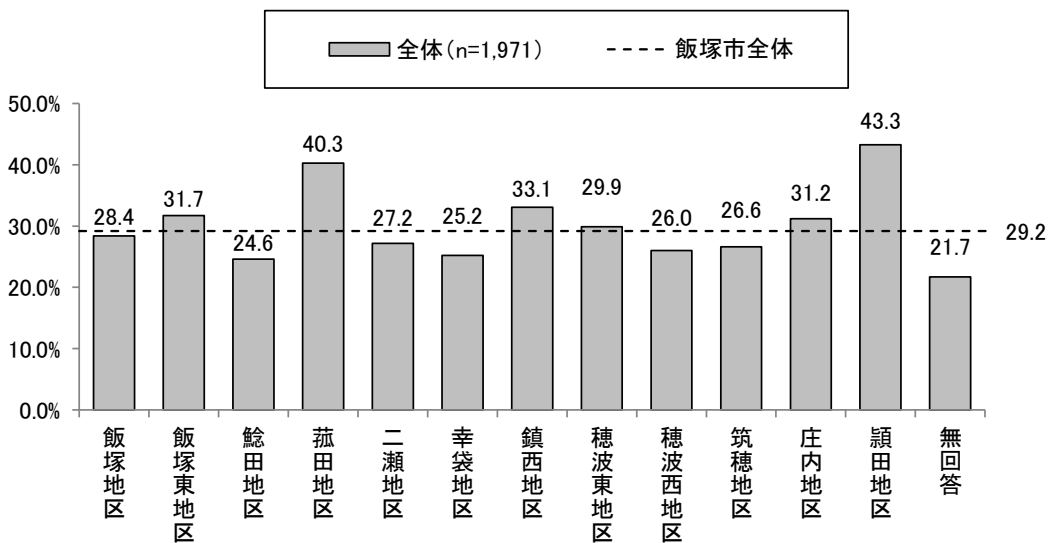


〔性・年齢別 肺炎発症リスク (「該当」の割合)〕

■性・年齢別にみると、該当者の割合に男女差はほとんどないが、女性は年齢とともに高くなり、85歳以上では4割以上を占める。



〔居住地区別 肺炎発症リスク (「該当」の割合)〕



■居住地区別にみると、該当者の割合は、穎田地区(43.3%)で最も高く、鯉田地区(24.6%)で最も低くなっている。

## 第2章 調査結果

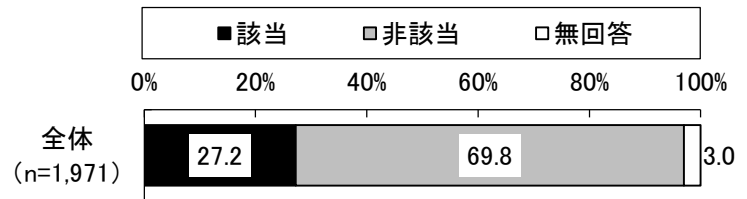
### ④ 口腔機能

口腔機能の低下を把握する。下表の3つの設問のうち、網掛け部分に2問（点）以上該当した場合、口腔機能の低下と判定される。

問番号	内容	回答
問3	(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1 はい（1点） 2 いいえ
問3	(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	1 はい（1点） 2 いいえ
問3	(4) 口の渇きが気になりますか	1 はい（1点） 2 いいえ

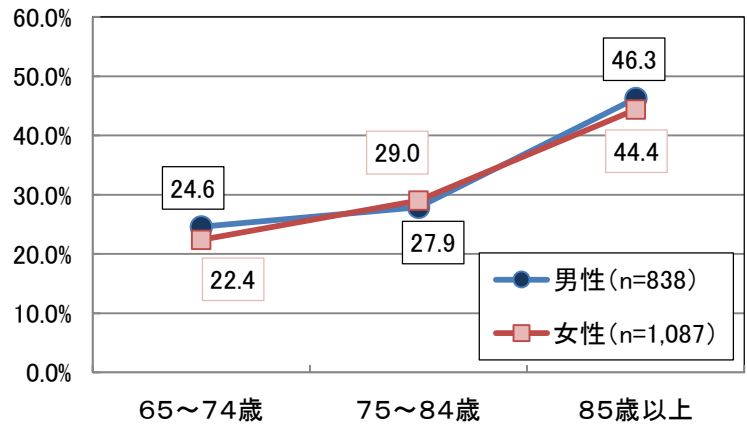
#### 〔口腔機能判定〕

■基本チェックリストに基づく口腔機能判定の該当者は、全体で27.2%となっている。

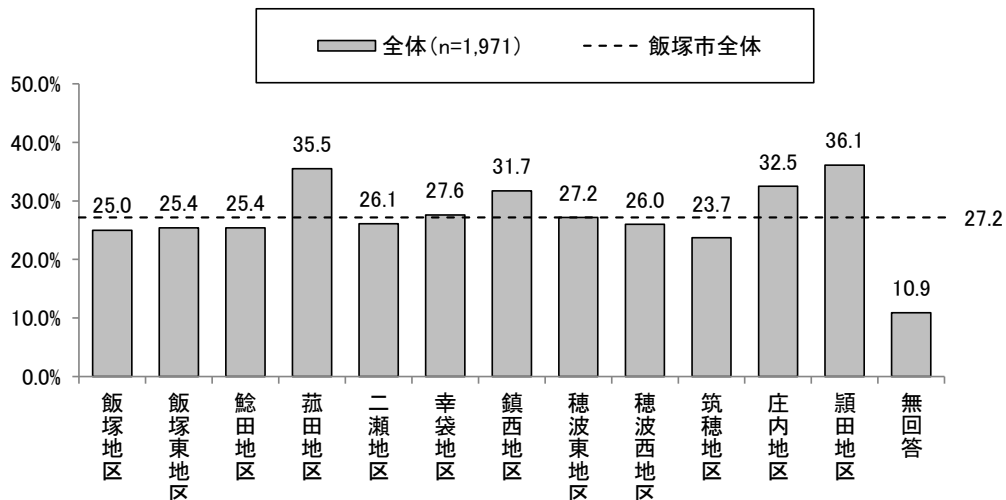


#### 〔性・年齢別 口腔機能判定（「該当」の割合）〕

■性・年齢別にみると、該当者の割合は男女とも年齢とともに高くなっている。



#### 〔居住地区別 口腔機能判定（「該当」の割合）〕



■居住地区別にみると、該当者の割合は、穎田地区(36.1%)で最も高く、筑穂地区(23.7%)で最も低くなっている。

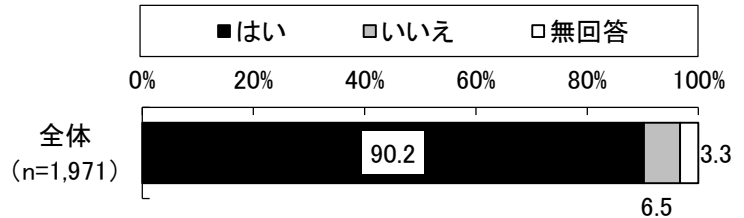
(3) 口腔ケア・口腔の健康状態

① 歯磨きを毎日しているか

問番号	内容	
問3	(5)	歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

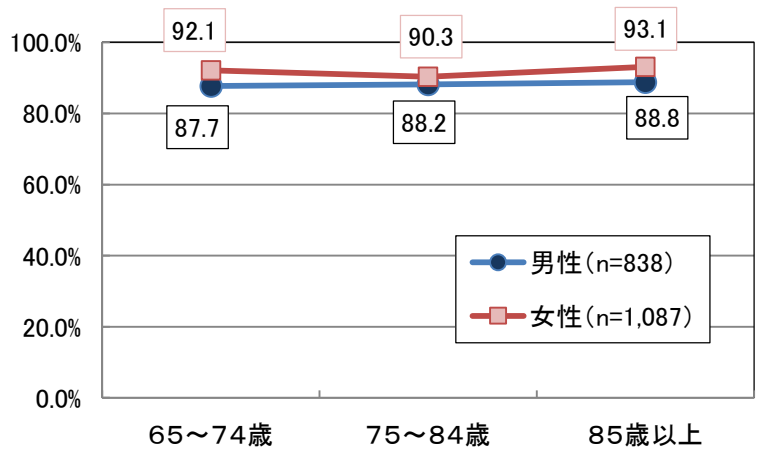
〔歯磨きを毎日しているか〕

■歯磨きを毎日しているかについて、「はい（毎日している）」の割合は、全体で90.2%と非常に高くなっている。

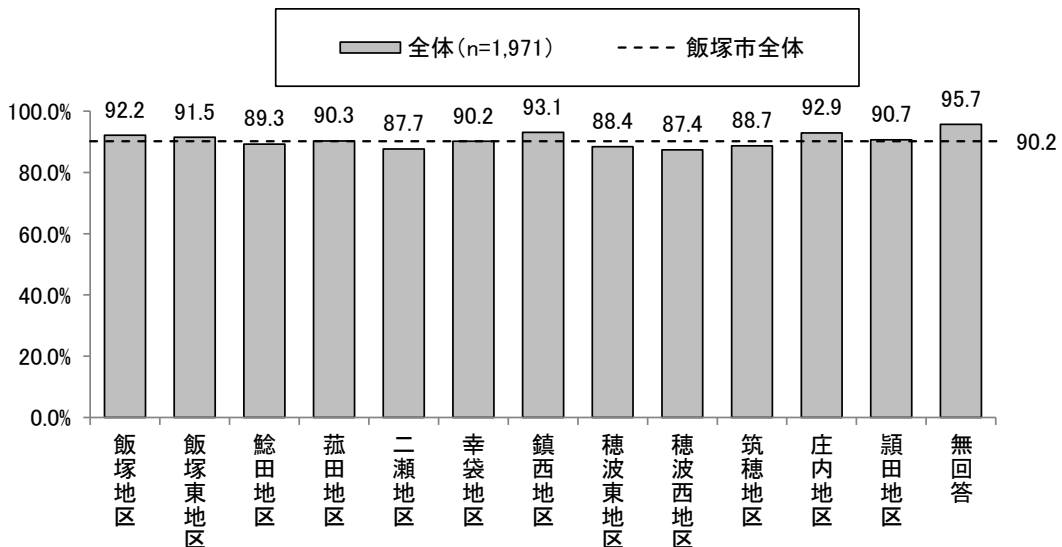


〔性・年齢別 歯磨きを毎日しているか（「はい（毎日している）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（毎日している）」の割合に男女差はほとんどなく、いずれも9割近くを占めている。



〔居住地区別 歯磨きを毎日しているか（「はい」の割合）〕



■居住地区別にみると、いずれの地区も約9割の高齢者が「歯磨きを毎日している」と回答している。

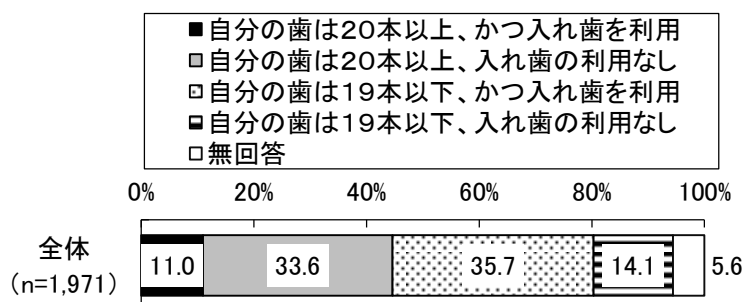
## 第2章 調査結果

### ② 義歯の有無と歯数

問番号	内容	
問3	(6)	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

#### 〔義歯の有無と歯数〕

■歯の数と入れ歯の利用状況をたずねたところ、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(35.7%)の割合が最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(33.6%)となっている。



#### 〔性・年齢別、認知機能判定別 義歯の有無と歯数 (%)〕

		調査数 〔人〕	自分の歯 19本以下、 かつ入れ 歯0	自分の歯 20本以上、 入れ歯0	自分の歯 19本以下、 かつ入れ 歯1	自分の歯 20本以上、 入れ歯1	無 回 答
全体		1,971	11.0	33.6	35.7	14.1	5.6
性・ 年 齢 別	【男性計】	838	11.0	32.0	38.4	14.1	4.5
	65～74歳	496	10.3	38.7	32.5	14.7	3.8
	75～84歳	262	12.6	24.0	43.5	13.4	6.5
	85歳以上	80	10.0	16.3	58.8	12.5	2.5
	【女性計】	1,087	11.1	34.1	34.0	14.1	6.6
	65～74歳	581	11.5	42.3	25.5	16.5	4.1
	75～84歳	362	11.6	27.9	40.6	10.8	9.1
	85歳以上	144	8.3	16.7	52.1	12.5	10.4
無回答	46	8.7	52.2	23.9	13.0	2.2	
全体		1,971	11.0	33.6	35.7	14.1	5.6
認 知 機 能 判 定 別	低下者	1,128	10.8	31.1	39.5	14.4	4.3
	非該当	839	11.3	37.2	30.8	13.7	7.0
	無回答	4	-	-	-	-	100.0

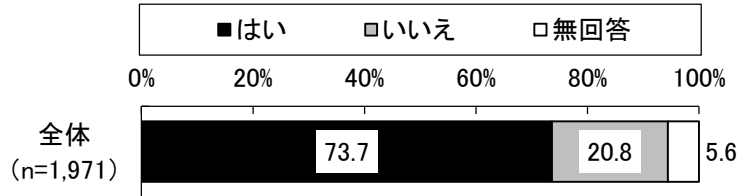
■性・年齢別にみると、「自分の歯の数は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合は、男女とも年齢とともに割合が高くなっている。また、物を噛む行為が脳に刺激を与えることから、残存数が多いほど認知症リスクが低いということが分かっているが、本調査の認知機能判定別にみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合は認知機能低下者で39.5%と最も高くなっている。

③ 噛み合わせは良いか

問番号	内容	
問3	(6) ①	噛み合わせは良いですか

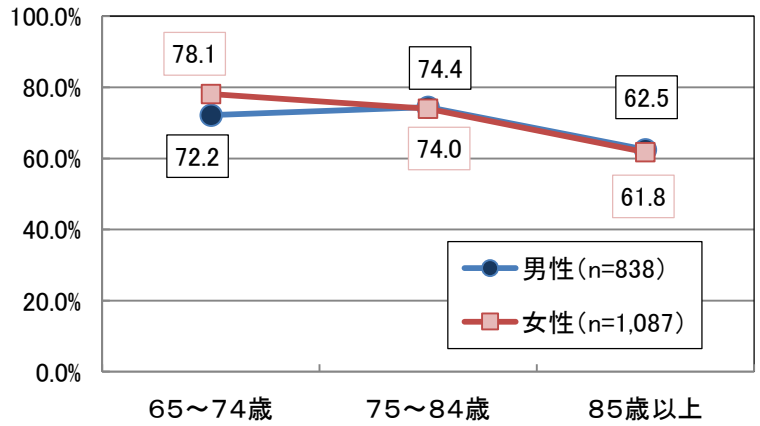
〔噛み合わせは良いか〕

■ 噛み合わせは良いかについて、「はい（良い）」の割合は、全体で73.7%となっている。

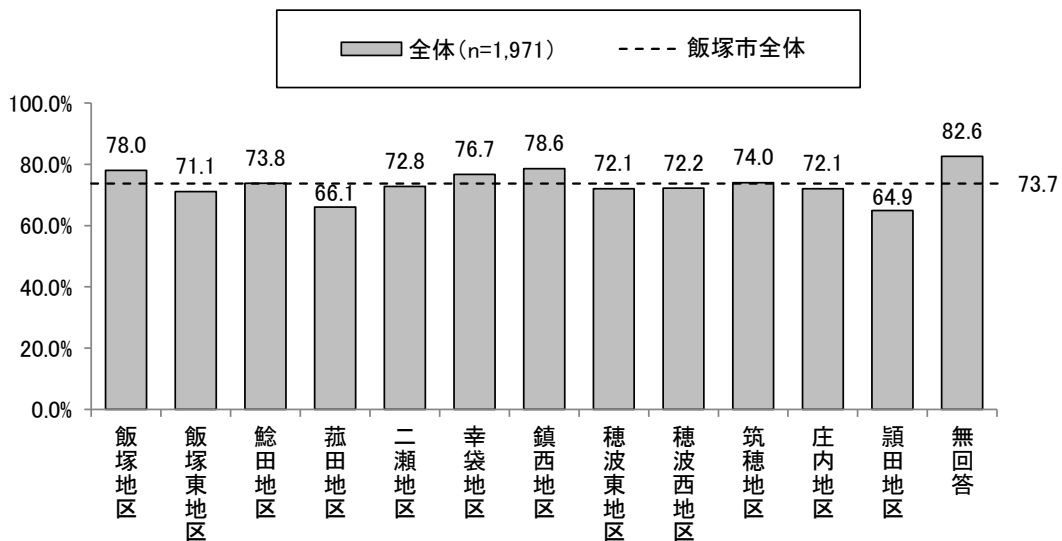


〔性・年齢別 噛み合わせは良いか（「はい（良い）」の割合）〕

■ 性・年齢別にみると、「はい（良い）」の割合に男女差はほとんどなく、いずれも6割から7割を占めている。



〔居住地区別 噛み合わせは良いか（「はい（良い）」の割合）〕



■ 居住地区別にみると、いずれの地区も約7割の高齢者が「噛み合わせは良い」と回答している。

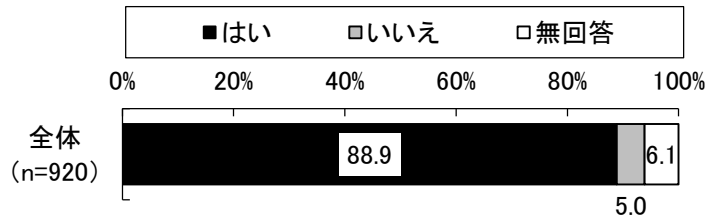
## 第2章 調査結果

### ④ 毎日入れ歯の手入れをしているか

問番号	内容
問3	(6) ② 【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか

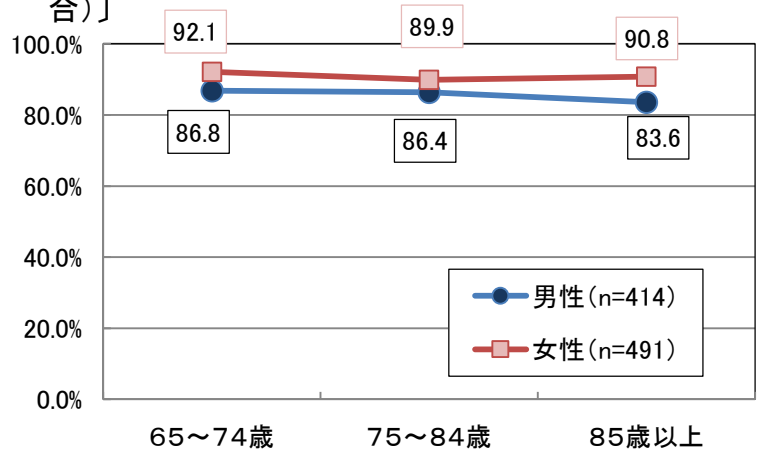
#### 〔毎日入れ歯の手入れをしているか〕

■入れ歯の利用者が、毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい（手入れをしている）」の割合は全体で88.9%と非常に高くなっている。

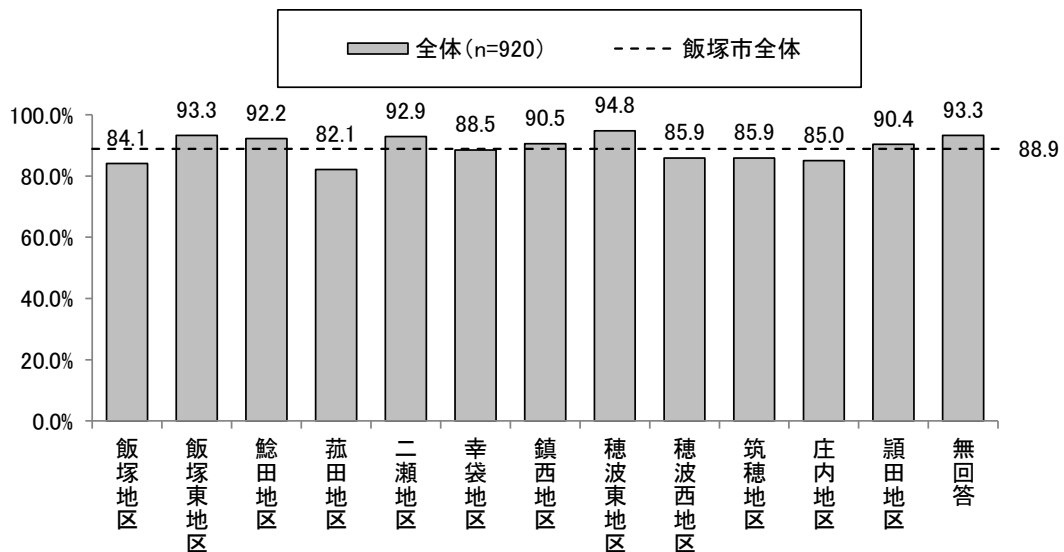


#### 〔性・年齢別 毎日入れ歯の手入れをしているか（「はい（手入れをしている）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（手入れをしている）」の割合に男女差はほとんどなく、いずれも8割から9割を占める。



#### 〔居住地区別 毎日入れ歯の手入れをしているか（「はい（手入れをしている）」の割合）〕



■居住地区別にみると、いずれの地区も8割以上の入れ歯利用者が「毎日入れ歯の手入れをしている」と回答している。

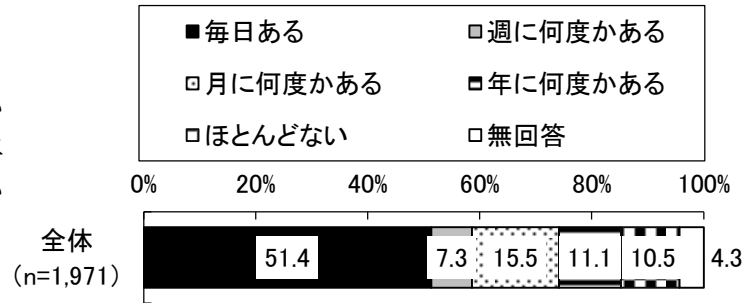


(4) 孤食

問番号	内容
問3 (8)	どなたかと食事をとにもする機会がありますか

〔誰かと食事をとにもする頻度〕

■誰かと食事をとにもする機会があるかたずねたところ、「毎日ある」(51.4%)の割合が最も高く、次いで「月に何度かある」(15.5%)、「年に何度かある」(11.1%)となっている。



〔世帯構成別、閉じこもり傾向判定別 誰かと食事をとにもする頻度 (%)〕

		調査数「人」	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体		1,971	51.4	7.3	15.5	11.1	10.5	4.3
世帯構成別	1人暮らし	497	8.2	13.7	33.2	20.1	21.7	3.0
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	738	66.5	3.9	9.8	9.6	6.0	4.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	75	66.7	5.3	10.7	6.7	5.3	5.3
	息子・娘との2世帯	240	72.9	6.7	6.3	5.8	5.4	2.9
	その他	346	65.9	6.4	9.0	6.1	8.7	4.0
	無回答	75	38.7	6.7	18.7	9.3	9.3	17.3
全体		1,971	51.4	7.3	15.5	11.1	10.5	4.3
閉じこもり傾向判定	該当	529	46.5	5.7	14.2	12.9	15.9	4.9
	非該当	1,397	53.9	7.9	16.0	10.2	8.3	3.7
	無回答	45	33.3	6.7	15.6	15.6	13.3	15.6

■世帯構成別にみると、食事をとにもする機会が「毎日ある」とする人は、夫婦2人暮らしや息子・娘との2世帯、その他（同居世帯含む）で過半数を占める。一方、1人暮らしでは「毎日ある」の割合は1割に満たず、「月に何度かある」(33.2%)が最も高くなっている。

■閉じこもり傾向判定別にみると、非該当者よりも該当者で「毎日ある」の割合が低く、「年に何度かある」、「ほとんどない」の割合が高くなっている。

3 毎日の生活について

ここでは、認知機能や IADL（手段的自立度）、知的能動性等の状況を把握する。

(1) 認知機能

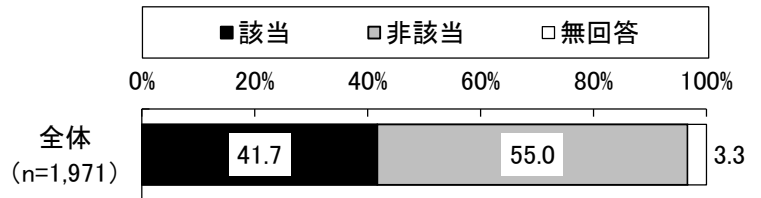
① 認知機能

認知機能の低下を把握する。以下の設問のうち、網掛け部分に該当した場合、認知機能の低下が疑われる高齢者と判定される。

問番号	内容	回答
問4	(1) 物忘れが多いと感じますか	1 はい 2 いいえ

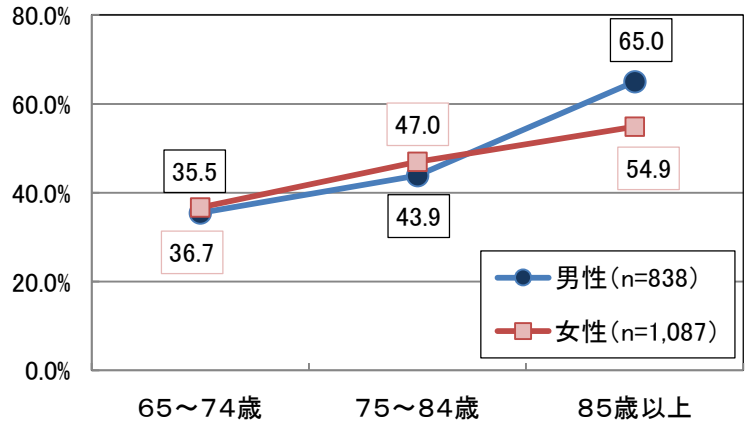
〔認知機能判定〕

■基本チェックリストに基づく認知機能判定の該当者の割合は、全体で41.7%となっている。

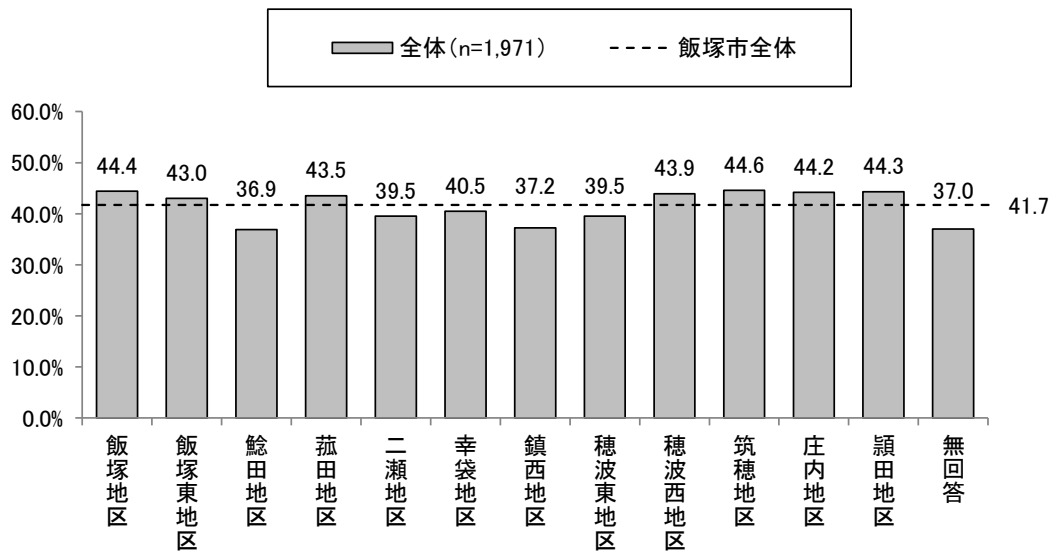


〔性・年齢別 認知機能判定（「該当」の割合）〕

■性・年齢別にみると、該当者の割合に男女差はほとんどないが、年齢とともに高くなっている。男性85歳以上の高齢者で該当者が6割以上を占める。



〔居住地区別 認知機能判定（「該当」の割合）〕



■居住地区別にみると、該当者の割合は筑穂地区（44.6%）で最も高く、鯉田地区（36.9%）で最も低くなっている。

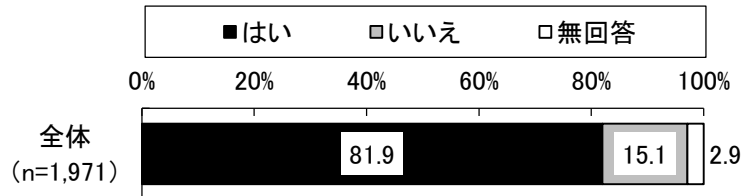
## 第2章 調査結果

### ② 自分で電話番号を調べ、電話をかけるか

問番号	内容	
問4	(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

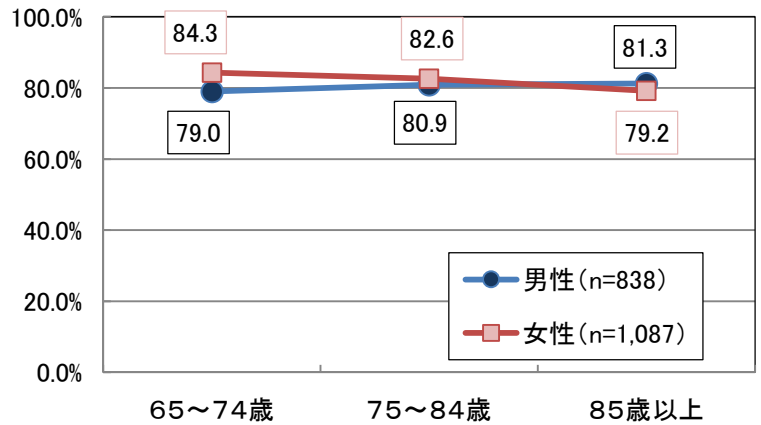
#### 〔自分で電話番号を調べ、電話をかけるか〕

■自分で電話番号を調べ、電話をかけるかについて、「はい(電話をかける)」の割合は全体で81.9%と非常に高くなっている。

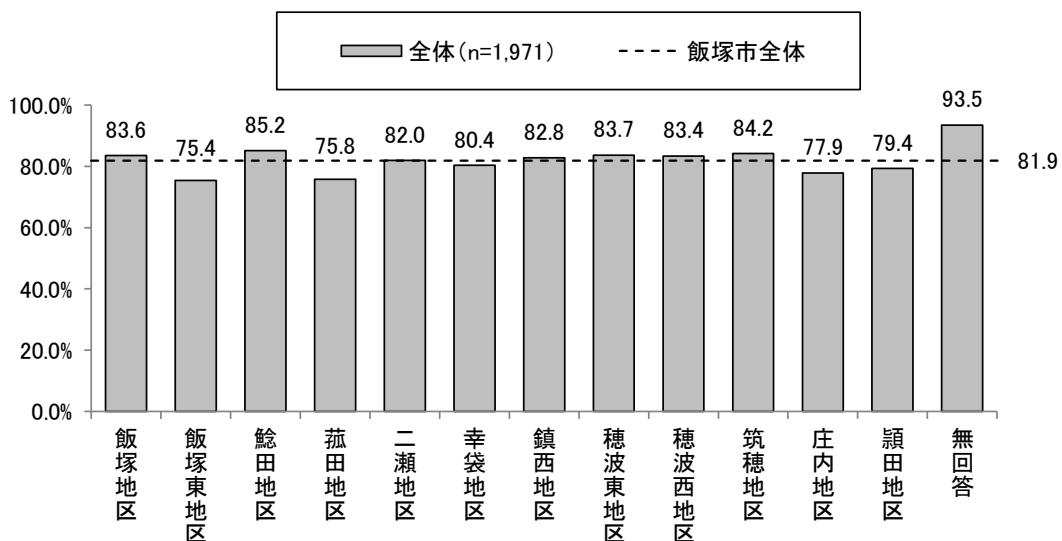


#### 〔性・年齢別 自分で電話番号を調べ、電話をかけるか(「はい(電話をかける)」の割合)〕

■性・年齢別にみると、「はい(電話をかける)」の割合に男女差はほとんどなく、8割前後となっている。



#### 〔居住地区別 自分で電話番号を調べ、電話をかけるか(「はい」の割合)〕



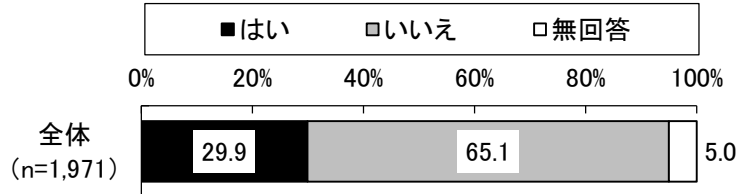
■居住地区別にみると、いずれの地区も7割以上の高齢者が「自分で電話番号を調べ、電話をかけられる」と回答している。

③ 今日が何月何日かわからない時があるか

問番号	内容	
問4	(3)	今日が何月何日かわからない時がありますか

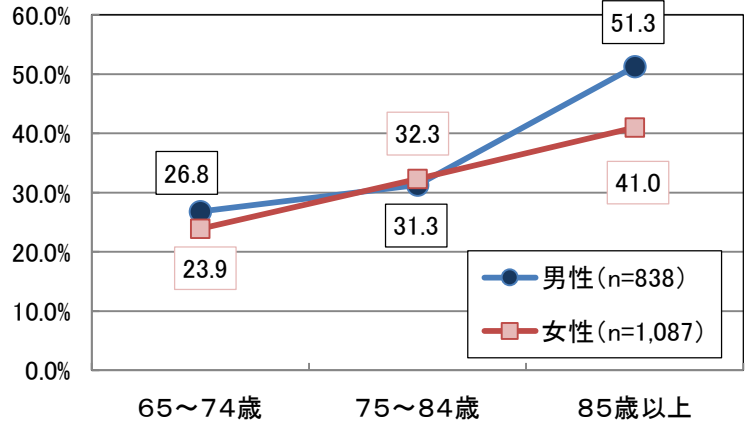
〔今日が何月何日かわからない時があるか〕

■ 今日が何月何日かわからない時があるかについて、「はい（ある）」の割合は全体で29.9%となっている。

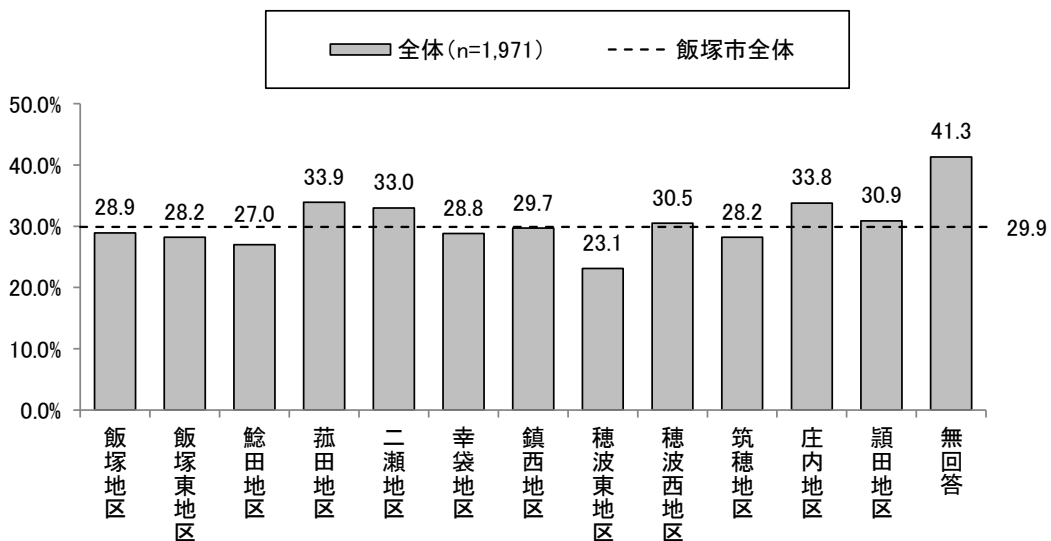


〔性・年齢別 今日が何月何日かわからない時があるか（「はい（ある）」の割合）〕

■ 性・年齢別にみると、「はい（ある）」の割合に男女差はほとんどなく、年齢とともに高くなり、85歳以上の男性では5割以上を占める。



〔居住地区別 今日が何月何日かわからない時があるか（「はい（ある）」の割合）〕



■ 居住地区別にみると、「今日が何月何日かわからない時がある」人の割合は菰田地区（33.9%）で最も高く、穂波東地区（23.1%）で最も低くなっている。

(2) 手段的自立度 (IADL)

① 手段的自立度 (IADL)

IADLは、日常生活を送る上で必要な動作のうち、買物や食事の用意等の家事全般や、外出して乗り物に乗ること、金銭管理等の動作を指し、項目ごとの自立度で評価する。

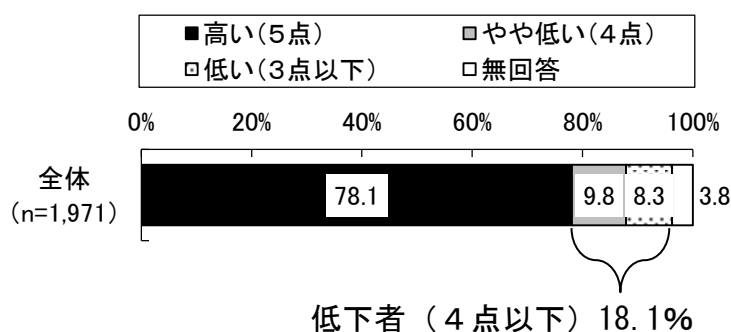
本調査では、各項目を点数化し、その合計で自立度が「高い(5点)」、「やや低い(4点)」、「低い(3点以下)」と分類し集計を行っている。

このうち、「やや低い(4点)」または「低い(3点以下)」に該当した場合、手段的自立度 (IADL) の低下者 (4点以下) と判定する。

問番号	内容	回答	点数化
問4	(4) バスや電車を使って1人で外出していますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	1点 1点 0点
	(5) 食品や日用品の買物をしていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	1点 1点 0点
	(6) 食事の用意をしていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	1点 1点 0点
	(7) 請求書の支払をしていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	1点 1点 0点
	(8) 預貯金の出し入れをしていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	1点 1点 0点

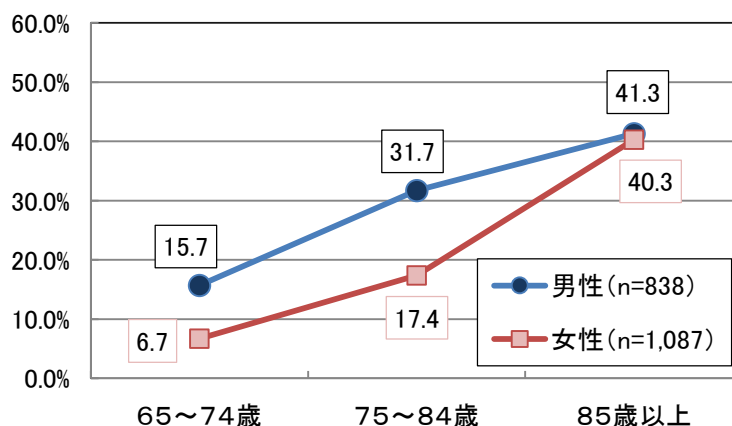
〔手段的自立度〔IADL〕〕

■手段的自立度 (IADL) の低下者 (4点以下の者) の割合は、全体で18.1%となっている。

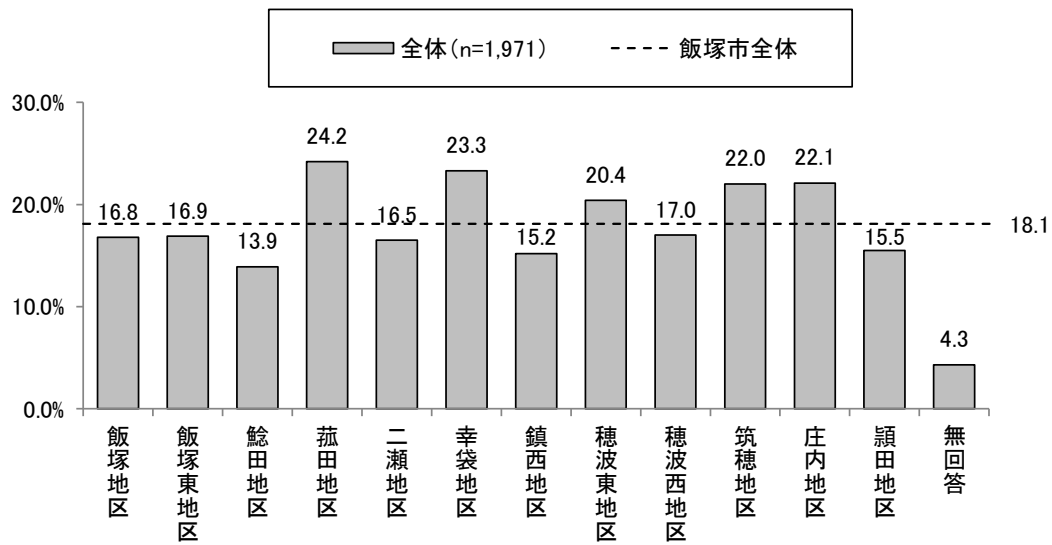


〔性・年齢別 手段的自立度〔IADL〕 (低下者の割合)〕

■性・年齢別にみると、低下者の割合は75~84歳まで女性より男性の割合が高くなっている。一方、女性の65~74歳までは低下者が1割に満たないが、75歳以上になると低下者が増加し、85歳以上では約4割を占める。



〔居住地区別 手段的自立度[ I A D L ] (低下者の割合)〕



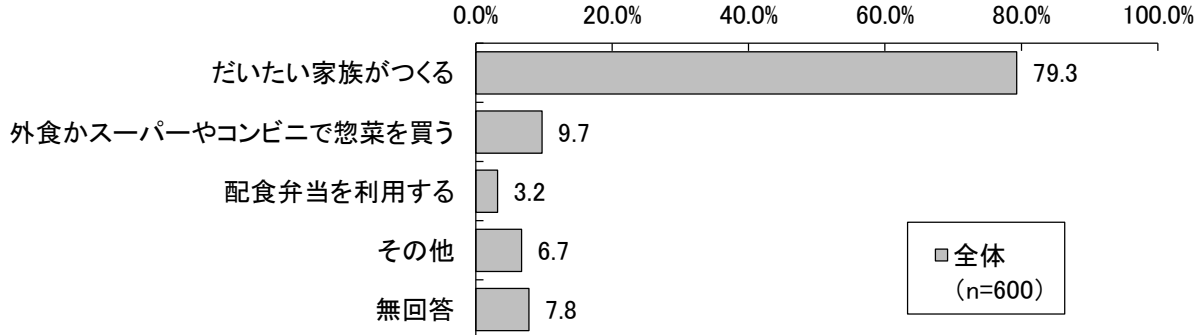
■居住地区別にみると、低下者の割合は菰田地区(24.2%)で最も高く、鯉田地区(13.9%)で最も低くなっている。

## 第2章 調査結果

### ② 食事をどのように用意しているか

問番号	内容
問4 (6) ①	【(6)において「1. (自分で食事の用意を)できるし、している」以外の方のみ食事はどのように用意していますか

#### 〔食事をどのように用意しているか（複数回答）〕



■自分で食事の用意をしていない回答者が、食事をどのように用意しているかについては、「だいたい家族がつくる」(79.3%)が最も高い。

#### 〔性・年齢別、居住地区別 食事をどのように用意しているか (%)〕

		調査数 「人」	くだ いた い家 族が つ	買 う コ ン ビ ニ で 惣 菜 を	外 食 か ス ー パ ー や	配 食 弁 当 を 利 用 す	そ の 他	無 回 答
全体		600	79.3	9.7	3.2	6.7	7.8	
性・ 年 齢 別	【男性計】	470	84.3	7.0	1.7	3.4	8.5	
	65～74歳	263	85.2	8.0	0.8	3.0	8.0	
	75～84歳	161	86.3	5.0	1.2	0.6	9.9	
	85歳以上	46	71.7	8.7	8.7	15.2	6.5	
	【女性計】	117	59.8	17.9	9.4	20.5	5.1	
	65～74歳	36	66.7	27.8	2.8	11.1	2.8	
	75～84歳	36	61.1	13.9	11.1	22.2	5.6	
	85歳以上	45	53.3	13.3	13.3	26.7	6.7	
無回答	13	76.9	30.8	-	-	7.7		
居 住 地 区	全体	600	79.3	9.7	3.2	6.7	7.8	
	飯塚地区	63	74.6	12.7	-	11.1	9.5	
	飯塚東地区	52	86.5	3.8	7.7	5.8	1.9	
	鯉田地区	31	77.4	9.7	-	9.7	12.9	
	菰田地区	17	76.5	11.8	5.9	11.8	5.9	
	二瀬地区	80	82.5	6.3	3.8	2.5	8.8	
	幸袋地区	49	71.4	8.2	4.1	12.2	8.2	
	鎮西地区	48	75.0	8.3	10.4	12.5	6.3	
	穂波東地区	44	75.0	15.9	4.5	4.5	6.8	
	穂波西地区	56	83.9	8.9	-	5.4	5.4	
	筑穂地区	59	89.8	6.8	-	-	10.2	
	庄内地区	62	77.4	16.1	1.6	3.2	9.7	
	穎田地区	26	73.1	-	3.8	15.4	7.7	
	無回答	13	76.9	30.8	-	-	7.7	

■性・年齢別にみると、「だいたい家族がつくる」の割合は、女性では年齢とともに低くなっている。



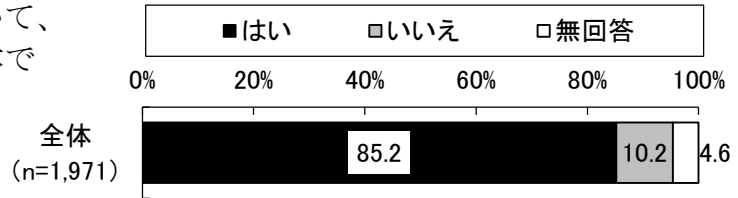
(3) 知的能動性

① 年金などの書類が書けるか

問番号	内容	
問4	(9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

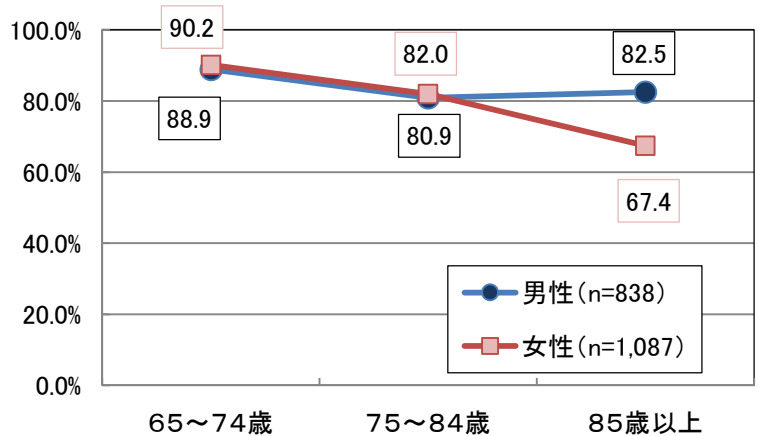
〔年金などの書類が書けるか〕

■年金などの書類が書けるかについて、「はい（書ける）」の割合は、全体で85.2%と非常に高くなっている。

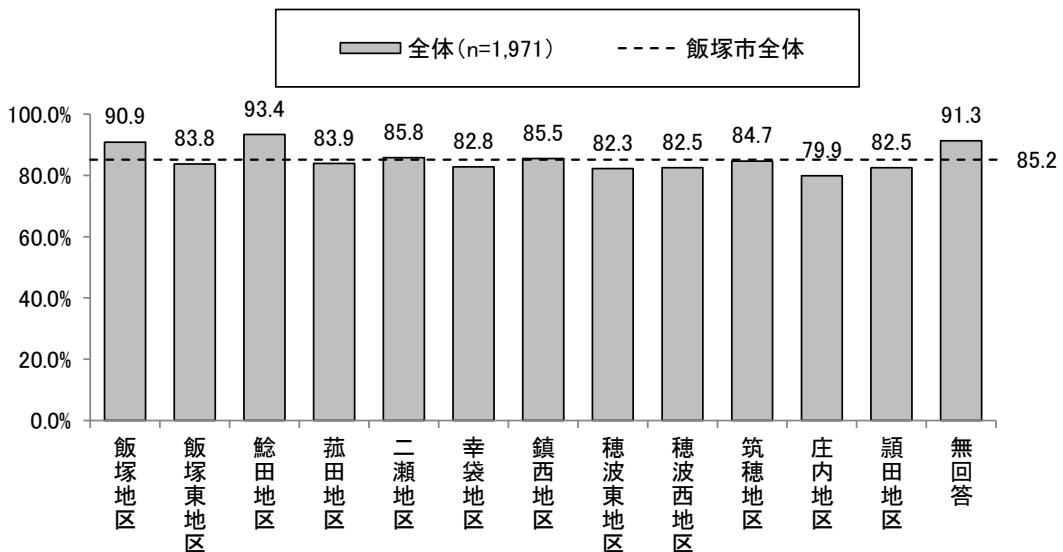


〔性・年齢別 年金などの書類が書けるか（「はい（書ける）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（書ける）」の割合は、男性は各年齢層でほとんど変化がないが、女性は年齢とともに低くなり、85歳以上の高齢者では7割弱まで落ち込む。



〔居住地区別 年金などの書類が書けるか（「はい（書ける）」の割合）〕



■居住地区別にみると、「年金などの書類を書ける」人の割合は、鯉田地区（93.4%）で最も高く、庄内地区（79.9%）で最も低くなっている。

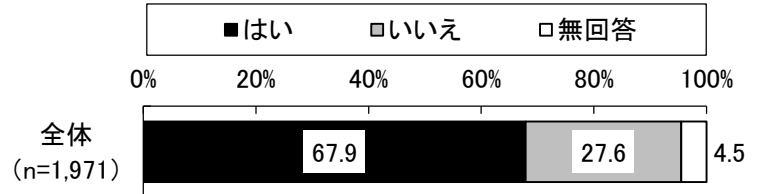
## 第2章 調査結果

### ② 新聞を読んでいるか

問番号	内容	
問4	(10)	新聞を読んでいますか

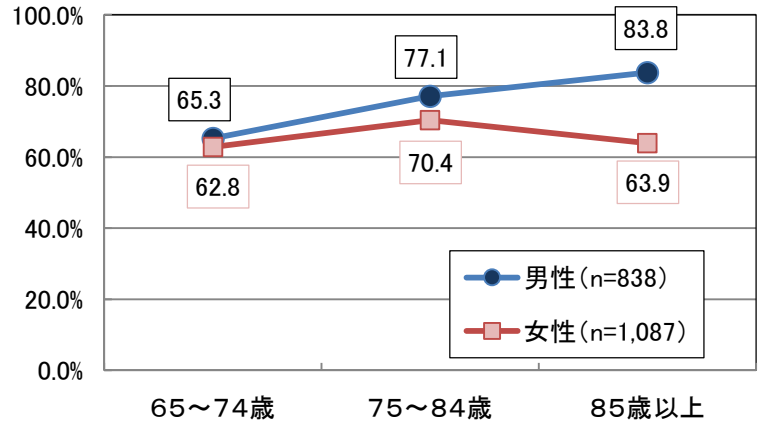
#### 〔新聞を読んでいるか〕

■新聞を読んでいるかについて、「はい（読んでいる）」の割合は、全体で67.9%となっている。

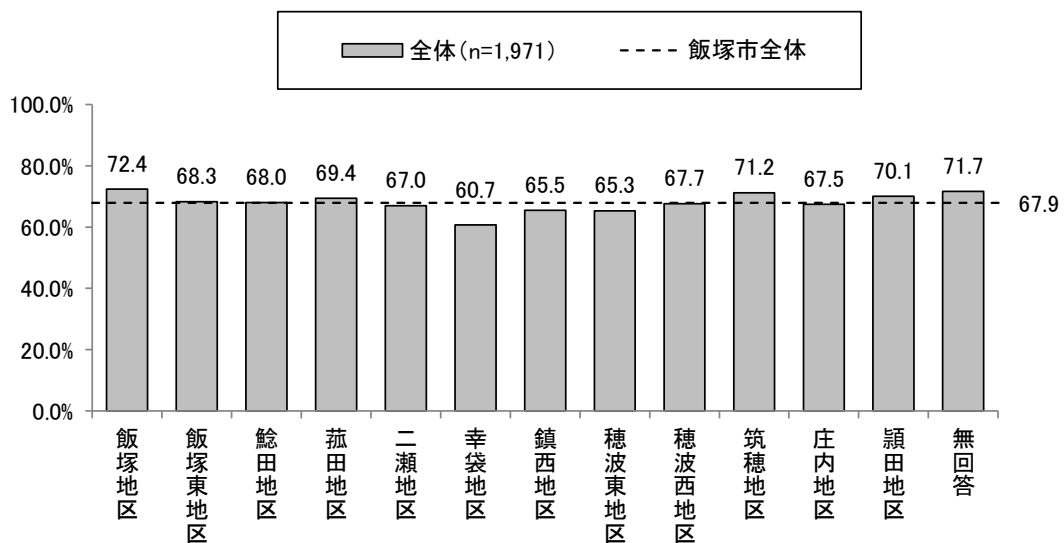


#### 〔性・年齢別 新聞を読んでいるか（「はい（読んでいる）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（読んでいる）」の割合は、男性は年齢とともに高くなり、85歳以上では8割以上を占める。



#### 〔居住地区別 新聞を読んでいるか（「はい（読んでいる）」の割合）〕



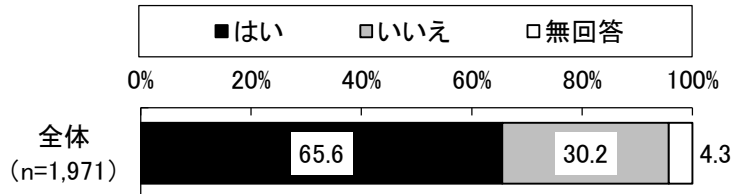
■居住地区別にみると、いずれの地区も6割以上の高齢者が「新聞を読んでいる」と回答している。

③ 本や雑誌を読んでいるか

問番号	内容	
問4	(11)	本や雑誌を読んでいますか

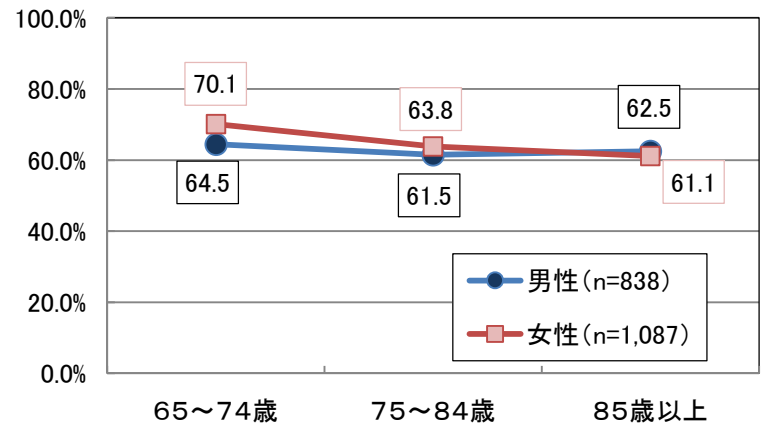
〔本や雑誌を読んでいるか〕

■本や雑誌を読んでいるかについて、「はい（読んでいる）」の割合は、全体で65.6%となっている。

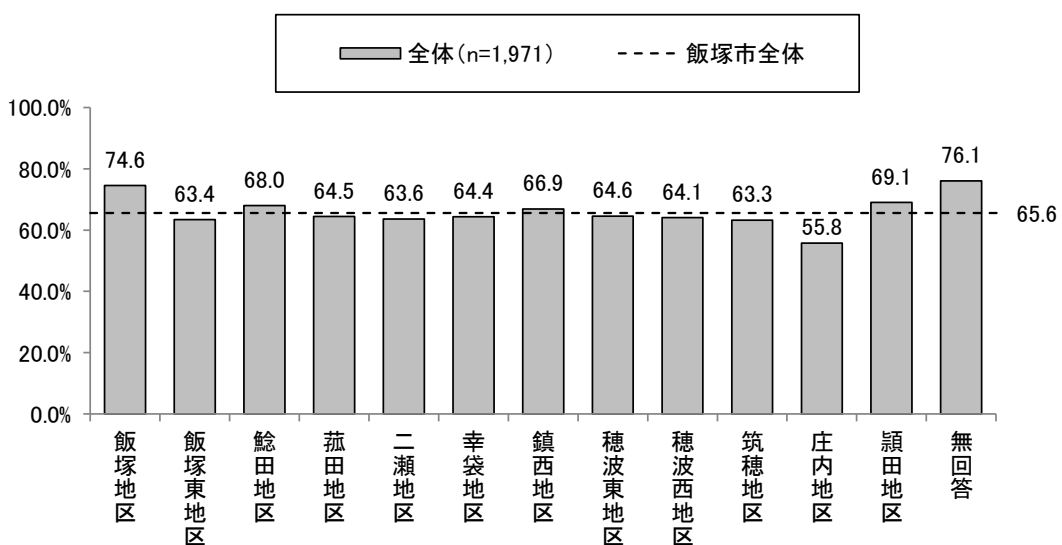


〔性・年齢別 本や雑誌を読んでいるか（「はい（読んでいる）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（読んでいる）」の割合は、男性は各年齢層でほとんど変化がないが、女性は年齢とともに低くなり、85歳以上の高齢者では約6割となっている。



〔居住地区別 本や雑誌を読んでいるか（「はい（読んでいる）」の割合）〕



■居住地区別にみると、「本や雑誌を読んでいる」人の割合は、飯塚地区（74.6%）で最も高く、庄内地区（55.8%）で最も低くなっている。

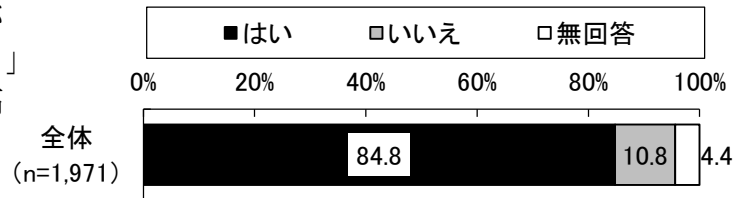
## 第2章 調査結果

### ④ 健康についての記事や番組に関心があるか

問番号	内容	
問4	(12)	健康についての記事や番組に関心がありますか

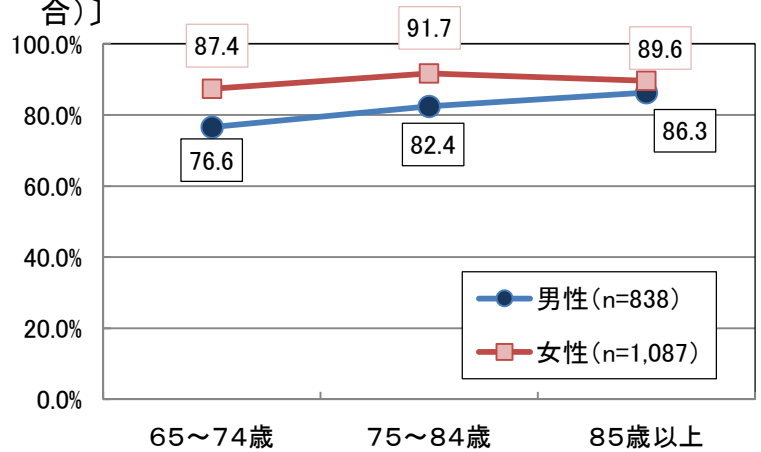
#### 〔健康についての記事や番組に関心があるか〕

■健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい（関心がある）」の割合は、全体で84.8%と非常に高くなっている。

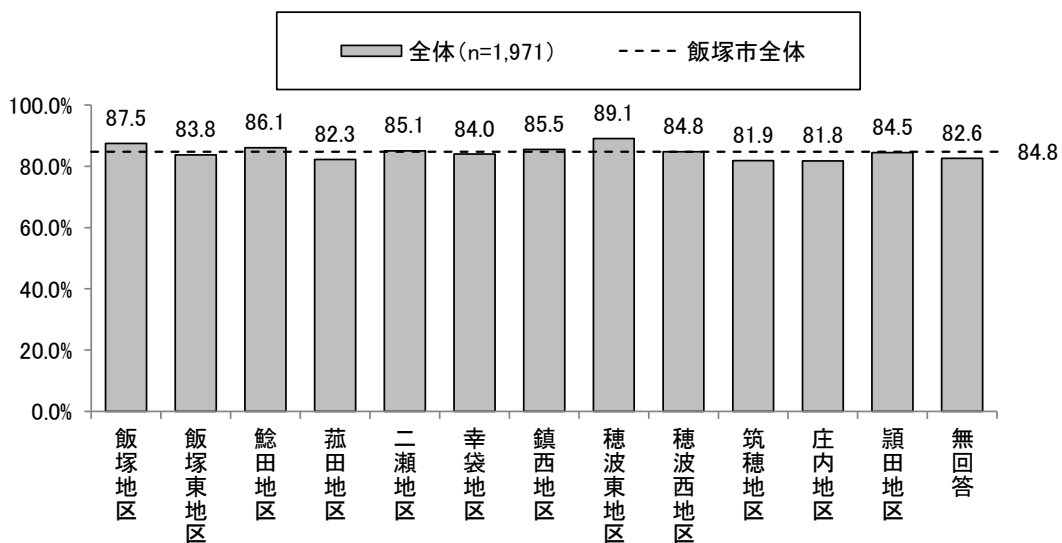


#### 〔性・年齢別 健康についての記事や番組に関心があるか（「はい（関心がある）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（関心がある）」の割合は、各年齢層とも男性に比べ女性の割合が高くなっている。



#### 〔居住地区別 健康についての記事や番組に関心があるか（「はい（関心がある）」の割合）〕



■居住地区別にみると、いずれの地区も8割以上の高齢者が「健康についての記事や番組に関心がある」と回答している。

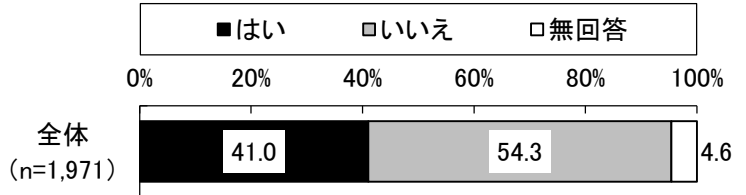
(4) 他者との関わり

① 友人の家を訪ねているか

問番号	内容	
問4	(13)	友人の家を訪ねていますか

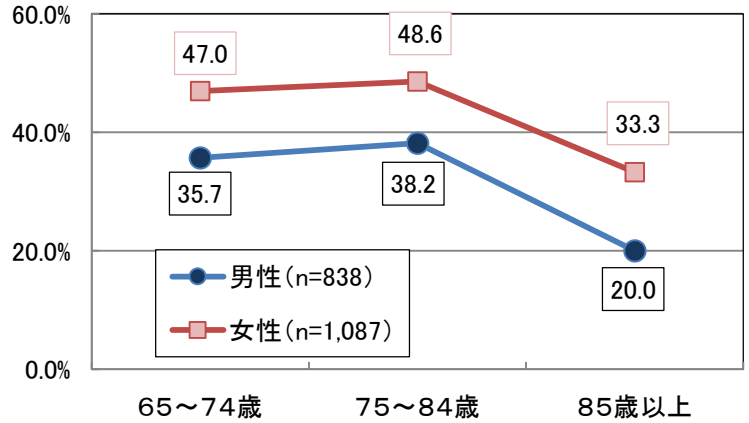
〔友人の家を訪ねているか〕

■友人の家を訪ねているかについて、「はい（訪ねている）」の割合は、全体で41.0%となっている。

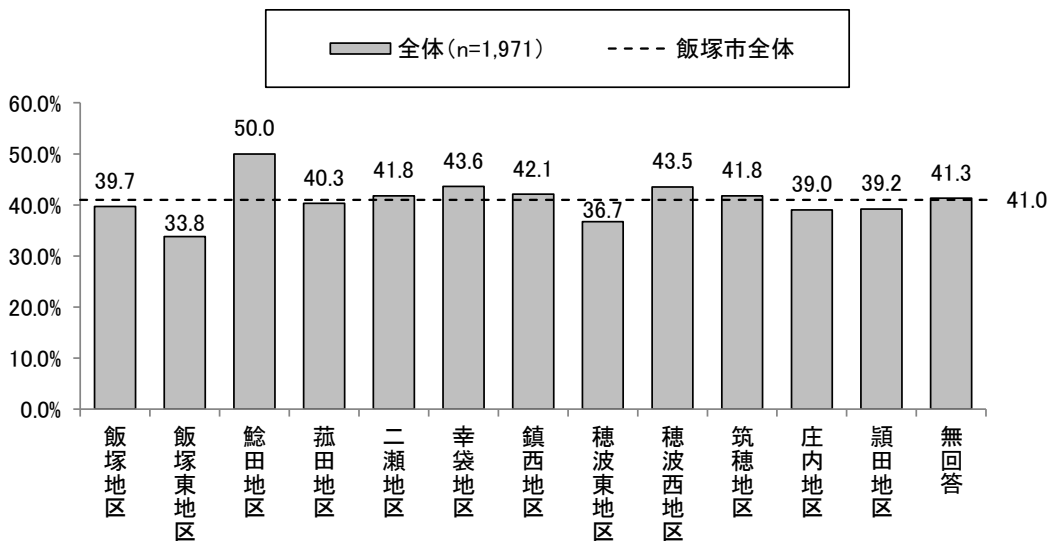


〔性・年齢別 友人の家を訪ねているか（「はい（訪ねている）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（訪ねている）」の割合は、男女ともに85歳以上で大きく落ち込み、男性2割、女性約3割となっている。



〔居住地区別 友人の家を訪ねているか（「はい（訪ねている）」の割合）〕



■居住地区別にみると、「友人の家を訪ねている」人の割合は、鯉田地区（50.0%）で最も高く、飯塚東地区（33.8%）で最も低くなっている。

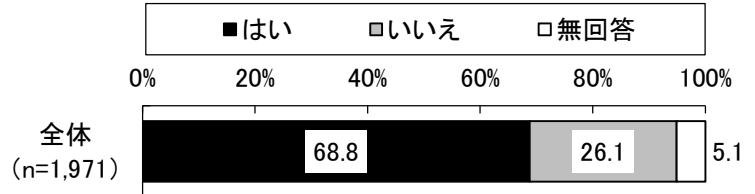
## 第2章 調査結果

### ② 家族や友人の相談にのっているか

問番号	内容	
問4	(14)	家族や友人の相談にのっていますか

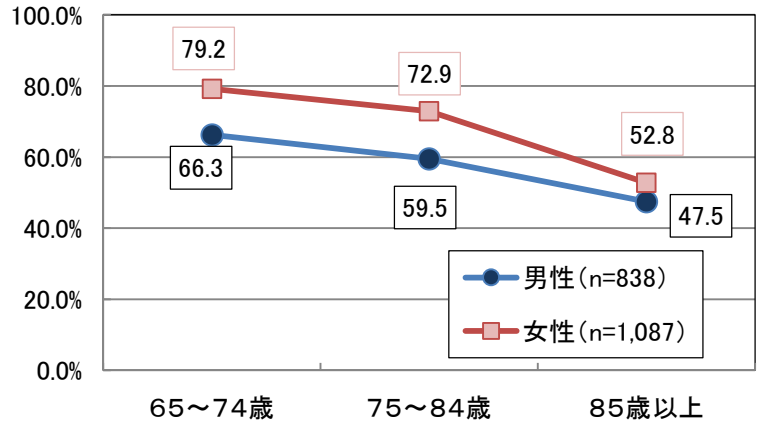
#### 〔家族や友人の相談にのっているか〕

■家族や友人の相談にのっているかについて、「はい（のっている）」の割合は、全体で68.8%となっている。

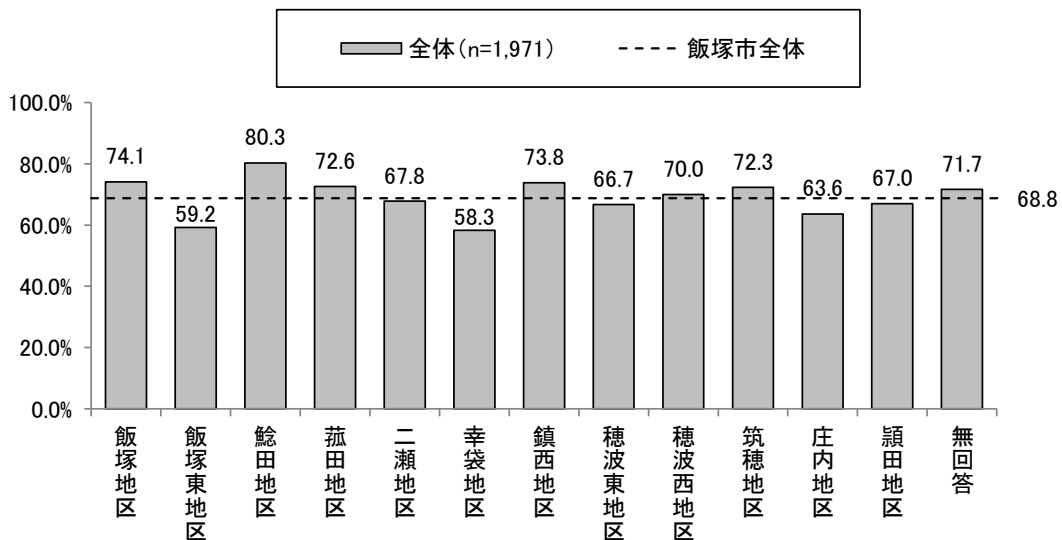


#### 〔性・年齢別 家族や友人の相談にのっているか（「はい（のっている）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（のっている）」の割合は、男女とも年齢とともに低くなっている。また、各年齢層とも男性に比べ女性の割合が高くなっている。



#### 〔居住地区別 家族や友人の相談にのっているか（「はい（のっている）」の割合）〕



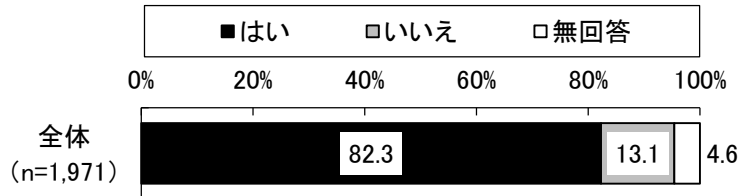
■居住地区別にみると、「家族や友人の相談にのっている」人の割合は、鯉田地区（80.3%）で最も高く、幸袋地区（58.3%）で最も低くなっている。

③ 病人を見舞うことができるか

問番号	内容	
問4	(15)	病人を見舞うことができますか

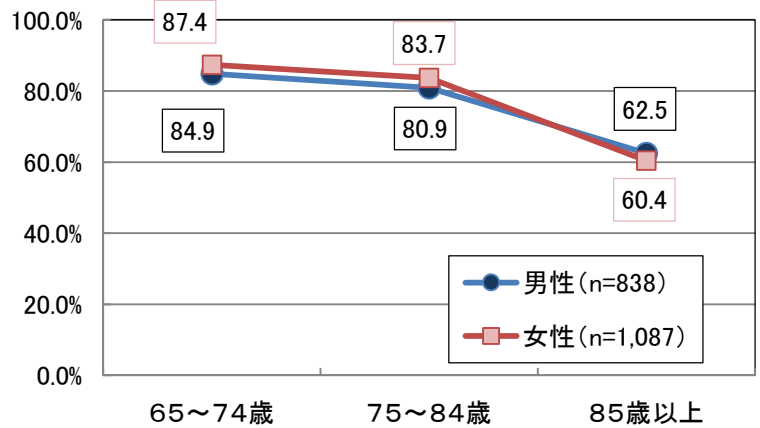
〔病人を見舞うことができるか〕

■病人を見舞うことができるかについて、「はい(できる)」の割合は、全体で82.3%と非常に高くなっている。

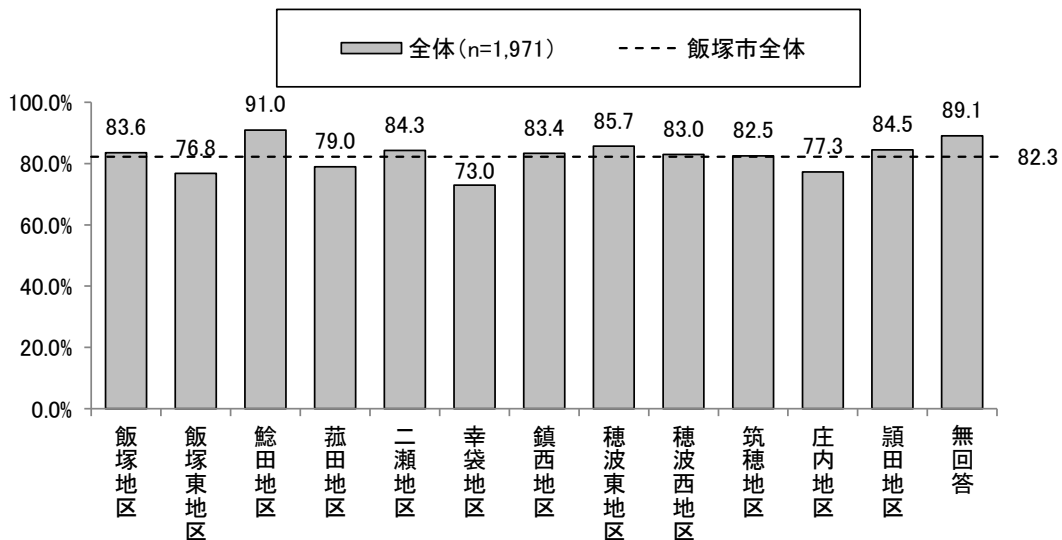


〔性・年齢別 病人を見舞うことができるか (「はい(できる)」の割合)〕

■性・年齢別にみると、「はい(できる)」の割合は、男女とも年齢とともに低くなっており、85歳以上の高齢者では約6割まで落ち込む。



〔居住地区別 病人を見舞うことができるか (「はい(できる)」の割合)〕



■居住地区別にみると、「病人を見舞うことができる」人の割合は、鯉田地区 (91.0%) で最も高く、幸袋地区 (73.0%) で最も低くなっている。

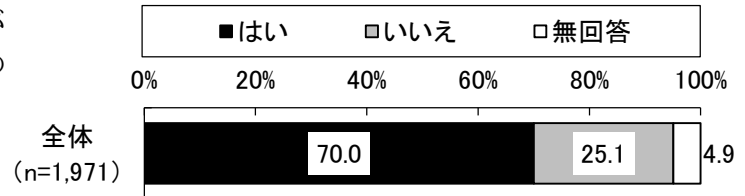
## 第2章 調査結果

### ④ 若い人に自分から話しかけることがあるか

問番号	内容	
問4	(16)	若い人に自分から話しかけることがありますか

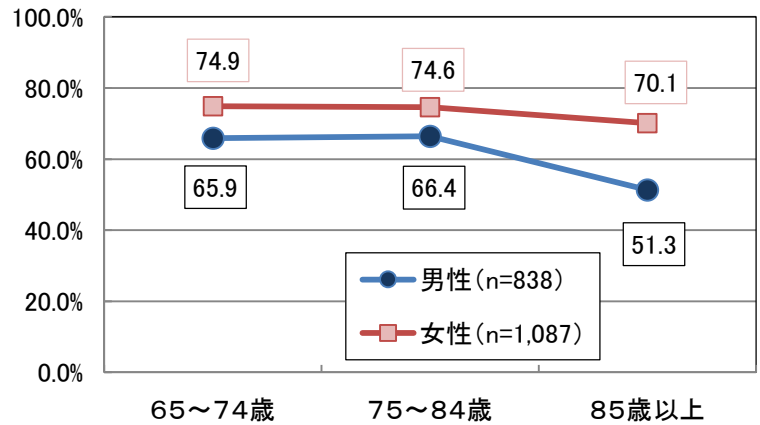
#### 〔若い人に自分から話しかけることがあるか〕

■若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい（ある）」の割合は、全体で70.0%となっている。

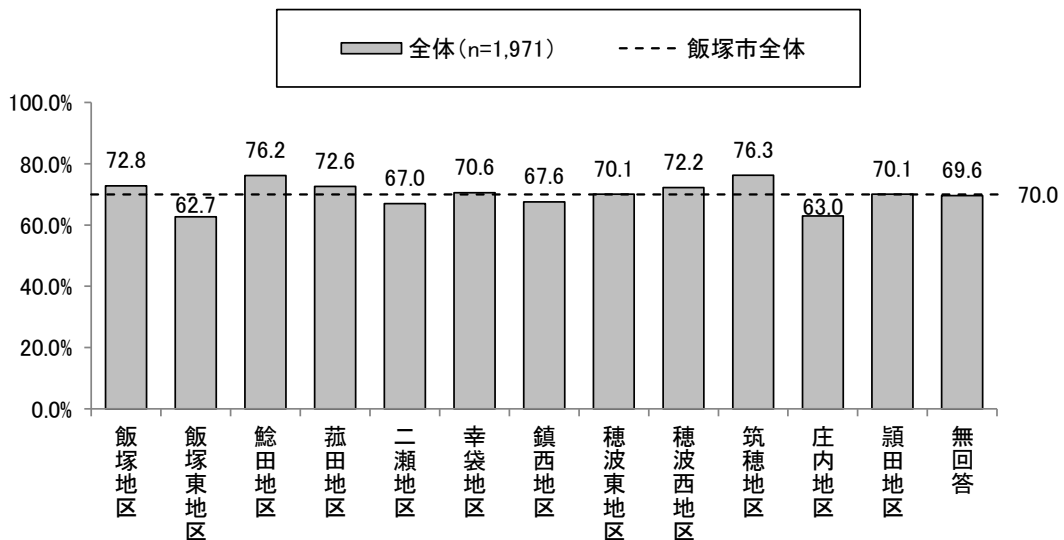


#### 〔性・年齢別 若い人に自分から話しかけることがあるか（「はい（ある）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（ある）」の割合は、75～84歳まで男女ともにほとんど変化がないが、85歳以上の男性では約5割まで落ち込む。



#### 〔居住地区別 若い人に自分から話しかけることがあるか（「はい（ある）」の割合）〕



■居住地区別にみると、「若い人に自分から話しかけることがある」人の割合は、筑穂地区（76.3%）で最も高く、飯塚東地区（62.7%）で最も低くなっている。



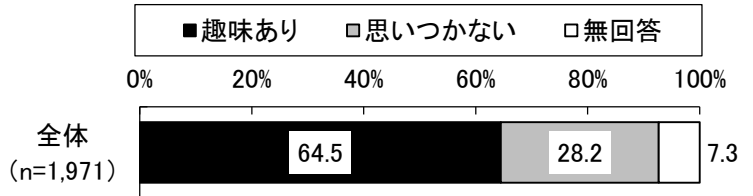
(5) 趣味・生きがい

① 趣味があるか

問番号	内容	
問4	(17)	趣味はありますか

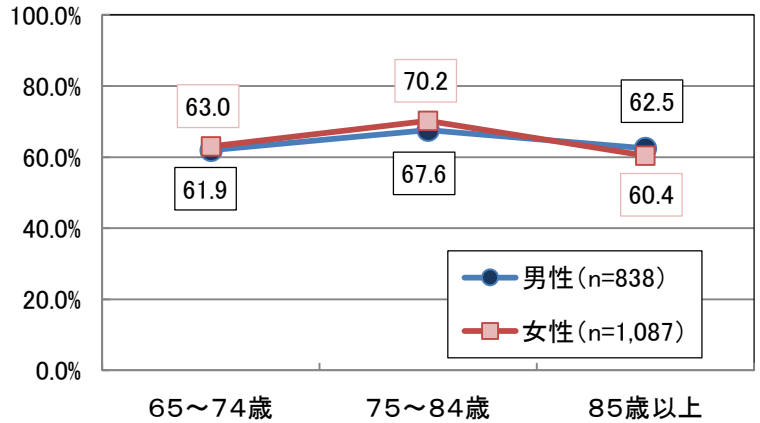
〔趣味があるか〕

■趣味があるかについて、「趣味あり」の割合は全体で64.5%となっている。

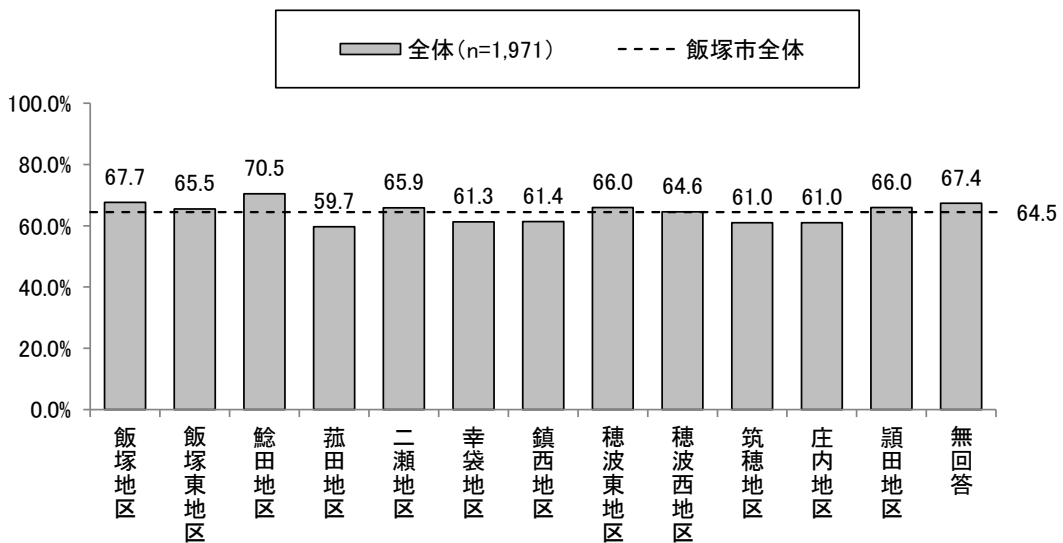


〔性・年齢別 趣味があるか (「趣味あり」の割合)〕

■性・年齢別にみると、「趣味あり」の割合に男女差はほとんどなく、いずれも6割以上を占める。



〔居住地区別 趣味があるか (「趣味あり」の割合)〕



■居住地区別にみると、「趣味あり」と回答した人の割合は、鯉田地区 (70.5%) で最も高く、菰田地区 (59.7%) で最も低くなっている。

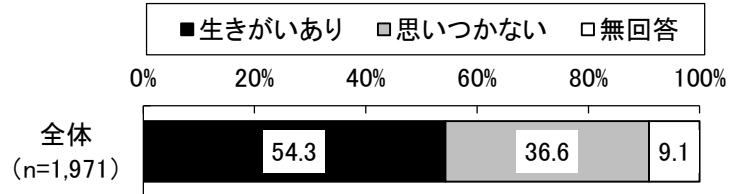
## 第2章 調査結果

### ② 生きがいはあるか

問番号	内容	
問4	(18)	生きがいがありますか

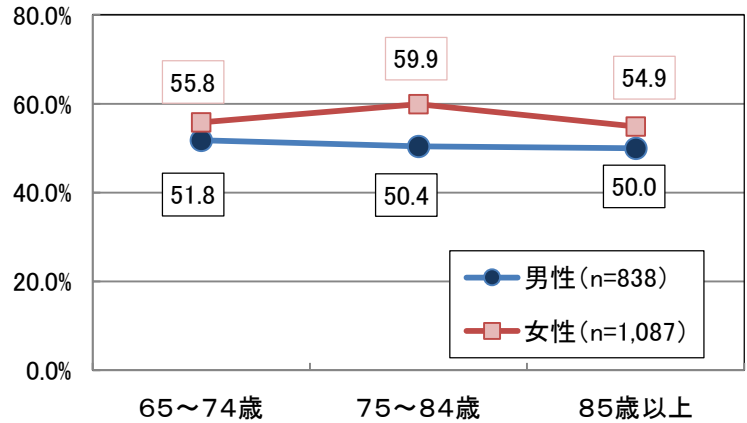
#### 〔生きがいはあるか〕

■生きがいがあるかについて、「生きがいあり」の割合は、全体で54.3%となっている。

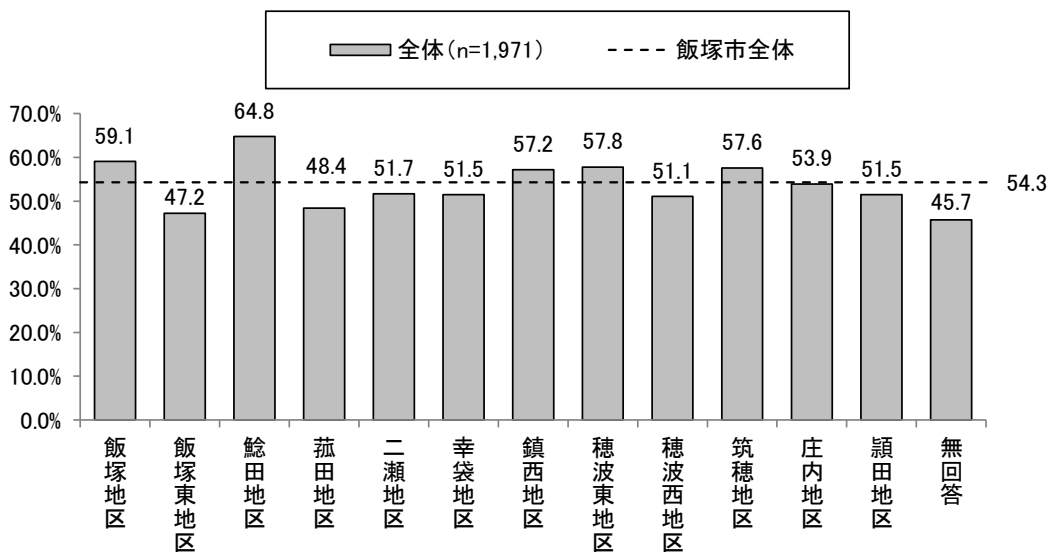


#### 〔性・年齢別 生きがいはあるか (「生きがいあり」の割合)〕

■性・年齢別にみると、「生きがいあり」の割合に男女差はほとんどなく、いずれも5割以上を占める。



#### 〔居住地区別 生きがいはあるか (「生きがいあり」の割合)〕

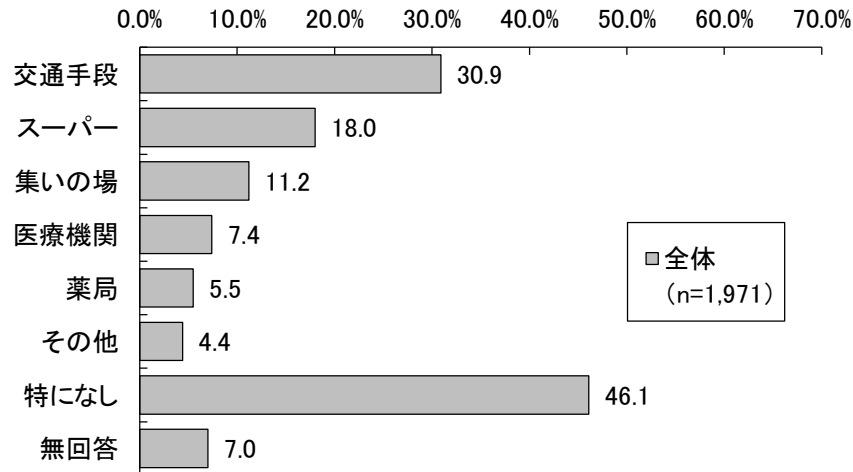


■居住地区別にみると、「生きがいあり」と回答した人の割合は、鯉田地区 (64.8%) で最も高く、飯塚東地区 (47.2%) で最も低くなっている。

(6) 現在暮らしている地域に足りないもの

問番号	内容
問4	(19) 現在暮らしている地域に、足りないと思うものはなんですか

〔現在暮らしている地域に足りないもの（複数回答）〕



■現在暮らしている地域に足りないものについては「特になし」(46.1%)の割合が最も高く、次いで「交通手段」(30.9%)、「スーパー」(18.0%)と続く。

〔居住地区別 現在暮らしている地域に足りないもの (%)〕

		調査数 「人」	特になし	交通手段	医療機関	薬局	スーパー	集いの場	その他	無回答
全体		1,971	46.1	30.9	7.4	5.5	18.0	11.2	4.4	7.0
居住地区	飯塚地区	232	61.6	15.9	3.9	2.6	12.9	11.6	6.0	5.6
	飯塚東地区	142	47.2	22.5	4.2	4.9	16.9	7.0	4.9	8.5
	鯉田地区	122	63.1	13.9	9.0	13.1	10.7	8.2	4.1	4.9
	菰田地区	62	59.7	16.1	6.5	1.6	11.3	9.7	6.5	4.8
	二瀬地区	261	46.4	31.8	6.9	2.7	21.5	10.0	3.4	5.0
	幸袋地区	163	40.5	38.0	7.4	9.2	17.2	10.4	4.9	9.8
	鎮西地区	145	45.5	38.6	7.6	6.2	13.8	11.0	5.5	6.2
	穂波東地区	147	45.6	33.3	6.1	3.4	18.4	11.6	2.7	6.1
	穂波西地区	223	57.0	25.1	4.0	2.2	9.9	9.0	3.6	8.5
	筑穂地区	177	26.6	58.8	16.9	7.3	16.4	14.1	5.1	5.6
	庄内地区	154	38.3	35.7	11.0	5.2	19.5	18.2	1.3	8.4
	穎田地区	97	16.5	36.1	5.2	12.4	58.8	12.4	3.1	9.3
	無回答	46	34.8	30.4	8.7	8.7	23.9	15.2	10.9	13.0

■居住地区別にみると、「交通手段」、「医療機関」は筑穂地区で最も高く、「薬局」は鯉田地区、「スーパー」は穎田地区、「集いの場」は庄内地区で、地域に足りないと思う人の割合が最も高い。

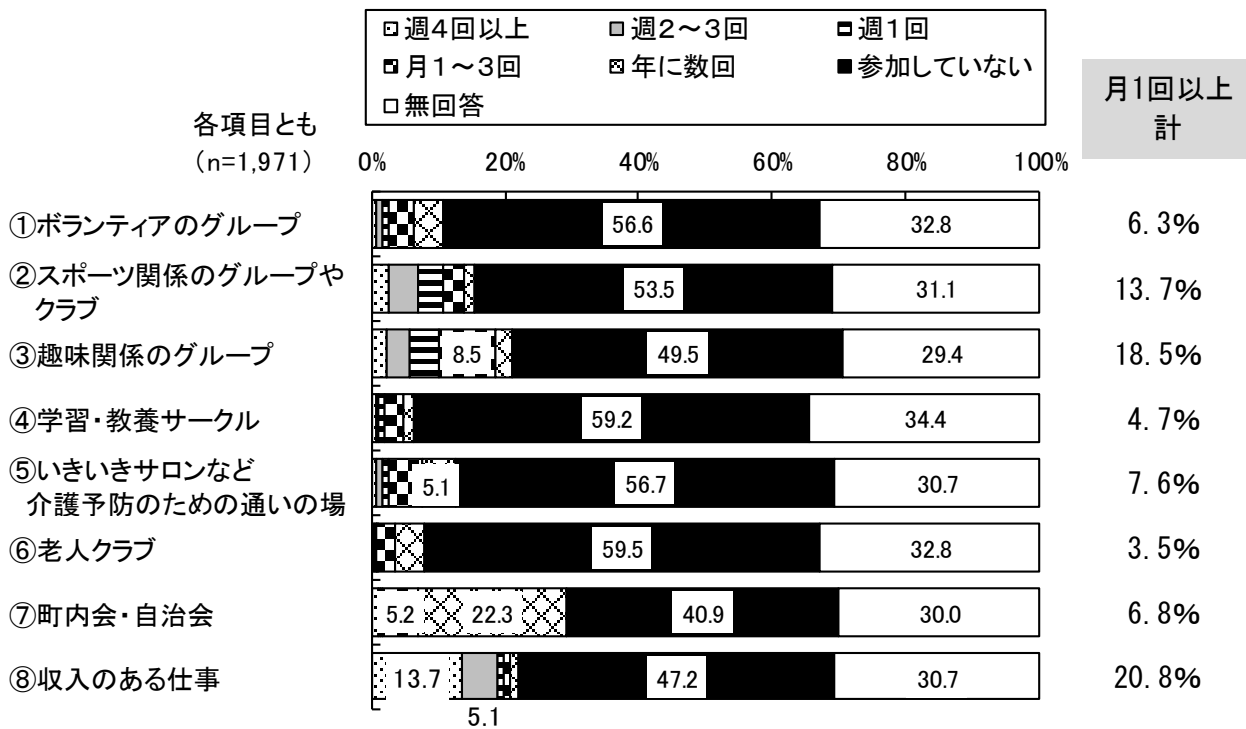
4 地域での活動について

ここでは、高齢者の地域活動や趣味活動の状況、地域づくりへの参加意向を把握する。

(1) 地域活動や趣味活動について

問番号	内容	
問5	(1)	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※①～⑧それぞれに回答してください

〔地域活動や趣味活動への参加状況〕



■ 8つの地域活動や趣味活動について参加頻度を質問した。

全活動とも「参加していない」の割合が最も高い。月1回以上参加している人の割合は、『⑧収入のある仕事』(20.8%)で最も高く、次いで『③趣味関係のグループ』(18.5%)、『②スポーツ関係のグループやクラブ』(13.7%)となっている。

## 〔性・年齢別、居住地区別、手段的自立度別 地域活動や趣味活動への参加状況（％）〕

## 「月1回以上参加」の割合

		調査数 「人」	① グループ ラン ティアの	② スポー ツ 関係の クラブの	③ 趣味 関係の グ ル ー プ	④ 学 習 ・ 教 養 サ ー ク ル	⑤ い き い き サ ロ ン な ど 介 護 予 防 の た め の 通 い の 場	⑥ 老 人 ク ラ ブ	⑦ 町 内 会 ・ 自 治 会	⑧ 収 入 の あ る 仕 事
全体		1,971	6.3	13.7	18.5	4.7	7.6	3.5	6.8	20.8
性・ 年 齢 別	【男性 計】	838	5.8	12.4	15.5	3.5	4.5	3.2	9.3	24.3
	65～74歳	496	4.6	13.5	14.1	2.4	1.6	2.0	10.3	34.5
	75～84歳	262	8.4	12.6	19.1	5.3	8.4	4.6	8.4	11.8
	85歳以上	80	5.0	5.0	12.5	3.8	10.0	6.3	6.3	2.5
	【女性 計】	1,087	6.6	14.7	21.1	5.8	10.0	3.7	5.0	17.8
	65～74歳	581	6.2	16.0	20.7	4.5	5.2	1.2	5.2	28.1
	75～84歳	362	8.6	16.6	25.4	8.8	13.0	6.1	4.7	7.2
	85歳以上	144	3.5	4.9	11.8	3.5	22.2	7.6	4.9	2.8
無回答	46	8.7	13.0	13.0	2.2	4.3	2.2	6.5	26.1	
全体		1,971	6.3	13.7	18.5	4.7	7.6	3.5	6.8	20.8
居 住 地 区	飯塚地区	232	8.2	17.7	21.1	5.6	7.8	1.7	3.9	19.8
	飯塚東地区	142	7.0	17.6	20.4	7.0	9.9	1.4	5.6	17.6
	鯉田地区	122	8.2	13.9	18.9	2.5	13.1	2.5	8.2	23.8
	菰田地区	62	3.2	17.7	25.8	4.8	11.3	3.2	9.7	16.1
	二瀬地区	261	5.7	11.1	18.8	3.8	5.4	0.8	5.0	21.8
	幸袋地区	163	6.1	12.3	17.2	3.7	6.7	1.8	11.0	15.3
	鎮西地区	145	4.1	11.0	15.9	6.9	5.5	1.4	5.5	23.4
	穂波東地区	147	4.1	12.9	12.9	1.4	6.1	6.1	4.1	19.0
	穂波西地区	223	4.0	13.9	19.3	7.2	8.1	5.8	8.1	24.7
	筑穂地区	177	8.5	12.4	18.1	6.2	11.9	8.5	8.5	20.9
	庄内地区	154	8.4	14.3	21.4	3.9	3.2	5.2	6.5	20.1
	穎田地区	97	6.2	11.3	15.5	2.1	6.2	4.1	11.3	20.6
	無回答	46	8.7	13.0	13.0	2.2	4.3	2.2	6.5	26.1
全体		1,971	6.3	13.7	18.5	4.7	7.6	3.5	6.8	20.8
手 段 的 自 立 度	高い	1,540	7.0	15.5	21.2	5.3	7.3	3.6	7.5	22.5
	やや低い	193	4.1	10.4	11.9	3.1	9.3	4.1	6.2	16.1
	低い	163	1.8	1.8	3.7	-	7.4	1.8	1.2	4.3
	無回答	75	8.0	10.7	12.0	6.7	8.0	1.3	8.0	33.3

■性・年齢別に月1回以上参加している人の割合をみると、『⑦町内会・自治会』や『⑧収入のある仕事』の割合は女性より男性で高く、『②スポーツ関係のグループやクラブ』、『③趣味関係のグループ』、『④学習・教養サークル』、『⑤いきいきサロンなど介護予防のための通いの場』の割合は男性より女性の割合が高い。

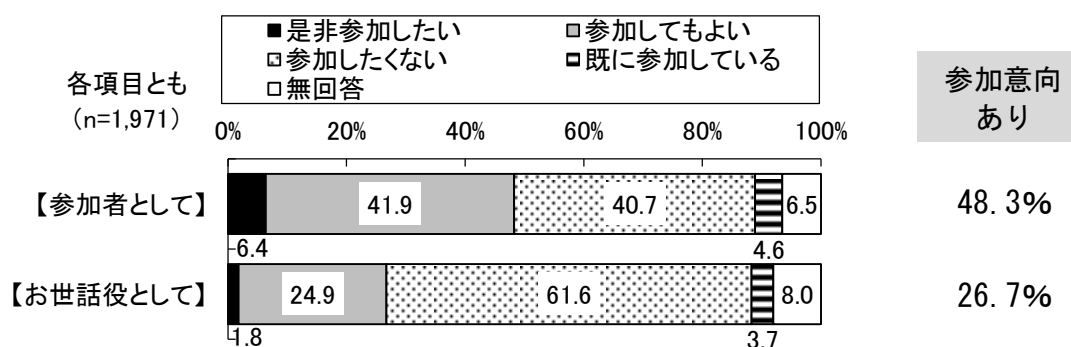
■居住地区別にみると、『③趣味関係のグループ』は菰田地区、『⑤いきいきサロンなど介護予防のための通いの場』は鯉田地区、『⑥老人クラブ』は筑穂地区、『⑧収入のある仕事』は穂波西地区の割合が、最も高くなっている。また『⑦町内会・自治会』の割合は穎田地区、幸袋地区で高くなっており、1割を超えている。

■手段的自立度（IADL）別にみると、『⑤いきいきサロンなど介護予防のための通いの場』、『⑥老人クラブ』を除くいずれの活動も自立度が高い人ほど参加の割合が高く、なかでも『③趣味関係のグループ』、『⑦収入のある仕事』で顕著である。

(2) 地域づくりについて

問番号	内容
問5 (2)	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか
問5 (3)	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営(お世話役)として</u> 参加してみたいと思いますか

〔地域づくりへの参加意向〕



■地域づくりを進めるためのグループ活動について、【参加者として】の参加意向は「参加してもよい」(41.9%)が約4割を占め、「是非参加したい」をあわせると5割弱と参加者としては比較的前向きな様子が見えてくる。

■一方、『お世話役として』の参加意向は「参加したくない」(61.6%)の割合が6割以上を占め、「参加してもよい」(24.9%)や「是非参加したい」(1.8%)を上回る。

## 〔性・年齢別、居住地区別、手段的自立度別 地域づくりへの参加意向（％）〕

	調査数「人」	参加者として					お世話役として					
		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答	
全体	1,971	6.4	41.9	40.7	4.6	6.5	1.8	24.9	61.6	3.7	8.0	
性・年齢別	【男性計】	838	5.1	40.9	43.6	4.2	6.2	1.8	26.7	60.1	3.9	7.4
	65～74歳	496	5.2	41.3	46.8	2.6	4.0	1.6	26.4	63.9	3.2	4.8
	75～84歳	262	4.6	42.0	38.9	6.1	8.4	2.3	26.3	55.3	5.3	10.7
	85歳以上	80	6.3	35.0	38.8	7.5	12.5	1.3	30.0	52.5	3.8	12.5
	【女性計】	1,087	7.4	42.4	38.6	4.9	6.7	1.7	23.6	62.6	3.5	8.6
	65～74歳	581	6.0	45.1	40.3	3.3	5.3	1.4	25.3	64.2	3.1	6.0
	75～84歳	362	9.4	43.4	34.3	6.1	6.9	2.8	25.7	59.4	4.4	7.7
	85歳以上	144	7.6	29.2	43.1	8.3	11.8	0.7	11.1	64.6	2.8	20.8
	無回答	46	6.5	45.7	37.0	4.3	6.5	4.3	23.9	63.0	2.2	6.5
全体	1,971	6.4	41.9	40.7	4.6	6.5	1.8	24.9	61.6	3.7	8.0	
居住地区	飯塚地区	232	5.2	38.4	42.7	6.0	7.8	1.3	22.0	61.2	4.7	10.8
	飯塚東地区	142	5.6	36.6	42.3	4.9	10.6	2.1	21.1	62.7	2.8	11.3
	鯉田地区	122	5.7	45.9	41.8	3.3	3.3	0.8	30.3	59.8	2.5	6.6
	菰田地区	62	1.6	46.8	48.4	1.6	1.6	-	21.0	74.2	3.2	1.6
	二瀬地区	261	5.7	39.5	43.3	4.6	6.9	1.5	22.6	64.8	3.1	8.0
	幸袋地区	163	4.3	41.7	41.7	3.7	8.6	2.5	25.2	58.9	4.3	9.2
	鎮西地区	145	4.8	45.5	37.9	4.1	7.6	2.8	25.5	59.3	3.4	9.0
	穂波東地区	147	8.2	38.8	44.2	2.7	6.1	2.7	17.0	69.4	2.7	8.2
	穂波西地区	223	8.1	43.0	38.1	4.5	6.3	0.9	30.0	59.6	2.7	6.7
	筑穂地区	177	9.6	41.8	35.6	7.3	5.6	2.8	27.7	55.4	6.2	7.9
	庄内地区	154	7.8	45.5	40.3	3.2	3.2	1.3	29.9	61.0	2.6	5.2
	穎田地区	97	7.2	45.4	35.1	6.2	6.2	2.1	25.8	58.8	6.2	7.2
	無回答	46	6.5	45.7	37.0	4.3	6.5	4.3	23.9	63.0	2.2	6.5
	全体	1,971	6.4	41.9	40.7	4.6	6.5	1.8	24.9	61.6	3.7	8.0
手段的自立度	高い	1,540	6.9	45.4	37.7	4.7	5.4	2.0	26.9	60.1	4.0	7.1
	やや低い	193	5.7	36.3	45.6	5.7	6.7	2.1	18.7	67.4	3.6	8.3
	低い	163	2.5	14.7	63.2	3.7	16.0	-	9.8	73.0	0.6	16.6
	無回答	75	6.7	42.7	41.3	1.3	8.0	1.3	33.3	53.3	4.0	8.0

■性・年齢別にみると、【参加者として】の参加意向は、「是非参加したい」とする人は女性（7.4％）で高く、「参加したくない」とする人は男性（43.6％）で高くなっている。  
【お世話役として】の参加意向は、性別による大きな差はみられない。

■手段的自立度（IADL）別にみると、【参加者として】【お世話役として】のいずれも自立度が高い人ほど地域づくりへの参加意向が高く、自立度が低い人ほど「参加したくない」の割合が高くなっている。

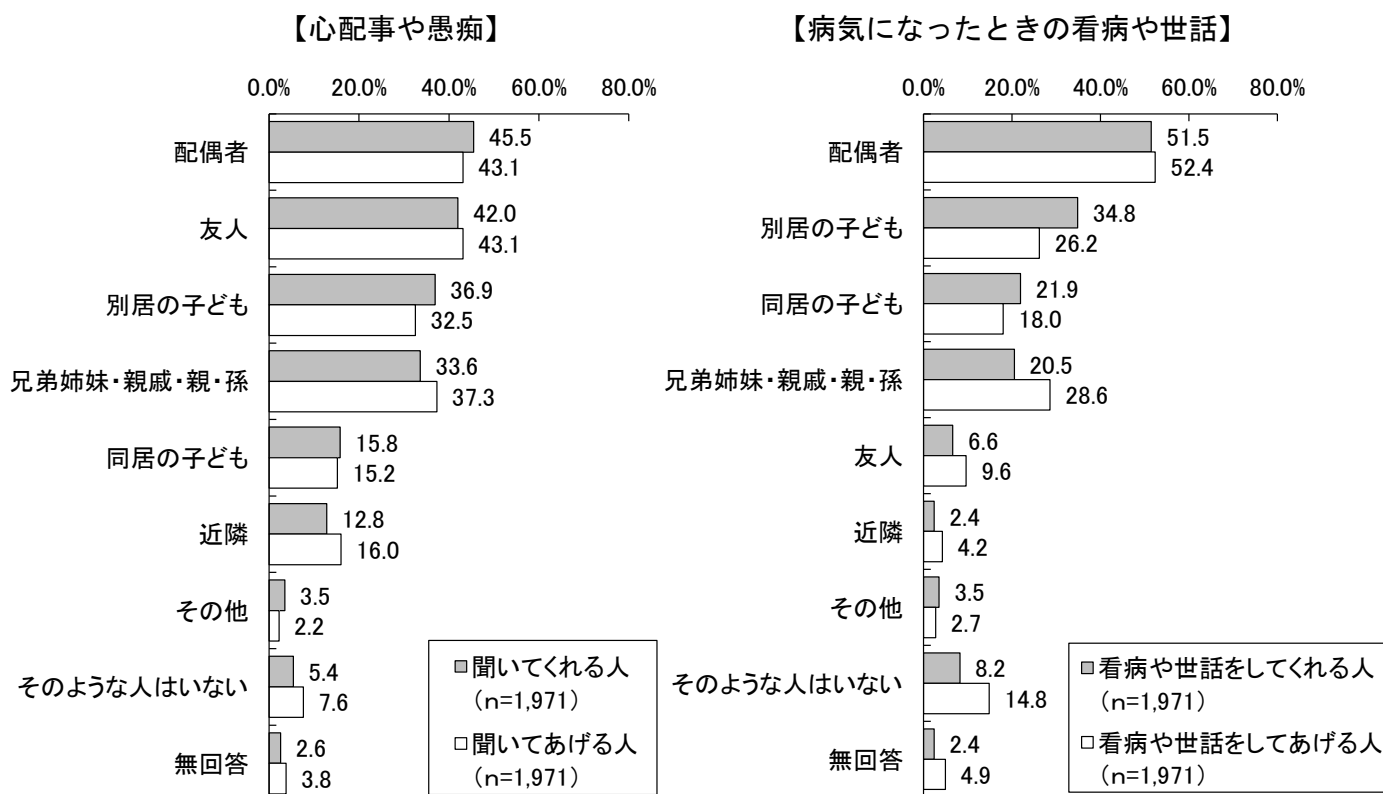
5 たすけあいについて

ここでは、高齢者のたすけあいの状況を把握する。

(1) たすけあいの状況

問番号	内容
問6 (1)	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人
問6 (2)	反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人
問6 (3)	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
問6 (4)	反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人

〔たすけあいの状況（複数回答）〕



■心配事や愚痴については、『聞いてくれる人』『聞いてあげる人』ともに「配偶者」の割合が4割を超えており、これに「友人」や「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が約3割～4割で続いている。

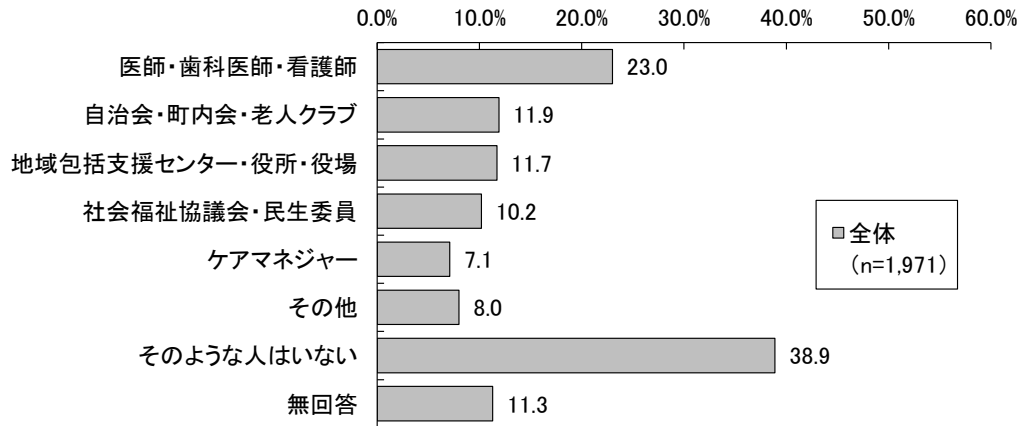
■病気で数日間寝込んだときの看病や世話についても、『看病・世話をしてくれる人』『看病・世話をしてあげる人』ともに「配偶者」の割合が5割を超えて最も高く、これに「別居の子ども」「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が約2割～3割台で続いている。



(2) 相談経路

問番号	内容
問6	(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください

〔相談経路（複数回答）〕



■ 家族や友人・知人以外の相談経路は、「そのような人はいない」(38.9%)が最も高く、次いで、「医師・歯科医師・看護師」(23.0%)、『自治会・町内会・老人クラブ』(11.9%)と続く。

〔居住地区別 相談経路 (%)〕

	調査数 〔人〕	老人	社会	ケア	医	地	そ	な	そ	無
		人	会	ア	師	域	他	い	の	
全体	1,971	11.9	10.2	7.1	23.0	11.7	8.0	38.9	11.3	
居住地区	飯塚地区	232	12.1	9.9	9.1	30.6	14.2	7.8	35.8	8.6
	飯塚東地区	142	12.0	12.0	7.0	21.8	11.3	7.7	40.8	8.5
	鯉田地区	122	9.0	12.3	6.6	26.2	9.8	8.2	37.7	13.9
	菰田地区	62	4.8	8.1	4.8	12.9	14.5	11.3	53.2	6.5
	二瀬地区	261	11.1	10.3	5.4	25.7	9.2	7.7	39.1	13.0
	幸袋地区	163	11.7	8.6	9.2	19.6	7.4	6.1	42.3	12.3
	鎮西地区	145	10.3	4.8	6.9	18.6	17.9	7.6	41.4	10.3
	穂波東地区	147	10.2	7.5	4.8	18.4	12.2	6.8	41.5	12.9
	穂波西地区	223	12.1	10.3	10.3	25.6	11.2	5.4	38.1	9.4
	筑穂地区	177	14.1	17.5	6.2	18.6	11.3	10.7	36.7	13.0
	庄内地区	154	10.4	8.4	5.2	24.7	11.0	8.4	37.7	10.4
	穎田地区	97	28.9	15.5	7.2	24.7	13.4	12.4	24.7	14.4
	無回答	46	4.3	2.2	4.3	15.2	13.0	8.7	47.8	17.4

■ 居住地区別にみると、「そのような人はいない」の割合は、菰田地区(53.2%)で最も高く、次いで幸袋地区(42.3%)、穂波東地区(41.5%)となっている。

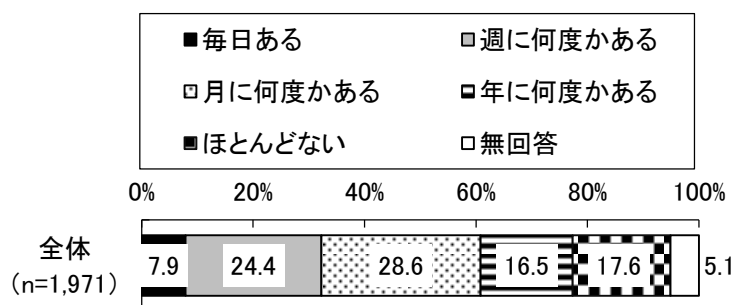
(3) 友人関係

① 友人・知人と会う頻度

問番号	内容	
問6	(6)	友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

〔友人・知人と会う頻度〕

■友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」(28.6%)で最も高く、一方で「ほとんどない」(17.6%)は2割弱を占める。



〔性・年齢別、居住地区別 友人・知人と会う頻度 (%)〕

	調査数 「人」	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	
全体	1,971	7.9	24.4	28.6	16.5	17.6	5.1	
性・年齢別	【男性計】	838	7.8	21.6	26.5	16.9	22.4	4.8
	65～74歳	496	9.3	19.4	26.4	19.4	21.0	4.6
	75～84歳	262	6.1	27.9	29.0	14.1	19.1	3.8
	85歳以上	80	3.8	15.0	18.8	11.3	42.5	8.8
	【女性計】	1,087	7.9	26.8	30.2	15.9	14.2	5.1
	65～74歳	581	7.7	26.0	30.3	18.9	13.4	3.6
	75～84歳	362	6.9	28.7	31.8	12.7	12.4	7.5
	85歳以上	144	11.1	25.0	25.7	11.8	21.5	4.9
無回答	46	8.7	19.6	28.3	21.7	10.9	10.9	
居住地区別	全体	1,971	7.9	24.4	28.6	16.5	17.6	5.1
	飯塚地区	232	8.6	22.0	31.0	15.5	19.4	3.4
	飯塚東地区	142	8.5	18.3	26.1	22.5	21.8	2.8
	鯉田地区	122	5.7	23.0	30.3	20.5	11.5	9.0
	菰田地区	62	4.8	17.7	33.9	17.7	24.2	1.6
	二瀬地区	261	8.0	21.1	29.5	17.2	17.2	6.9
	幸袋地区	163	6.1	27.6	28.2	10.4	23.9	3.7
	鎮西地区	145	9.0	24.8	29.0	13.1	20.7	3.4
	穂波東地区	147	4.8	26.5	26.5	21.1	15.0	6.1
	穂波西地区	223	5.4	31.4	30.9	16.6	13.0	2.7
	筑穂地区	177	10.2	27.7	25.4	14.1	16.4	6.2
	庄内地区	154	11.7	26.0	27.9	13.0	18.2	3.2
	額田地区	97	10.3	22.7	22.7	17.5	15.5	11.3
	無回答	46	8.7	19.6	28.3	21.7	10.9	10.9

■性・年齢別にみると、「ほとんどない」の割合は男女ともに85歳以上で最も高い。

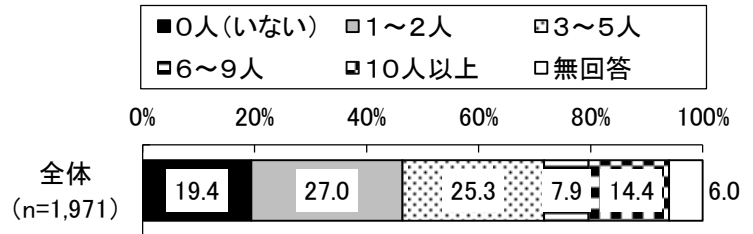
■居住地区別にみると、「ほとんどない」の割合は菰田地区で最も高い。

② この1か月間、何人の友人・知人と会ったか

問番号	内容
問6	(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか 同じ人には何度会っても1人と数えることとします

〔この1か月間、何人の友人・知人と会ったか〕

■この1か月間、何人の友人・知人と会ったかについては、「1～2人」(27.0%)が最も高く、一方で「0人(いない)」(19.4%)は約2割を占める。



〔性・年齢別、居住地区別 この1か月間、何人の友人・知人と会ったか (%)〕

	調査数「人」	この1か月間、何人の友人・知人と会ったか (%)					無回答	
		0人(いない)	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上		
全体	1,971	19.4	27.0	25.3	7.9	14.4	6.0	
性・年齢別	【男性計】	838	22.3	24.3	23.5	8.0	16.2	5.6
	65～74歳	496	23.6	25.0	21.0	8.3	17.5	4.6
	75～84歳	262	17.9	22.1	29.4	8.4	16.0	6.1
	85歳以上	80	28.8	27.5	20.0	5.0	8.8	10.0
	【女性計】	1,087	17.4	29.3	26.6	7.5	13.1	6.1
	65～74歳	581	17.9	29.3	25.3	7.4	15.8	4.3
	75～84歳	362	15.7	29.3	28.5	8.6	8.8	9.1
	85歳以上	144	19.4	29.9	27.1	5.6	12.5	5.6
無回答	46	15.2	21.7	26.1	13.0	10.9	13.0	
全体	1,971	19.4	27.0	25.3	7.9	14.4	6.0	
居住地区	飯塚地区	232	20.7	25.4	22.4	8.2	17.2	6.0
	飯塚東地区	142	16.9	37.3	23.9	7.7	11.3	2.8
	鯉田地区	122	19.7	18.0	33.6	8.2	13.1	7.4
	菰田地区	62	22.6	32.3	27.4	3.2	9.7	4.8
	二瀬地区	261	21.8	30.7	21.1	6.5	12.6	7.3
	幸袋地区	163	23.3	31.3	17.8	9.8	12.9	4.9
	鎮西地区	145	20.0	28.3	27.6	4.8	14.5	4.8
	穂波東地区	147	23.8	19.7	29.9	6.8	10.9	8.8
	穂波西地区	223	15.7	26.9	26.5	8.5	17.9	4.5
	筑穂地区	177	13.0	23.7	29.4	9.0	17.5	7.3
	庄内地区	154	22.1	23.4	27.9	7.8	15.6	3.2
	穎田地区	97	15.5	30.9	20.6	10.3	14.4	8.2
	無回答	46	15.2	21.7	26.1	13.0	10.9	13.0

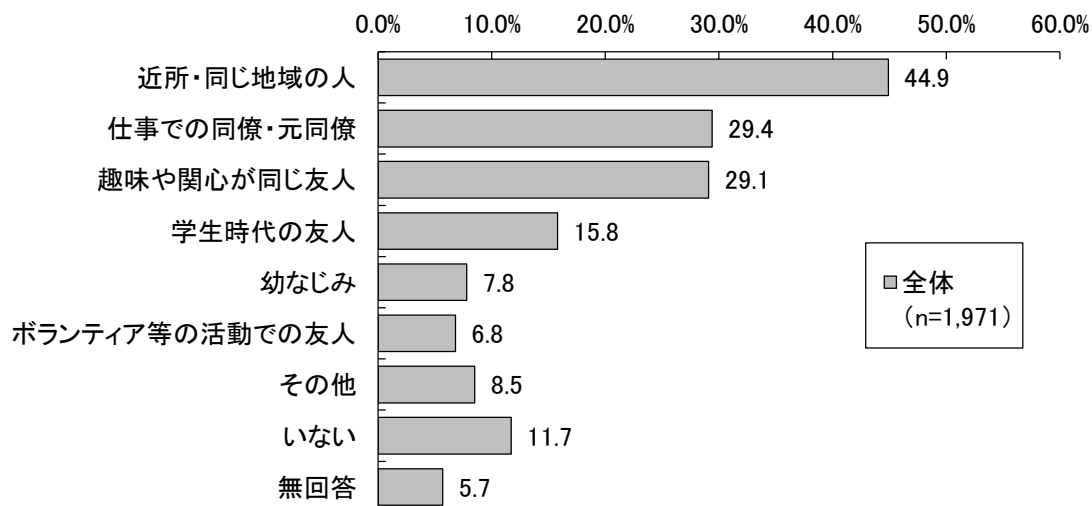
■性・年齢別にみると、「0人(いない)」の割合は、女性よりも男性で高く、特に85歳以上男性(28.8%)で高い。

■居住地区別にみると、「0人(いない)」の割合は穂波東地区(23.8%)で最も高い。

③ よく会う友人・知人はどんな関係の人か

問番号	内容	
問6	(8)	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか

〔よく会う友人・知人はどんな関係の人か（複数回答）〕



■よく会う友人・知人はどんな関係の人かについては、「近所・同じ地域の人」(44.9%)が最も高く、次いで「仕事での同僚・元同僚」(29.4%)、「趣味や関心が同じ友人」(29.1%)と続く。

## 〔性・年齢別、居住地区別 よく会う友人・知人はどんな関係の人が (%)〕

		調査数 「人」	近所・同じ地域の 人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元 同僚	趣味や関心が同じ 友人	ボランティア等 の友人	その他	いない	無回答
全体		1,971	44.9	7.8	15.8	29.4	29.1	6.8	8.5	11.7	5.7
性・年齢別	【男性計】	838	37.1	7.4	14.7	29.8	28.3	5.8	7.3	15.5	5.4
	65～74歳	496	32.7	9.1	17.3	36.3	28.4	5.2	6.7	16.3	4.2
	75～84歳	262	44.3	5.7	13.4	24.8	30.5	7.6	7.6	10.7	5.7
	85歳以上	80	41.3	2.5	2.5	6.3	20.0	3.8	10.0	26.3	11.3
	【女性計】	1,087	51.1	8.0	16.3	28.4	29.9	7.6	9.6	8.8	5.9
	65～74歳	581	45.3	8.4	19.4	39.1	30.3	7.6	11.4	7.9	4.3
	75～84歳	362	56.1	8.0	15.5	18.0	32.9	7.7	5.8	9.7	8.3
	85歳以上	144	61.8	6.3	5.6	11.8	20.8	7.6	11.8	10.4	6.3
無回答	46	39.1	8.7	23.9	45.7	23.9	4.3	6.5	8.7	8.7	
全体		1,971	44.9	7.8	15.8	29.4	29.1	6.8	8.5	11.7	5.7
居住地区	飯塚地区	232	41.4	9.1	19.0	29.7	34.5	12.1	9.1	10.8	4.3
	飯塚東地区	142	43.7	6.3	19.0	26.1	30.3	7.7	12.0	12.0	2.8
	鯉田地区	122	39.3	4.9	18.9	33.6	28.7	9.0	7.4	7.4	8.2
	菰田地区	62	38.7	8.1	14.5	21.0	33.9	1.6	8.1	14.5	3.2
	二瀬地区	261	40.2	7.3	19.5	33.0	25.3	5.0	8.0	12.3	7.3
	幸袋地区	163	42.3	7.4	11.7	23.9	27.6	4.9	9.8	19.0	5.5
	鎮西地区	145	40.0	11.0	15.9	38.6	31.0	4.1	5.5	14.5	4.8
	穂波東地区	147	44.9	11.6	12.9	18.4	25.2	4.8	10.2	8.8	8.2
	穂波西地区	223	47.5	6.7	16.1	30.5	33.2	5.8	9.9	8.5	3.6
	筑穂地区	177	63.3	7.3	10.2	27.7	24.3	7.9	7.9	9.6	6.8
	庄内地区	154	43.5	5.2	10.4	30.5	31.2	8.4	7.1	14.3	5.2
	穎田地区	97	54.6	8.2	15.5	27.8	25.8	7.2	6.2	11.3	8.2
	無回答	46	39.1	8.7	23.9	45.7	23.9	4.3	6.5	8.7	8.7

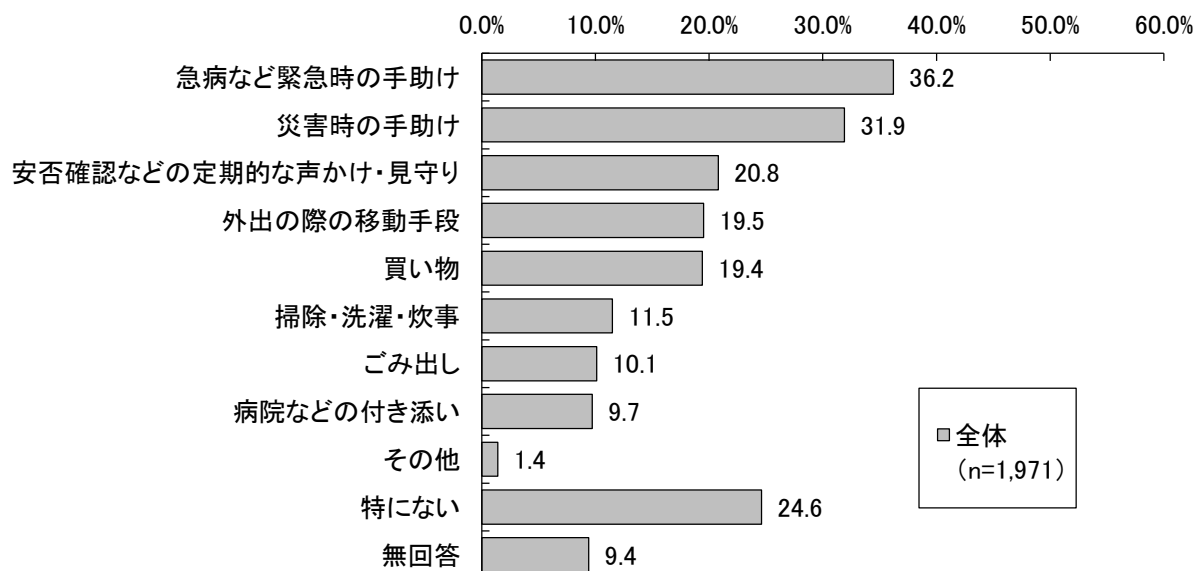
- 性・年齢別にみると、「近所・同じ地域の人」は男性よりも女性の割合が高く、女性は年齢とともに割合が高くなり、85歳以上では6割を超えている。
- 居住地区別にみると、「近所・同じ地域の人」の割合は筑穂地区（63.3%）で最も高い。

(4) 地域で支援してほしいこと・できること

① 地域の人に支援してほしいこと

問番号	内容
問6	(9) あなたのご家族が日常生活上支援が必要になったとき、地域の人にどのような支援をしてほしいと思いますか

〔地域の人に支援してほしいこと（複数回答）〕



■ 家族が日常生活上支援が必要になったとき、地域の人に支援をしてほしいことは、「急病など緊急時の手助け」(36.2%)が最も高く、次いで「災害時の手助け」(31.9%)と続く。

〔居住地区別 地域の人に支援してほしいこと (%)〕

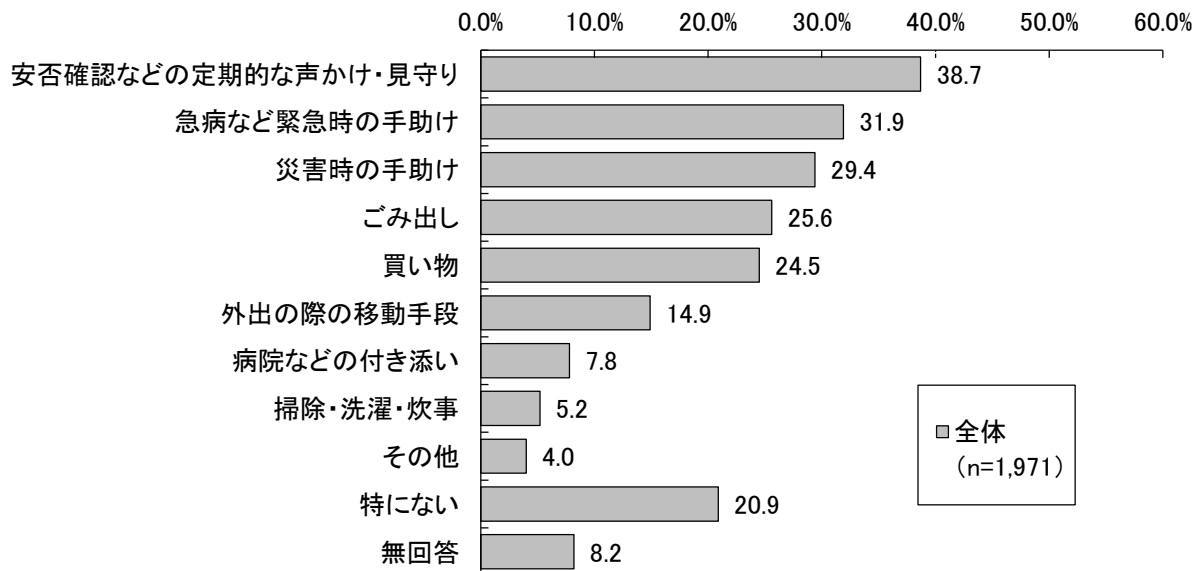
調査数 〔人〕	外出の際の移動手段	買い物	ごみ出し	掃除・選択・炊事	急病などの緊急時の手助け	病院などの付き添い	定期的な声かけ等の見守り	災害時の手助け	その他	特にない	無回答	
全体	1,971	19.5	19.4	10.1	11.5	36.2	9.7	20.8	31.9	1.4	24.6	9.4
飯塚地区	232	20.7	22.0	12.1	13.4	38.4	12.5	19.4	37.1	1.3	27.6	5.2
飯塚東地区	142	16.9	14.1	13.4	12.0	35.9	12.0	19.7	33.1	1.4	21.8	7.0
鯉田地区	122	13.9	14.8	7.4	3.3	32.8	9.8	13.1	27.9	4.1	29.5	13.9
菰田地区	62	25.8	22.6	17.7	8.1	43.5	9.7	25.8	38.7	1.6	24.2	6.5
二瀬地区	261	18.4	21.8	11.1	16.1	38.3	8.8	25.3	29.1	1.1	23.0	8.8
幸袋地区	163	18.4	17.8	7.4	9.2	36.2	7.4	14.7	32.5	-	25.8	11.7
鎮西地区	145	12.4	12.4	4.1	8.3	31.7	6.9	23.4	33.8	1.4	29.0	6.9
穂波東地区	147	17.7	19.0	8.2	11.6	36.1	12.9	21.8	32.7	0.7	20.4	15.6
穂波西地区	223	18.4	19.3	10.3	12.1	35.0	9.9	21.1	32.3	1.3	22.9	9.9
筑穂地区	177	28.8	22.0	10.2	13.0	35.0	9.6	25.4	31.1	1.1	23.2	9.6
庄内地区	154	21.4	21.4	9.7	11.0	39.0	11.0	20.1	29.9	1.9	25.3	6.5
穎田地区	97	24.7	28.9	13.4	12.4	36.1	6.2	18.6	24.7	2.1	21.6	11.3
無回答	46	19.6	10.9	8.7	10.9	28.3	4.3	15.2	30.4	2.2	28.3	15.2

■ 居住地区別にみると、「急病などの緊急時の手助け」(43.5%)、「災害時の手助け」(38.7%)は菰田地区で最も高く、「外出の際の移動手段」は筑穂地区(28.8%)で最も高い。

② 地域の人に支援できること

問番号	内容
問6 (10)	となり近所に、高齢や病気・障がい等で困っている家庭があった場合、あなたはどのような支援ができると思いますか

〔地域の人に支援できること（複数回答）〕



■となり近所に、高齢や病気・障害等で困っている家庭があった場合、支援できることは「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」(38.7%)が最も高く、次いで「急病などの緊急時の手助け」(31.9%)、「災害時の手助け」(29.4%)と続く。

〔居住地区別 地域の人に支援できること (%)〕

居住地区	調査数「人」	段外出の際の移動手段	買い物	ごみ出し	掃除・選択・炊事	急病などの緊急時の手助け	病院などの付き添い	定期的な声かけ等の見守り	安否確認等の定期的な声かけ等の見守り	災害時の手助け	その他	特にない	無回答
全体	1,971	14.9	24.5	25.6	5.2	31.9	7.8	38.7	29.4	4.0	20.9	8.2	
飯塚地区	232	15.1	25.0	29.7	5.2	31.9	9.1	41.8	33.6	4.7	20.7	5.6	
飯塚東地区	142	12.0	21.8	21.1	3.5	29.6	7.0	38.7	26.8	2.8	21.1	5.6	
鯉田地区	122	15.6	25.4	18.9	5.7	36.9	10.7	42.6	26.2	3.3	17.2	14.8	
菰田地区	62	14.5	22.6	25.8	4.8	24.2	4.8	43.5	16.1	4.8	24.2	3.2	
二瀬地区	261	12.6	26.8	29.1	3.4	30.7	6.9	39.1	28.7	3.8	20.3	8.8	
幸袋地区	163	11.7	22.7	26.4	3.7	32.5	7.4	31.3	29.4	4.9	23.3	5.5	
鎮西地区	145	13.8	23.4	26.2	5.5	38.6	9.0	40.7	41.4	3.4	23.4	4.1	
穂波東地区	147	8.8	21.8	22.4	4.1	25.9	4.8	34.0	25.2	3.4	19.7	12.9	
穂波西地区	223	15.7	26.0	26.0	7.2	31.4	7.6	41.7	28.3	3.1	21.1	7.2	
筑穂地区	177	20.9	24.9	23.2	7.3	33.3	7.9	41.2	28.2	5.6	18.6	11.3	
庄内地区	154	18.8	25.3	22.1	2.6	31.2	7.1	34.4	31.2	2.6	22.7	7.8	
穎田地区	97	16.5	23.7	34.0	8.2	30.9	10.3	32.0	28.9	3.1	19.6	9.3	
無回答	46	26.1	23.9	21.7	10.9	39.1	10.9	41.3	26.1	8.7	19.6	13.0	

■居住地区別にみると、「安否確認と定期的な声かけ・見守り」は菰田地区(43.5%)で最も高く、「急病などの緊急時の手助け」(38.6%)、「災害時の手助け」(41.4%)は鎮西地区で最も高い。

6 健康について

ここでは、主観的健康感や幸福感をはじめ、うつ傾向や喫煙の習慣、疾病の状況等、高齢者の心身の健康状況を把握する。

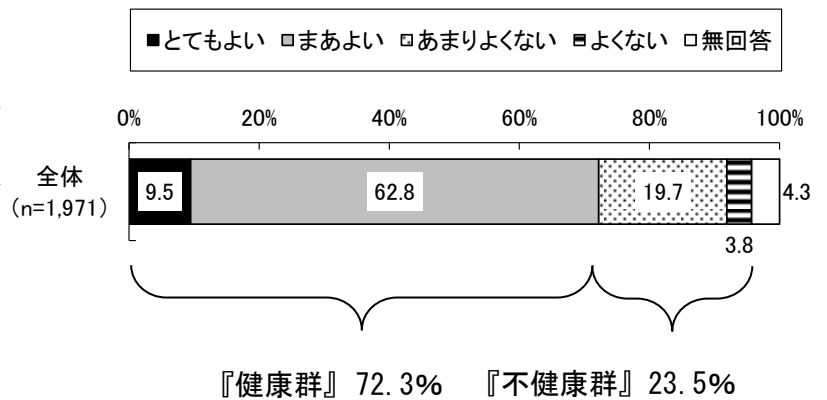
(1) 健康について

① 主観的健康感

問番号	内容	
問7	(1)	現在のあなたの健康状態はいかがですか

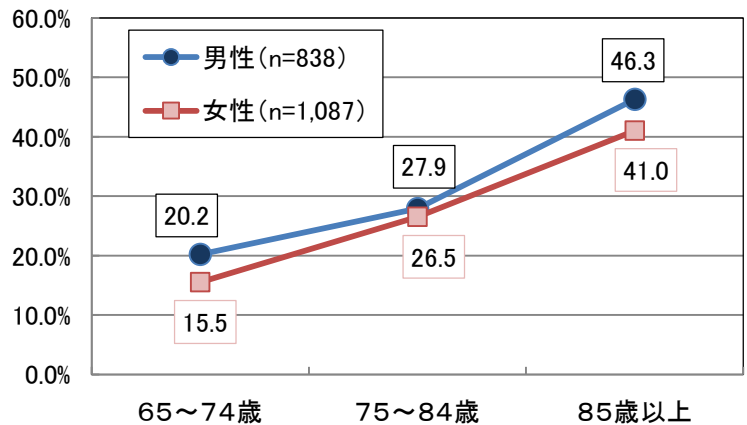
〔主観的健康感の状況〕

■高齢者の生活の質（QOL）の指標にもなっている主観的健康感については、「まあよい」（62.8%）の割合が最も高く、次いで「あまりよくない」（19.7%）となっている。この結果、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『健康群』が72.3%、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『不健康群』が23.5%となっている。



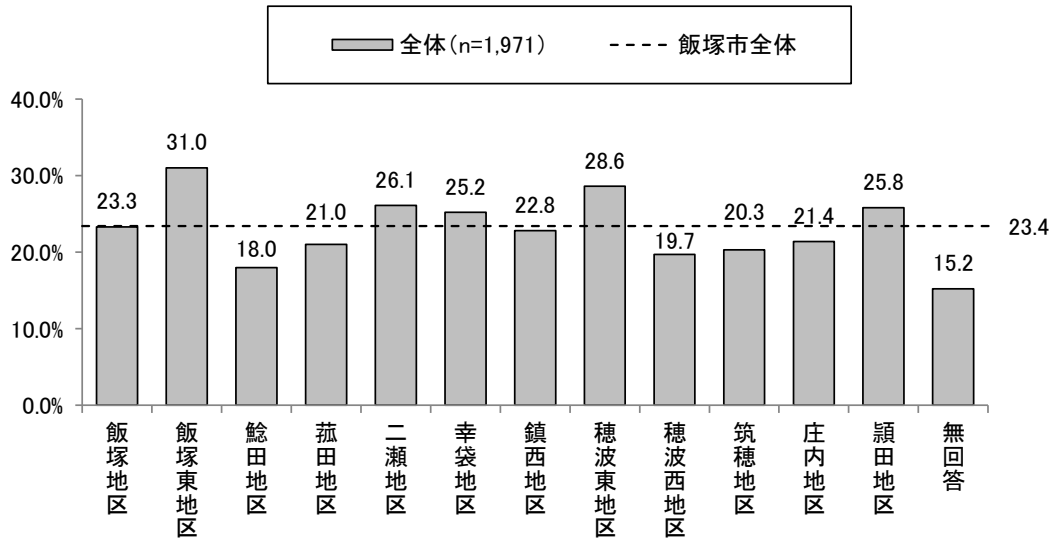
〔性・年齢別 主観的健康感の状況 (『不健康群』の割合)〕

■性・年齢別にみると、性別による大きな差はみられないが、年齢とともに『不健康群』の割合が高くなる。特に85歳以上でその傾向が強くなり、74歳までは『不健康群』が3割弱であるのに対し、85歳以上になると4割以上を占める。





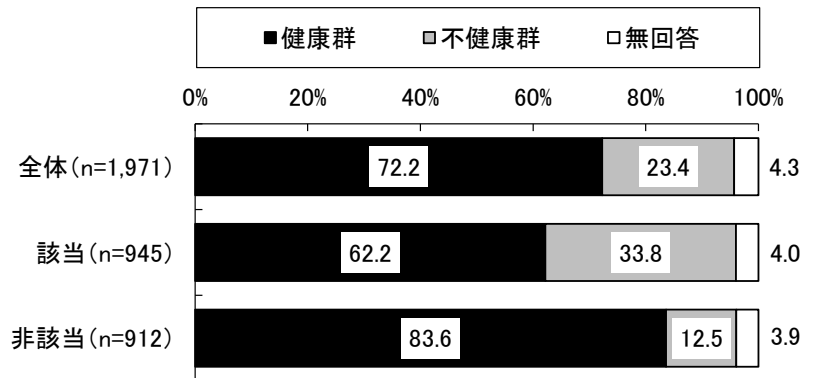
〔居住地区別 主観的健康感の状況（『不健康群』の割合）〕



■居住地区別にみると、『不健康群』の割合は飯塚東地区（31.0%）で最も高く、鯉田地区（18.0%）で最も低くなっている。

〔うつ傾向別 主観的健康感の状況〕

■うつ傾向別にみると、『健康群』の割合は、うつ傾向の非該当者では83.6%であるのに対し、該当者は62.2%にとどまっている。一方、『不健康群』の割合は、非該当者（12.5%）をうつ傾向の該当者（33.8%）が大きく上回る。

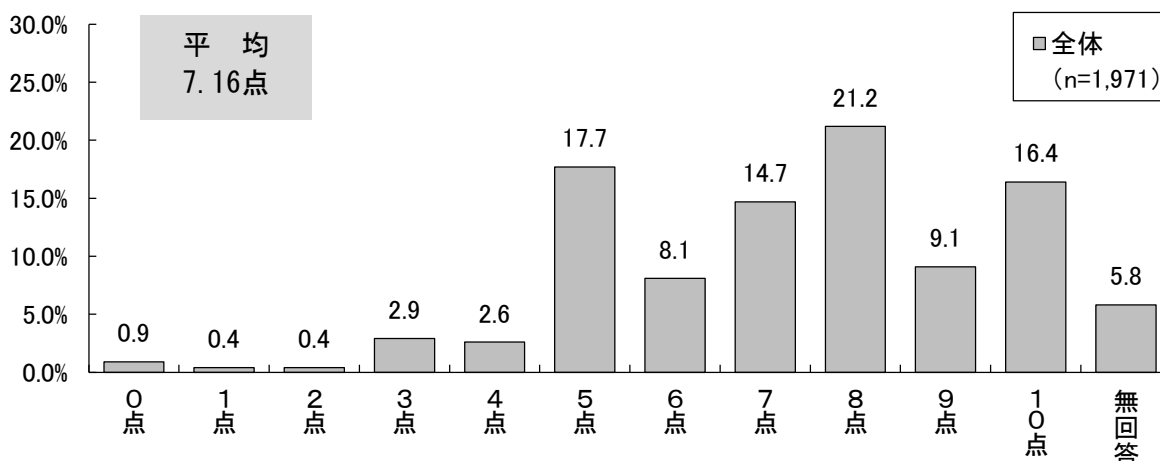


## 第2章 調査結果

### ② 主観的幸福感

問番号	内容	
問7	(2)	あなたは、現在どの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

#### 〔主観的幸福感の状況〕



■現在の主観的幸福感について0～10点で評価した結果、「8点」(21.2%)の割合が最も高く、次いで「5点」(17.7%)、「10点」(16.4%)、「7点」(14.7%)となっており、平均は7.16点となっている。

#### 〔介護状況別、経済状況別、うつ傾向別 主観的幸福感 (%)〕

		調査数「人」	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点
全体		1,971	0.9	0.4	0.4	2.9	2.6	17.7	8.1	14.7	21.2	9.1	16.4	5.8	7.16
介護状況	必要なし	1,513	0.5	0.2	0.2	2.2	2.2	15.3	8.5	15.7	23.3	9.9	17.2	4.6	7.36
	一部必要	199	2.5	1.0	1.5	7.5	2.0	26.1	4.5	12.1	12.6	6.0	14.1	10.1	6.36
	必要	175	2.9	1.1	1.1	3.4	4.6	30.9	5.1	10.9	15.4	6.3	10.9	7.4	6.28
	無回答	84	1.2	1.2	-	2.4	6.0	11.9	14.3	9.5	14.3	7.1	19.0	13.1	7.05
全体		1,971	0.9	0.4	0.4	2.9	2.6	17.7	8.1	14.7	21.2	9.1	16.4	5.8	7.16
経済状況	苦しい	744	2.3	0.8	0.8	5.5	4.3	24.1	10.1	14.1	15.9	5.2	11.2	5.8	6.38
	ふつう	1,063	-	0.2	0.2	1.3	1.6	14.6	7.2	15.6	24.5	11.1	18.4	5.3	7.56
	ゆとりがある	105	-	-	-	-	-	1.0	3.8	11.4	30.5	18.1	31.4	3.8	8.61
	無回答	59	1.7	-	-	3.4	3.4	22.0	5.1	10.2	11.9	5.1	18.6	18.6	6.92
全体		1,971	0.9	0.4	0.4	2.9	2.6	17.7	8.1	14.7	21.2	9.1	16.4	5.8	7.16
うつ傾向	該当	945	1.6	0.7	0.8	5.2	3.9	21.8	9.5	17.5	18.0	7.3	8.6	5.1	6.50
	非該当	912	0.2	-	-	0.7	1.2	13.3	6.6	12.5	25.2	11.2	23.9	5.3	7.83
	無回答	114	0.9	0.9	-	1.8	2.6	18.4	7.9	8.8	14.9	7.0	21.1	15.8	7.25

■介護状況別にみると、介護・介助の必要がない人の幸福感が最も高い。また、経済状況やうつ傾向別にみても、経済状況にゆとりがある人、うつ傾向が非該当の人ほど幸福感が高い傾向にある。

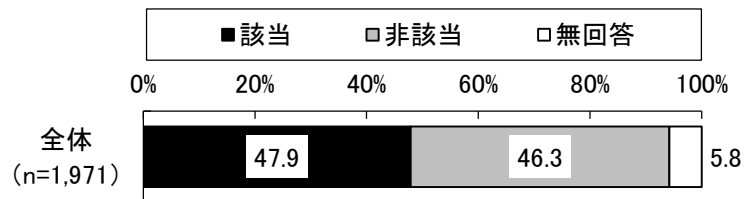
(2) うつ

高齢者のうつ傾向に関して、リスク判定を行う。下表の2つの設問のうち、網掛け部分に1問（点）以上該当した場合、うつ傾向の高齢者と判定される。

問番号	内容	回答
問7	(3) 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになりますか	1 はい(1点) 2 いいえ
	(4) 物事に対して興味がわかないことがありますか	1 はい(1点) 2 いいえ

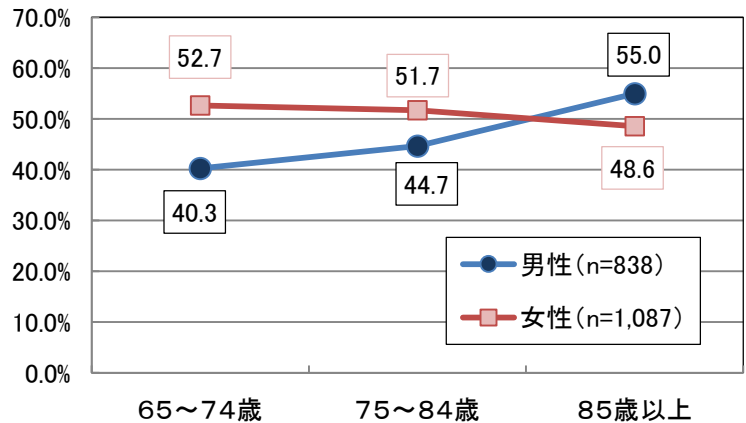
〔うつ傾向判定〕

■基本チェックリストに基づくうつ傾向の該当者（1点以上の者）の割合は全体で47.9%となっている。

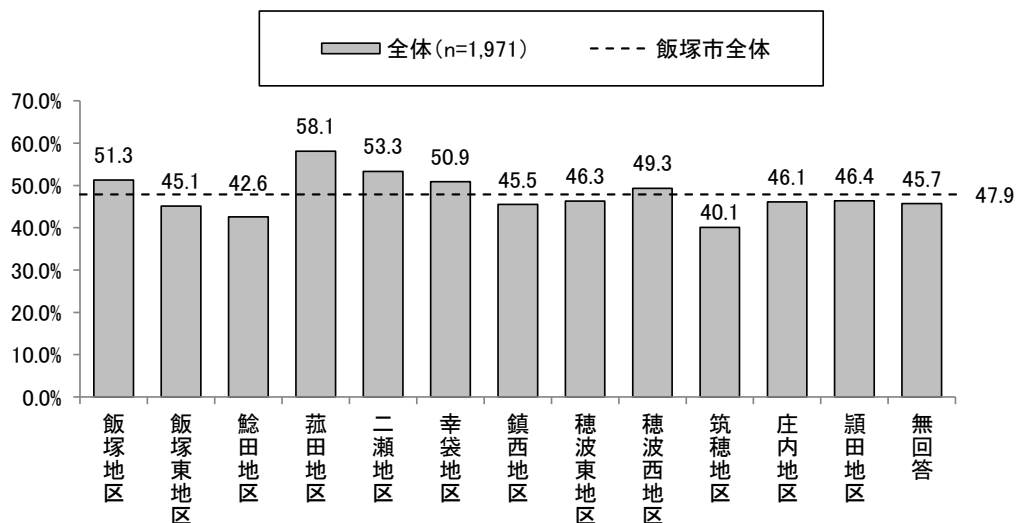


〔性・年齢別 うつ傾向判定（「該当」の割合）〕

■性・年齢別にみると、該当者の割合は、男性は年齢とともに高くなり85歳以上では5割以上となっている。



〔居住地区別 うつ傾向判定（「該当」の割合）〕



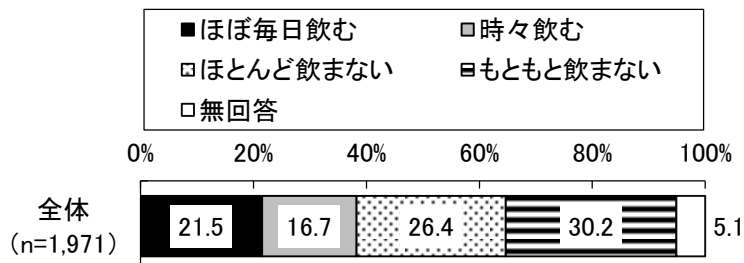
■居住地区別でみると、該当者の割合は、菰田地区(58.1%)で最も高く、筑穂地区(40.1%)で最も低くなっている。

(3) 飲酒

問番号	内容	
問7	(5)	お酒は飲みますか

〔飲酒の頻度〕

■ 飲酒の頻度は「もともと飲まない」(30.2%)の割合が最も高く、次いで「ほとんど飲まない」(26.4%)となっている。



〔性・年齢別 飲酒の頻度〕

		調査数 「人」	ほぼ毎日 飲む	時々 飲む	ほとん ど飲ま ない	もとも と飲ま ない	無回 答
全体		1,971	21.5	16.7	26.4	30.2	5.1
性・ 年齢 別	【男性 計】	838	37.5	17.3	23.0	16.2	6.0
	65～74歳	496	40.5	16.1	22.4	15.9	5.0
	75～84歳	262	35.5	19.5	22.5	16.0	6.5
	85歳以上	80	25.0	17.5	28.8	18.8	10.0
	【女性 計】	1,087	9.2	16.2	29.4	40.7	4.5
	65～74歳	581	12.9	16.7	31.8	35.5	3.1
	75～84歳	362	5.2	16.9	25.4	45.0	7.5
	85歳以上	144	4.2	12.5	29.9	50.7	2.8
無回答		46	19.6	19.6	17.4	39.1	4.3

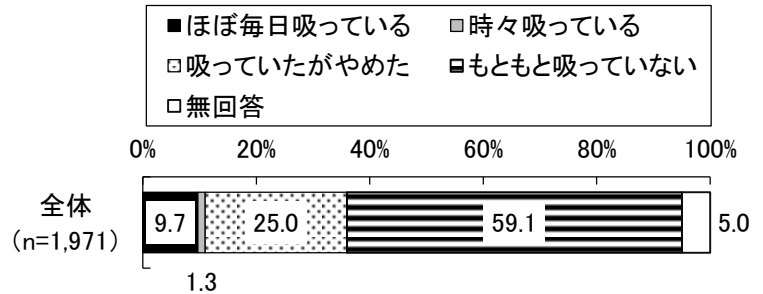
■ 性・年齢別にみると、飲酒頻度は女性より男性で高く、男性では「ほぼ毎日飲む」(37.5%)が4割弱を占める。また、「ほぼ毎日飲む」の割合は男性の65～74歳(40.5%)で最も高く、「時々飲む」とあわせると6割弱を占める。

(4) 喫煙

問番号	内容	
問7	(6)	タバコは吸っていますか

〔喫煙の頻度〕

■喫煙の頻度は「もともと吸っていない」(59.1%)の割合が最も高く、次いで「吸っていたがやめた」(25.0%)となっている。



〔性・年齢別 喫煙の頻度〕

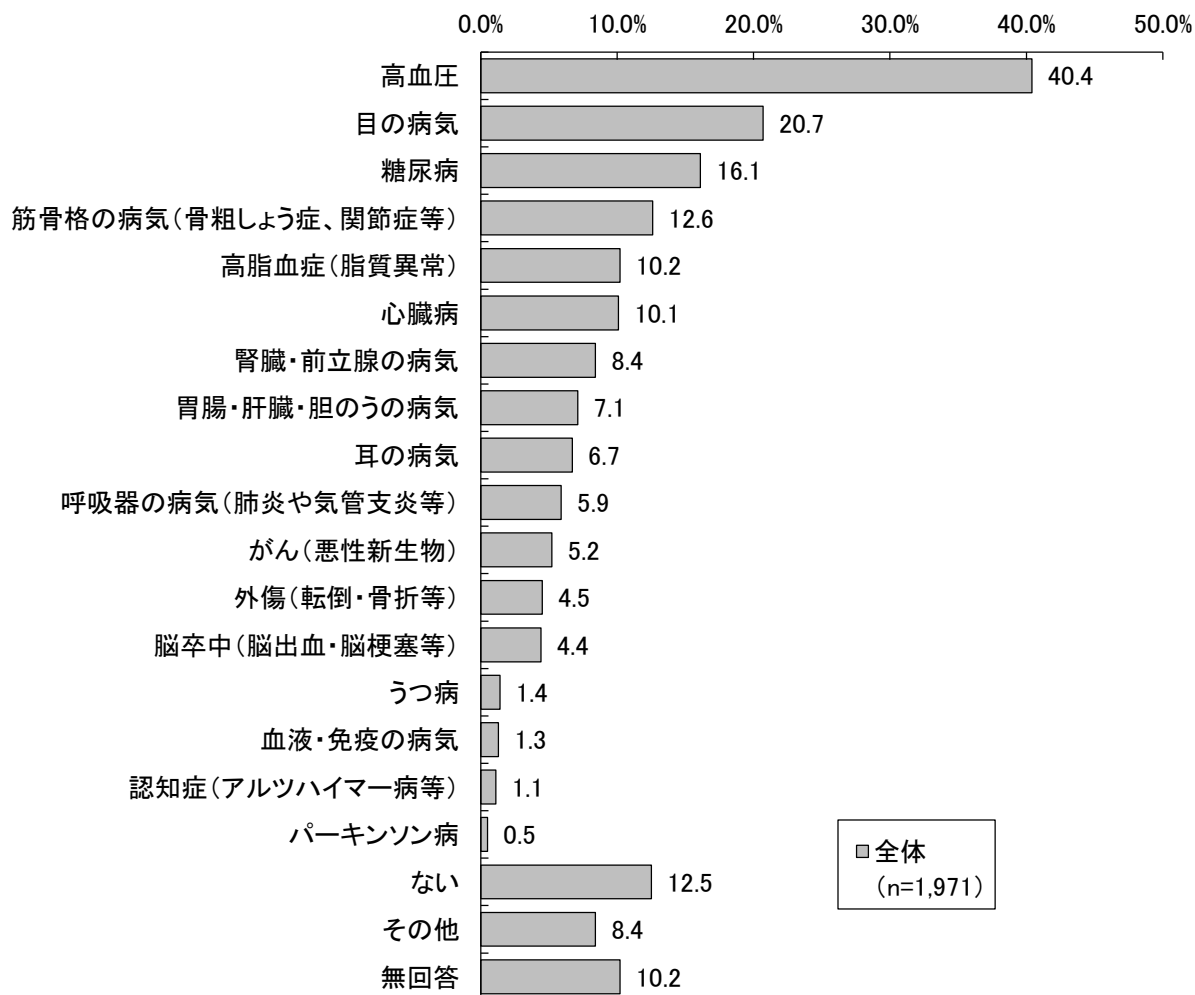
		調査数 〔人〕	ほぼ毎日 吸っている	時々吸 っている	吸 っていた がやめ た	も とも と吸 って い ない	無 回 答
全 体		1,971	9.7	1.3	25.0	59.1	5.0
性・ 年 齢 別	【男性 計】	838	18.1	1.2	47.1	28.0	5.5
	65～74歳	496	25.0	2.0	44.6	23.8	4.6
	75～84歳	262	8.4	-	51.5	33.2	6.9
	85歳以上	80	7.5	-	48.8	37.5	6.3
	【女性 計】	1,087	3.2	1.4	7.8	83.0	4.6
	65～74歳	581	5.0	2.1	11.0	78.5	3.4
	75～84歳	362	1.7	0.8	4.1	86.5	6.9
	85歳以上	144	-	-	4.2	92.4	3.5
無回答		46	8.7	-	26.1	60.9	4.3

■性・年齢別にみると、喫煙頻度は女性より男性で高く、男性では「ほぼ毎日吸っている」(18.1%)が2割弱を占める。また、「ほぼ毎日吸っている」の割合は男性の65～74歳(25.0%)で最も高く、「時々吸っている」とあわせると喫煙者が3割弱を占める。

(5) 疾病の状況

問番号	内容
問7	(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

〔現在治療中、または後遺症のある病気 (複数回答)〕



■ 現在治療中、または後遺症のある病気では「高血圧」(40.4%)の割合が最も高く、次いで「目の病気」(20.7%)、「糖尿病」(16.1%)、「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)」(12.6%)、「高脂血症 (脂質異常)」(10.2%)、「心臓病」(10.1%)が続いている。

〔性・年齢別、居住地区別 治療中・後遺症のある病気（主要7疾病）（％）〕

		調査数 〔人〕	高血圧	糖尿病	しんしょう 骨格の病気 （関節症等）	心臓病	がん （悪性新生物）	脳卒中 （脳出血・脳梗塞等）	認知症 （アルツハイマー病等）
全体		1,971	40.4	16.1	12.6	10.1	5.2	4.4	1.1
性・年齢別	【男性計】	838	40.9	22.1	5.1	13.5	6.1	6.4	1.0
	65～74歳	496	36.3	22.4	3.6	11.3	4.8	6.3	0.2
	75～84歳	262	49.6	23.3	5.3	14.5	7.6	7.6	1.9
	85歳以上	80	41.3	16.3	13.8	23.8	8.8	3.8	2.5
	【女性計】	1,087	40.1	11.8	18.8	7.8	4.5	2.8	1.2
	65～74歳	581	34.6	10.3	11.4	4.8	5.2	1.5	0.2
	75～84歳	362	45.6	15.5	25.4	11.9	3.9	4.7	2.2
	85歳以上	144	48.6	8.3	31.9	9.7	3.5	2.8	2.8
	無回答	46	37.0	10.9	4.3	4.3	4.3	4.3	-
全体		1,971	40.4	16.1	12.6	10.1	5.2	4.4	1.1
居住地区	飯塚地区	232	37.9	15.9	15.1	11.2	3.9	6.0	0.9
	飯塚東地区	142	43.0	12.0	16.2	9.9	7.7	3.5	2.1
	鯉田地区	122	40.2	14.8	13.1	12.3	4.9	3.3	-
	菰田地区	62	37.1	24.2	9.7	8.1	3.2	4.8	1.6
	二瀬地区	261	38.7	17.2	10.7	12.6	5.0	5.0	1.1
	幸袋地区	163	40.5	12.9	10.4	9.8	3.7	4.3	1.2
	鎮西地区	145	42.1	20.7	9.0	6.9	3.4	4.1	-
	穂波東地区	147	42.9	16.3	11.6	8.8	6.1	2.7	-
	穂波西地区	223	47.5	18.8	17.5	9.4	6.3	5.4	0.9
	筑穂地区	177	40.1	10.2	10.7	6.2	6.2	4.5	1.1
	庄内地区	154	34.4	20.1	12.3	10.4	3.9	1.9	1.3
	穎田地区	97	38.1	15.5	15.5	18.6	8.2	5.2	4.1
	無回答	46	37.0	10.9	4.3	4.3	4.3	4.3	-

■治療中・後遺症のある病気のうち、主なものについて、性・年齢別及び居住地区別に該当者の割合（有病率）をみてる。

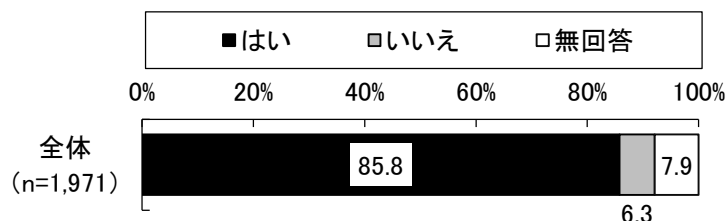
- ・「高血圧」の有病率は、性別による差はみられないが、年齢別にみると75歳以上で4割を超えるなど発症リスクが高まる傾向にある。居住地区別にみると、穂波西地区（47.5％）が他の地区より高くなっている。
- ・「糖尿病」の有病率は、女性（11.8％）より男性（22.1％）で高い。
- ・「筋骨格の病気」の有病率は、男性（5.1％）よりも女性（18.8％）で高い。また、各年齢層別にみても男性を大きく上回り、女性の有病率は75歳以上で2割を超え、85歳以上になると3割強に達する。
- ・「心臓病」の有病率は、女性（7.8％）より男性（13.5％）で高い。居住地区別にみると、穎田地区（18.6％）が他の地区よりやや高くなっている。
- ・「がん」の有病率は、性・年齢別および居住地区別でほとんど差はなく1割未満となっている。
- ・「脳卒中」の有病率は、女性（2.8％）より男性（6.4％）でやや高くなっている。
- ・「認知症」の有病率は、割合が低いため特に傾向はみられない。

(6) かかりつけの医師・歯科医師がいるか

問番号	内容
問7 (8)	かかりつけの医師、歯科医師がいますか

〔かかりつけの医師・歯科医師がいるか〕

■ かかりつけの医師・歯科医師がいるかについて、「はい (いる)」の割合は、全体で85.8%と非常に高くなっている。



〔性・年齢別、居住地区別 かかりつけの医師・歯科医師がいるか (「はい (いる)」の割合)〕

		調査数「人」	はい	いいえ	無回答	
全体		1,971	85.8	6.3	7.9	
性・年齢別	【男性計】	838	85.6	6.1	8.4	
	65～74歳	496	86.5	8.1	5.4	
	75～84歳	262	84.7	2.7	12.6	
	85歳以上	80	82.5	5.0	12.5	
	【女性計】	1,087	85.7	6.5	7.7	
	65～74歳	581	86.2	8.3	5.5	
	75～84歳	362	84.3	4.4	11.3	
	85歳以上	144	87.5	4.9	7.6	
	無回答	46	91.3	4.3	4.3	
居住地区	全体	1,971	85.8	6.3	7.9	
	飯塚地区	232	88.4	5.2	6.5	
	飯塚東地区	142	81.0	7.7	11.3	
	鯉田地区	122	86.9	6.6	6.6	
	菰田地区	62	87.1	8.1	4.8	
	二瀬地区	261	85.4	6.1	8.4	
	幸袋地区	163	84.0	6.7	9.2	
	鎮西地区	145	87.6	4.8	7.6	
	穂波東地区	147	85.0	6.1	8.8	
	穂波西地区	223	85.7	4.5	9.9	
	筑穂地区	177	85.9	7.3	6.8	
	庄内地区	154	87.7	5.8	6.5	
	穎田地区	97	81.4	11.3	7.2	
		無回答	46	91.3	4.3	4.3

■ 「かかりつけの医師・歯科医師がいる」人の割合については、性・年齢別や居住地区別の差は見られない。



7 認知症にかかる相談窓口について

ここでは、認知症にかかる相談窓口の認知状況について把握する。

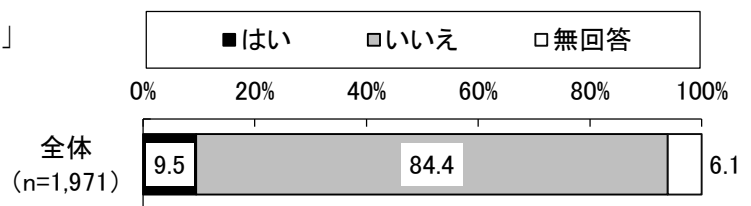
(1) 認知症について

① 認知症の症状の有無

問番号	内容	
問8	(1)	認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

〔認知症の症状の有無〕

■ 認知症の症状の有無について、「はい」の割合は全体で9.5%となっている。



〔性・年齢別、居住地区別 認知症の症状の有無 (%)〕

		調査数 「人」	はい	いいえ	無回答
全体		1,971	9.5	84.4	6.1
性・年齢別	【男性 計】	838	10.6	83.3	6.1
	65～74歳	496	9.9	84.7	5.4
	75～84歳	262	9.9	82.8	7.3
	85歳以上	80	17.5	76.3	6.3
	【女性 計】	1,087	8.8	85.1	6.1
	65～74歳	581	9.0	86.9	4.1
	75～84歳	362	9.7	82.6	7.7
	85歳以上	144	6.3	84.0	9.7
無回答		46	4.3	89.1	6.5
全体		1,971	9.5	84.4	6.1
居住地区	飯塚地区	232	9.9	83.2	6.9
	飯塚東地区	142	9.9	81.0	9.2
	鯉田地区	122	11.5	82.8	5.7
	菰田地区	62	11.3	85.5	3.2
	二瀬地区	261	11.1	84.3	4.6
	幸袋地区	163	8.6	82.8	8.6
	鎮西地区	145	9.0	85.5	5.5
	穂波東地区	147	6.8	87.1	6.1
	穂波西地区	223	9.9	85.7	4.5
	筑穂地区	177	9.6	82.5	7.9
	庄内地区	154	10.4	83.8	5.8
	穎田地区	97	6.2	90.7	3.1
	無回答		46	4.3	89.1

■ 性・年齢別にみると、男性は年齢とともに「はい」の割合が高くなっている。

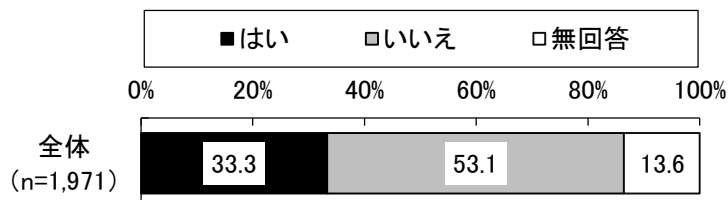
## 第2章 調査結果

### ② 「見守りシステム」を活用したいか

問番号	内容	
問8	(2)	認知症の症状がある人の動きを見守る「見守りシステム」を活用したいと思いますか

#### 〔「見守りシステム」を活用したいか〕

■「見守りシステム」を活用したいかについて、「はい」の割合は全体で33.3%となっている。



#### 〔性・年齢別、居住地区別 「見守りシステム」を活用したいか (%)〕

		調査数 〔人〕	はい	いいえ	無回答
全体		1,971	33.3	53.1	13.6
性・年齢別	【男性計】	838	30.9	57.8	11.3
	65～74歳	496	33.5	57.1	9.5
	75～84歳	262	24.8	60.3	14.9
	85歳以上	80	35.0	53.8	11.3
	【女性計】	1,087	35.1	49.4	15.5
	65～74歳	581	41.3	45.4	13.3
	75～84歳	362	27.6	54.7	17.7
	85歳以上	144	29.2	52.1	18.8
	無回答	46	32.6	56.5	10.9
居住地区	全体	1,971	33.3	53.1	13.6
	飯塚地区	232	34.1	52.6	13.4
	飯塚東地区	142	33.1	50.0	16.9
	鯉田地区	122	35.2	50.0	14.8
	菰田地区	62	24.2	69.4	6.5
	二瀬地区	261	34.9	52.1	13.0
	幸袋地区	163	35.6	52.1	12.3
	鎮西地区	145	29.7	54.5	15.9
	穂波東地区	147	30.6	54.4	15.0
	穂波西地区	223	30.9	54.7	14.3
	筑穂地区	177	41.8	45.8	12.4
	庄内地区	154	30.5	55.8	13.6
	鯉田地区	97	30.9	56.7	12.4
	無回答	46	32.6	56.5	10.9

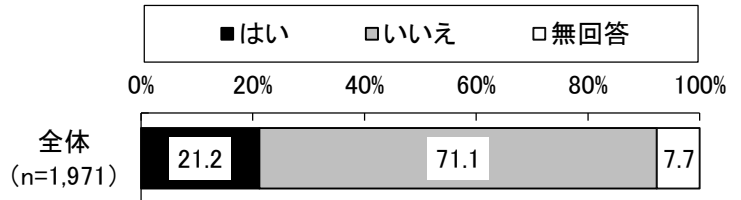
■居住地区別にみると、該当者の割合は筑穂地区(41.8%)で最も高く、菰田地区(24.2%)で最も低くなっている。

③ 認知症に関する相談窓口

問番号	内容	
問8	(3)	認知症に関する相談窓口を知っていますか

〔認知症に関する相談窓口を知っているか〕

■認知症に関する相談窓口を知っているかについて、「はい」の割合は全体で21.2%となっている。



〔性・年齢別、居住地区別 認知症に関する相談窓口を知っているか (%)〕

		調査数 〔人〕	はい	いいえ	無回答
全体		1,971	21.2	71.1	7.7
性・年齢別	【男性計】	838	19.8	72.9	7.3
	65～74歳	496	18.5	75.4	6.0
	75～84歳	262	20.6	70.2	9.2
	85歳以上	80	25.0	66.3	8.8
	【女性計】	1,087	22.1	69.7	8.2
	65～74歳	581	24.4	69.4	6.2
	75～84歳	362	19.3	69.1	11.6
	85歳以上	144	19.4	72.9	7.6
	無回答	46	26.1	69.6	4.3
全体		1,971	21.2	71.1	7.7
居住地区	飯塚地区	232	18.5	72.4	9.1
	飯塚東地区	142	23.2	66.9	9.9
	鯉田地区	122	25.4	65.6	9.0
	菰田地区	62	24.2	74.2	1.6
	二瀬地区	261	15.3	78.2	6.5
	幸袋地区	163	17.8	73.0	9.2
	鎮西地区	145	24.8	65.5	9.7
	穂波東地区	147	23.1	70.1	6.8
	穂波西地区	223	22.9	70.4	6.7
	筑穂地区	177	22.6	67.8	9.6
	庄内地区	154	22.7	70.1	7.1
	穎田地区	97	19.6	76.3	4.1
	無回答	46	26.1	69.6	4.3

■性・年齢別、居住地区別にみると、「はい」の割合に大きな差はみられず2割弱から3割弱となっている。

8 終末期について

ここでは、終末期の過ごし方の意向を把握する。

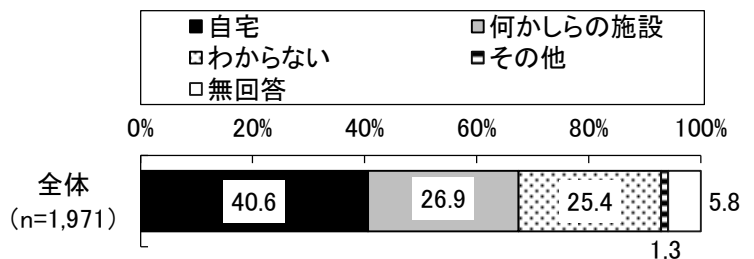
(1) 終末期について

① 最期をどこで迎えたいか

問番号	内容	
問9	(1)	あなたは、人生の最期を迎えるとしたら、どこを希望していますか

〔最期をどこで迎えたいか〕

■最期をどこで迎えたいかは「自宅」(40.6%)の割合が最も高く、次いで「何かしらの施設」(26.9%)となっている。



〔世帯構成別、介護状況別 最期をどこで迎えたいか (%)〕

		調査数 [人]	自宅	何かしらの施設	わからない	その他	無回答
全体		1,971	40.6	26.9	25.4	1.3	5.8
世帯構成別	1人暮らし	497	28.2	36.0	30.2	1.4	4.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	738	45.3	24.9	23.0	1.1	5.7
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	75	49.3	16.0	28.0	-	6.7
	息子・娘との2世帯	240	46.7	24.6	23.8	0.8	4.2
	その他	346	41.0	24.3	26.0	1.4	7.2
	無回答	75	46.7	16.0	17.3	4.0	16.0
全体		1,971	40.6	26.9	25.4	1.3	5.8
介護状況別	必要なし	1,513	41.0	26.6	26.2	1.0	5.2
	一部必要	199	38.2	30.2	23.6	1.0	7.0
	必要	175	37.7	31.4	21.7	2.3	6.9
	無回答	84	44.0	14.3	23.8	4.8	13.1

■世帯構成別にみると、1人暮らしは「自宅」(28.2%)よりも「何かしらの施設」(36.0%)の割合が高い。

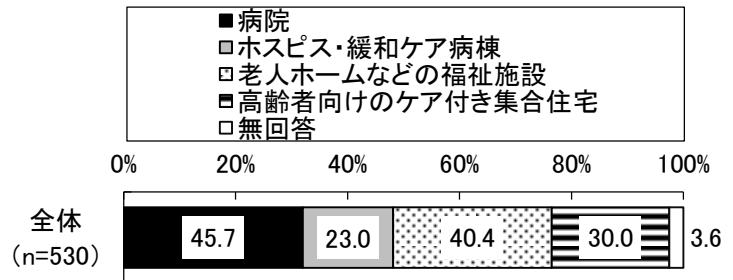
■介護状況別にみると、介護が必要な人ほど「何かしらの施設」の割合が高くなっている。

② どのような施設で最期をどこで迎えたいか

問番号	内容
問8	(1) 【(1)で「2. 何かしらの施設」と回答した方のみ】 ① どのような施設ですか

〔どのような施設で最期をどこで迎えたいか〕

■何かしらの施設で最期を迎えたい回答者が、どのような施設で最期を迎えたいかについては、「病院」(45.7%)が最も高く、次いで「老人ホームなどの福祉施設」(40.4%)となっている。



〔世帯構成別、介護状況別 どのような施設で最期をどこで迎えたいか (%)〕

		調査数 〔人〕	病院	ホスピス・ 緩和ケア病棟	老人ホーム などの福祉施設	高齢者向け 集合住宅の ケア	無回答
全体		530	45.7	23.0	40.4	30.0	3.6
世帯構成別	1人暮らし	179	48.0	19.0	43.0	32.4	3.4
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	184	40.8	23.9	37.0	31.5	3.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	12	41.7	16.7	41.7	25.0	8.3
	息子・娘との2世帯	59	44.1	32.2	40.7	30.5	5.1
	その他	84	52.4	22.6	41.7	22.6	2.4
	無回答	12	50.0	33.3	41.7	25.0	-
全体		530	45.7	23.0	40.4	30.0	3.6
介護状況	必要なし	403	47.4	24.6	38.2	31.0	3.0
	一部必要	60	40.0	10.0	45.0	25.0	3.3
	必要	55	41.8	25.5	47.3	27.3	7.3
	無回答	12	33.3	25	58.3	33.3	8.3

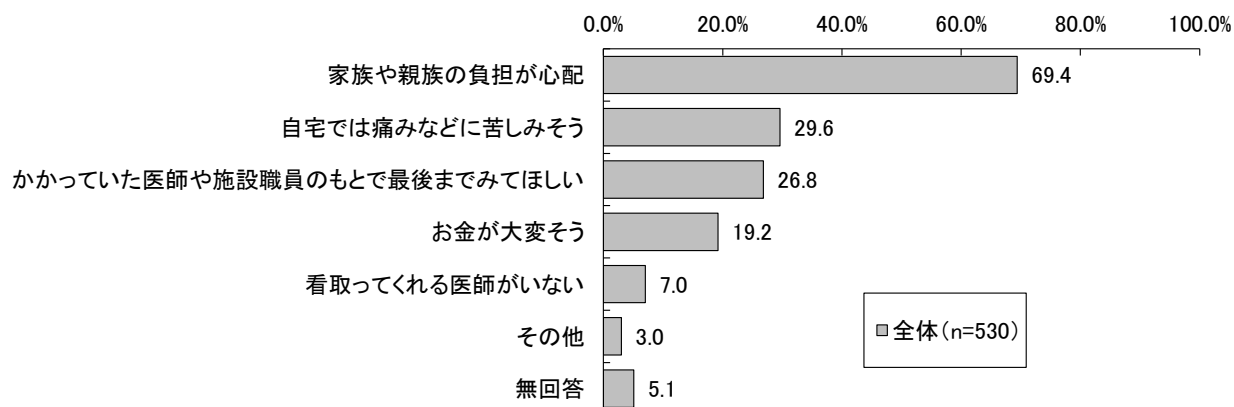
■世帯構成別にみると、いずれの世帯も4割以上が「病院」と回答している。

## 第2章 調査結果

### ③ 施設を選択した理由

問番号	内容
問8	(1) 【(1)で「2. 何かしらの施設」と回答した方のみ】 (2) 施設を選択した理由はなんですか

#### 〔施設を選択した理由（複数回答）〕



■何かしらの施設で最期を迎えたい回答者が、施設を選択した理由は「家族の介護負担が心配」(69.4%)が最も高く、次いで「自宅では痛みなどに苦しみそう」(29.6%)と続く。

#### 〔世帯構成別、介護状況別 施設を選択した理由 (%)〕

		調査数「人」	家族の介護負担が心配	かかっていた医師や施設職員のもとで最後までみてほしい	自宅では痛みなどに苦しみそう	お金が大変そう	看取ってくれる医師がない	その他	無回答
全体		530	69.4	7.0	19.2	29.6	26.8	3.0	5.1
世帯構成別	1人暮らし	179	59.2	9.5	24.0	27.9	33.5	2.8	6.1
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	184	75.5	6.5	16.8	30.4	22.3	3.8	4.3
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	12	83.3	-	33.3	33.3	16.7	-	-
	息子・娘との2世帯	59	76.3	5.1	16.9	32.2	27.1	-	5.1
	その他	84	72.6	6.0	15.5	28.6	23.8	2.4	6.0
	無回答	12	58.3	-	8.3	33.3	25.0	16.7	-
全体		530	69.4	7.0	19.2	29.6	26.8	3.0	5.1
介護状況	必要なし	403	74.4	7.2	17.4	31.3	22.1	3.2	4.5
	一部必要	60	48.3	8.3	31.7	21.7	43.3	1.7	8.3
	必要	55	56.4	5.5	18.2	27.3	47.3	-	7.3
	無回答	12	66.7	-	25.0	25.0	8.3	16.7	-

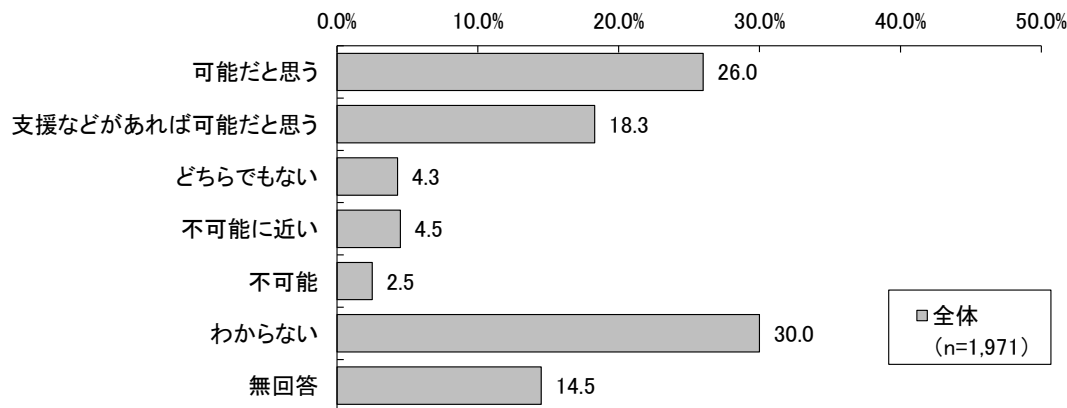
■世帯構成別にみると、いずれも「家族の介護負担が心配」が最も高いが、1人暮らしは「看取ってくれる医師がない」の割合も高くなっている。

■介護状況別にみると、介護が必要な人ほど「看取ってくれる医師がない」の割合が高くなっている。

④ 希望する場所で最期を迎えることが可能か

問番号	内容	
問9	(2)	あなたは、希望する場所で人生の最期を迎えることが可能な状況にありますか

〔希望する場所で最期を迎えることが可能か〕



■希望する場所で最期を迎えることが可能かについて、「わからない」(30.0%)の割合が最も高く、次いで「可能だと思う」(26.0%)、「支援などがあれば可能だと思う」(18.3%)となっている。

〔世帯構成別、介護状況別 希望する場所で最期を迎えることが可能か (%)〕

		調査数「人」	可能だと思う	支援などがあれば可能	どちらでもない	不可能に近い	不可能	わからない	無回答
全体		1,971	26.0	18.3	4.3	4.5	2.5	30.0	14.5
世帯構成別	1人暮らし	497	21.5	17.3	2.4	6.4	4.0	35.6	12.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	738	27.1	18.0	5.8	3.7	1.5	27.6	16.3
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	75	32.0	16.0	5.3	6.7	-	25.3	14.7
	息子・娘との2世帯	240	30.0	22.5	2.5	4.2	0.8	29.6	10.4
	その他	346	27.5	16.5	5.2	3.8	3.8	30.1	13.3
	無回答	75	18.7	24.0	1.3	2.7	4.0	22.7	26.7
全体		1,971	26.0	18.3	4.3	4.5	2.5	30.0	14.5
介護状況別	必要なし	1,513	27.5	18.2	4.4	4.5	2.1	30.5	12.8
	一部必要	199	21.6	13.6	5.5	5.0	3.0	27.6	23.6
	必要	175	22.3	23.4	2.9	5.1	4.6	30.9	10.9
	無回答	84	16.7	20.2	1.2	2.4	3.6	26.2	29.8

■世帯構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）は「可能だと思う」(32.0%)が最も高い。

■介護状況別にみると、介護が必要と回答している人は「支援などがあれば可能だと思う」(23.4%)が最も高い。

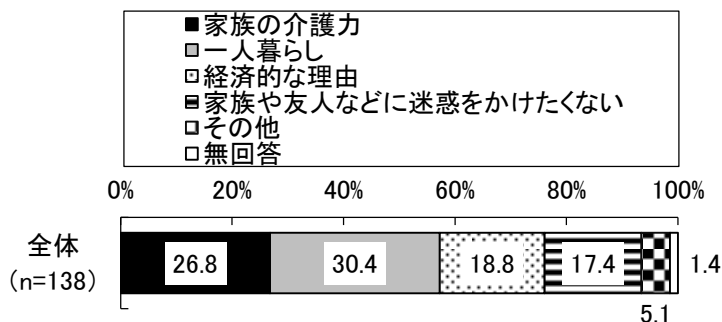
## 第2章 調査結果

### ⑤ 不可能だと思う要因

問番号	内容
問9	(2) - 1 【(2)において「4. 不可能に近い」「5. 不可能」の方のみ】 (2) - 1 あなたが最も不可能だと思う要因はなんですか

#### 〔不可能だと思う要因〕

■希望する場所で最期を迎えることが不可能だと思う要因は、「一人暮らし」(30.4%)が最も高く、次いで「家族の介護力」(26.8%)となっている。



#### 〔世帯構成別、介護状況別 不可能だと思う要因 (%)〕

		調査数「人」	家族の介護力	一人暮らし	経済的な理由	家族や友人などに迷惑をかけたくない	その他	無回答
全体		138	26.8	30.4	18.8	17.4	5.1	1.4
世帯構成別	1人暮らし	52	1.9	75.0	15.4	3.8	3.8	-
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	38	47.4	2.6	18.4	23.7	5.3	2.6
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	5	40.0	-	40.0	20.0	-	-
	息子・娘との2世帯	12	33.3	-	25.0	41.7	-	-
	その他	26	42.3	-	19.2	23.1	11.5	3.8
	無回答	5	20.0	40.0	20.0	20.0	-	-
全体		138	26.8	30.4	18.8	17.4	5.1	1.4
介護状況別	必要なし	100	27.0	27.0	21.0	20.0	3.0	2.0
	一部必要	16	18.8	37.5	18.8	6.3	18.8	-
	必要	17	29.4	41.2	5.9	17.6	5.9	-
	無回答	5	40.0	40.0	20.0	-	-	-

■世帯構成別にみると、息子・娘との2世帯は「家族や友人などに迷惑をかけたくない」(41.7%)が最も高い。

■介護状況別にみると、介護が必要なしと回答している人は「家族の介護力」、「一人暮らし」(ともに27.0%)が最も高い。



9 今後の介護希望について

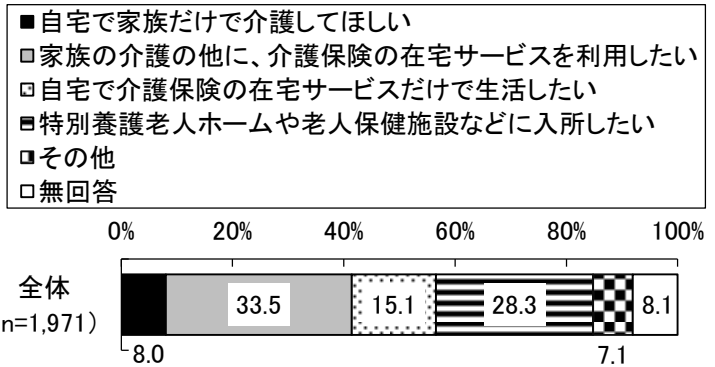
ここでは、今後の介護希望について把握する。

(1) 今後の介護希望について

問番号	内容	
問10	(1)	あなたは今後どのように介護してほしいと思いますか

〔今後の介護希望について〕

■今後の介護希望については、「家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスを利用したい」(33.5%)の割合が最も高く、次いで「特別養護老人ホームや老人保健施設などに入所したい」(28.3%)となっている。



〔世帯構成別、居住地区別 今後の介護希望について (%)〕

	調査数 〔人〕	介護してほ しいだけ	自宅だけで 介護する 利用	家族の介護 に保険の 他	在宅サービス だけで 介護保 険	特別養護 老人保 健施 設	その他	無 回 答
		全体	1,971	8.0	33.5	15.1	28.3	7.1
世帯構成別	1人暮らし	497	3.2	15.3	26.6	33.4	8.7	12.9
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	738	11.4	39.8	11.0	26.4	5.1	6.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	75	14.7	40.0	8.0	25.3	9.3	2.7
	息子・娘との2世帯	240	8.3	42.9	10.8	26.7	6.3	5.0
	その他	346	5.5	38.4	11.8	28.0	9.8	6.4
	無回答	75	10.7	32.0	14.7	21.3	4.0	17.3
居住地区	全体	1,971	8.0	33.5	15.1	28.3	7.1	8.1
	飯塚地区	232	6.0	32.8	16.8	27.6	9.9	6.9
	飯塚東地区	142	6.3	33.1	16.2	23.9	9.2	11.3
	鯉田地区	122	9.0	29.5	14.8	31.1	9.0	6.6
	菰田地区	62	4.8	35.5	17.7	30.6	8.1	3.2
	二瀬地区	261	9.6	34.1	13.4	29.1	7.7	6.1
	幸袋地区	163	7.4	30.7	16.6	26.4	6.7	12.3
	鎮西地区	145	10.3	38.6	11.7	30.3	4.8	4.1
	穂波東地区	147	8.8	31.3	19.7	28.6	5.4	6.1
	穂波西地区	223	8.1	31.8	14.8	31.4	5.4	8.5
	筑穂地区	177	5.6	35.6	14.1	31.1	6.2	7.3
	庄内地区	154	11.7	35.1	13.6	22.7	7.1	9.7
	穎田地区	97	9.3	37.1	15.5	22.7	3.1	12.4
	無回答	46	2.2	30.4	8.7	32.6	10.9	15.2

## 第2章 調査結果

---

■世帯構成別にみると、1人暮らしでは「特別養護老人ホームや老人保護施設などに入所したい」(33.4%)が最も高く、その他の世帯では「家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスを利用したい」が最も高くなっている。

■居住地区別にみると、「特別養護老人ホームや老人保護施設などに入所したい」は穂波西地区(31.4%)で最も高く、「自宅で介護保険の在宅サービスだけで生活したい」は庄内地区(11.7%)で最も高くなっている。

## 第3章 調査票

(宛名ラベル)

飯塚市介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

## 【調査票】

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、6月12日(金)までに投函してください。

記入日	令和	年	月	日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。				
1. あて名のご本人が記入				
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄 )				
3. その他				
4. あて名ご本人の性別 ( 男性 ・ 女性 )				
5. あて名ご本人の年齢 (65～74 歳 ・ 75～84 歳 ・ 85～94 歳) 95～104 歳 ・ 105 歳以上)				

飯塚市 高齢介護課 総務係

### はじめに

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から飯塚市の介護保険事業にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

飯塚市では、令和2年度に予定している高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定の基礎資料とするため、市内にお住まいの65歳以上の方に対し、アンケート調査をお願いすることとしました。

これは「どこに、どのような支援を必要としている方が、どの程度生活されているか」を把握するため、厚生労働省が示した調査項目・方法に準拠して実施するものです。

対象者は、令和2年3月末時点において、市内に居住する要介護認定1～5の方を除く65歳以上の方のうち、2,800名を無作為に抽出しております。

なお、収集した個人情報は、飯塚市個人情報保護条例に基づき適正に取り扱いますことをお約束いたしますので、ご同意の上、調査にご協力くださるようお願い申し上げます。

### 個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとみなさせていただきます。

#### 【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。  
本調査で得られた情報につきましては、市による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

## 問1 あなたのご家族や生活状況について

## (1) 家族構成をお教えてください (○はひとつ)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 1人暮らし             | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯         |
| 5. その他               |                      |

## (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○はひとつ)

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| 1. 介護・介助は必要ない                                       | 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている<br>(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) |                             |

## 【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

## ①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)

- |                     |                  |              |
|---------------------|------------------|--------------|
| 1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)   | 2. 心臓病           | 3. がん(悪性新生物) |
| 4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等) | 5. 関節の病気 (リウマチ等) |              |
| 6. 認知症(アルツハイマー病等)   | 7. パーキンソン病       | 8. 糖尿病       |
| 9. 腎疾患 (透析)         | 10. 視覚・聴覚障がい     | 11. 骨折・転倒    |
| 12. 脊椎損傷            | 13. 高齢による衰弱      | 14. その他 ( )  |
| 15. 不明              |                  |              |

## 【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

## ②主にどなたの介護、介助を受けていますか。(いくつでも)

- |                |            |          |
|----------------|------------|----------|
| 1. 配偶者(夫・妻)    | 2. 息子      | 3. 娘     |
| 4. 子の配偶者       | 5. 孫       | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他 ( ) |          |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○はひとつ)

1. 大変苦しい                      2. やや苦しい                      3. ふつう  
4. ややゆとりがある              5. 大変ゆとりがある

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (○はひとつ)

1. 持家 (一戸建て)                      2. 持家 (集合住宅)  
3. こうえいちんたいじゅうたく 公営賃貸住宅                      4. みんかんちんたいじゅうたく 民間賃貸住宅 (一戸建て)  
5. みんかんちんたいじゅうたく 民間賃貸住宅 (集合住宅)                      6. 借家  
7. その他

**問2** からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○はひとつ)

1. できるし、している              2. できるけどしていない              3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○はひとつ)

1. できるし、している              2. できるけどしていない              3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか (○はひとつ)

1. できるし、している              2. できるけどしていない              3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○はひとつ)

1. 何度もある                      2. 1度ある                      3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○はひとつ)

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか (○はひとつ)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○はひとつ)

1. とても減っている 2. 減っている  
3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか (○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)

1. 病気 2. 障がい (脳卒中<sup>のうそっちゅう</sup> 中の後遺症<sup>こういししょう</sup>など)  
3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配 (失禁など)  
5. 耳の障がい (聞こえの問題など) 6. 目の障がい  
7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない  
9. 交通手段がない 10. その他 ( )

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

- |                 |                   |        |
|-----------------|-------------------|--------|
| 1. 徒歩           | 2. 自転車            | 3. バイク |
| 4. 自動車 (自分で運転)  | 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | 6. 電車  |
| 7. 路線バス         | 8. 病院や施設のバス       | 9. 車いす |
| 10. 電動車いす (カート) | 11. 歩行器・シルバーカー    |        |
| 12. タクシー        | 13. その他 ( )       |        |

**問3** 食べることについて

(1) 身長・体重

身長    cm

体重    kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○はひとつ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (○はひとつ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) 口の渴きが気になりますか (○はひとつ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか (○はひとつ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください  
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (○はひとつ)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用      2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし  
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用      4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

①噛み合わせは良いですか (○はひとつ)

1. はい    2. いいえ

②【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか (○はひとつ)

1. はい    2. いいえ

(7) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか (○はひとつ)

1. はい    2. いいえ

(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか (○はひとつ)

1. 毎日ある    2. 週に何度かある    3. 月に何度かある  
4. 年に何度かある    5. ほとんどない

#### 問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか (○はひとつ)

1. はい    2. いいえ

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○はひとつ)

1. はい    2. いいえ

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○はひとつ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○はひとつ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(6) 自分で食事の用意をしていますか (○はひとつ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
①【(6)において「1. できるし、している」以外の方のみ】 食事はどのように用意していますか (いくつでも)		
1. だいたい家族がつくる	2. 外食かスーパーやコンビニで惣菜を買う	
3. 配食弁当を利用する	4. その他 ( )	
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか (○はひとつ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○はひとつ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(9) 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(10) 新聞を読んでいますか (○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(11) 本や雑誌を読んでいますか (○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	



**問5 地域での活動について**

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか  
 ※① - ⑧それぞれに回答してください(回数の下番号に○を付けてください)

	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループや クラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ いきいきサロン、介護予防 教室など介護予防のための 通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか(○はひとつ)

1. 是非参加したい    2. 参加してもよい    3. 参加したくない    4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか(○はひとつ)

1. 是非参加したい    2. 参加してもよい    3. 参加したくない    4. 既に参加している

## 問6

## たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他( )      | 8. そのような人はいない |           |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他( )      | 8. そのような人はいない |           |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他( )      | 8. そのような人はいない |           |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(いくつでも)

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他( )      | 8. そのような人はいない |           |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください  
(いくつでも)

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ    | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー          | 4. 医師・歯科医師・看護師  |
| 5. 地域包括支援センター・役所・役場 | 6. その他          |
| 7. そのような人はいない       |                 |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (〇はひとつ)

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある    | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない  |            |

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。  
同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(〇はひとつ)

- |             |          |         |
|-------------|----------|---------|
| 1. 0人 (いない) | 2. 1～2人  | 3. 3～5人 |
| 4. 6～9人     | 5. 10人以上 |         |

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

- |                   |               |            |
|-------------------|---------------|------------|
| 1. 近所・同じ地域の人      | 2. 幼なじみ       | 3. 学生時代の友人 |
| 4. 仕事での同僚・元同僚     | 5. 趣味や関心が同じ友人 |            |
| 6. ボランティア等の活動での友人 |               |            |
| 7. その他            | 8. いない        |            |

(9) あなたのご家族が日常生活上支援が必要となったとき、地域の人にどのような支援をしてほしいと思いますか (いくつでも)

- |              |                      |          |
|--------------|----------------------|----------|
| 1. 外出の際の移動手段 | 2. 買い物               | 3. ごみ出し  |
| 4. 掃除・洗濯・炊事  | 5. 急病など緊急時の手助け       |          |
| 6. 病院などの付き添い | 7. 安否確認等の定期的な声かけ・見守り |          |
| 8. 災害時の手助け   | 9. その他 ( )           | 10. 特にない |

(10) となり近所に、高齢や病気・障がい等で困っている家庭があった場合、あなたはどのような支援ができると思いますか。(いくつでも)

- |              |                      |          |
|--------------|----------------------|----------|
| 1. 外出の際の移動手段 | 2. 買い物               | 3. ごみ出し  |
| 4. 掃除・洗濯・炊事  | 5. 急病など緊急時の手助け       |          |
| 6. 病院などの付き添い | 7. 安否確認等の定期的な声かけ・見守り |          |
| 8. 災害時の手助け   | 9. その他 ( )           | 10. 特にない |

**問7 健康について**

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○はひとつ)

- |          |         |            |         |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (○はひとつ)  
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても不幸											とても幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(5) お酒は飲みますか (○はひとつ)		
1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む	3. ほとんど飲まない
4. もともと飲まない		
(6) タバコは吸っていますか (○はひとつ)		
1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている	3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない		
(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)		
1. ない	2. 高血圧	3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病	5. 糖尿病	6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)		8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気		10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
11. 外傷 (転倒・骨折等)	12. がん (悪性新生物)	13. 血液・免疫の病気
14. うつ病	15. 認知症 (アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気	19. その他 ( )
(8) かかりつけの医師、歯科医師がいますか (○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	





【(2)において「4. 不可能に近い」「5. 不可能」の方のみ】

(2) - 1 あなたが最も不可能だと思う要因はなんですか (1つに○)

- |                      |            |           |
|----------------------|------------|-----------|
| 1. 家族の介護力            | 2. 一人暮らし   | 3. 経済的な理由 |
| 4. 家族や友人などに迷惑をかけたくない | 5. その他 ( ) |           |

**問10** 今後の介護希望について

(1) あなたは今後どのように介護してほしいと思いますか (○はひとつ)

1. 自宅で家族だけで介護してほしい
2. 自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスを利用したい
3. 自宅で介護保険の在宅サービスだけで生活したい
4. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所したい
5. その他 ( )

高齢者福祉や介護保険について、ご意見・ご要望がございましたら自由にご記入ください。

回答者に○をつけてください。( 本人 家族 その他 )

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■